

2023 年 3 月 31 日（月）

日本医療研究開発機構障害者対策総合研究開発事業

「COVID-19 流行下における聴覚障害者の ICT 利活用の実態調査及びその成功

例をもとにした情報提供資材の開発」

（研究開発代表者：幕内充 2021 年 4 月～2024 年 3 月）

アンケート調査報告書

概要

(1) 調査目的

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大によって、我々の生活は急激にデジタル化が進み、遠隔会議システムなどの ICT（情報とコミュニケーションに関する技術）を用いたコミュニケーションが普及した。聴覚障害者は、こうした変化にどのような影響を受けたのか。本調査では、2021 年春からの感染症拡大下での聴覚障害者の困りごと・ICT の利活用の状況・ICT 利活用の好事例の収集を目的とした。

(2) 調査期間

令和 4 年 3 月 22 日～令和 4 年 6 月 30 日（101 日間）

(3) 調査方法

Web ブラウザでのアンケート
－各項目の手話動画視聴可能
－自由記述項目の手話動画投稿可能

(4) 調査対象

1. 未就学の聴覚障害児の養育者
2. 大学生・大学院生
3. 人工内耳を装用している就労者
4. 聴覚障害を持つ就労者

(5) 回答数

1. 未就学の聴覚障害児の養育者	122 名
2. 大学生・大学院生	33 名
3. 人工内耳を装用している就労者	12 名（継続中）
4. 聴覚障害を持つ就労者	213 名
	<u>計 380 名</u>

(6) 調査結果

次ページの通り。

アンケート調査結果

※左クリックでページに遷移します。

目次

1. 未就学の聴覚障害児の養育者	5
Q1. 聴覚障害のあるお子さんの生まれた年月	5
Q2. お子さんの身体障害者手帳の取得・級	5
Q3. 子さんの受けている療育・保育	6
Q4. お子さんの聞こえについて	6
Q5. フェイスシート項目	9
Q6. 新型コロナウイルス感染症拡大下における、経済状況の変化	13
Q7. 緊急事態宣言下において、聴覚障害児を育てる上で困ったこと	14
Q8. 2021 年 8 月～2022 年 3 月までで聴覚障害児を育てる上で困ったこと	14
Q9. 最近 2 週間のあなたの状態に最も近いもの	15
Q10. 療育の変化について	15
Q11. オンラインで可能になりそうな支援について、受けてみたいかどうか	16
Q12. 聴覚障害児が 5 歳以上のお子さんをお持ちの方への質問	17
Q13. ネットワーク環境について	19
Q14. オンラインでの支援を受けるのに、不安に思うこと	21
2. 大学生・大学院生	22
Q1. フェイスシート項目	22
Q2. 大学での講義について	25
Q3. オンライン授業について	28
Q5. 周囲とのコミュニケーションについて	34
3. 人工内耳を装用している就労者	35
Q1. コミュニケーションについて	35
Q2. 電話について	36
Q3. 会議について	37
Q4. オンライン会議について	38
Q5. 職場の状況について	40

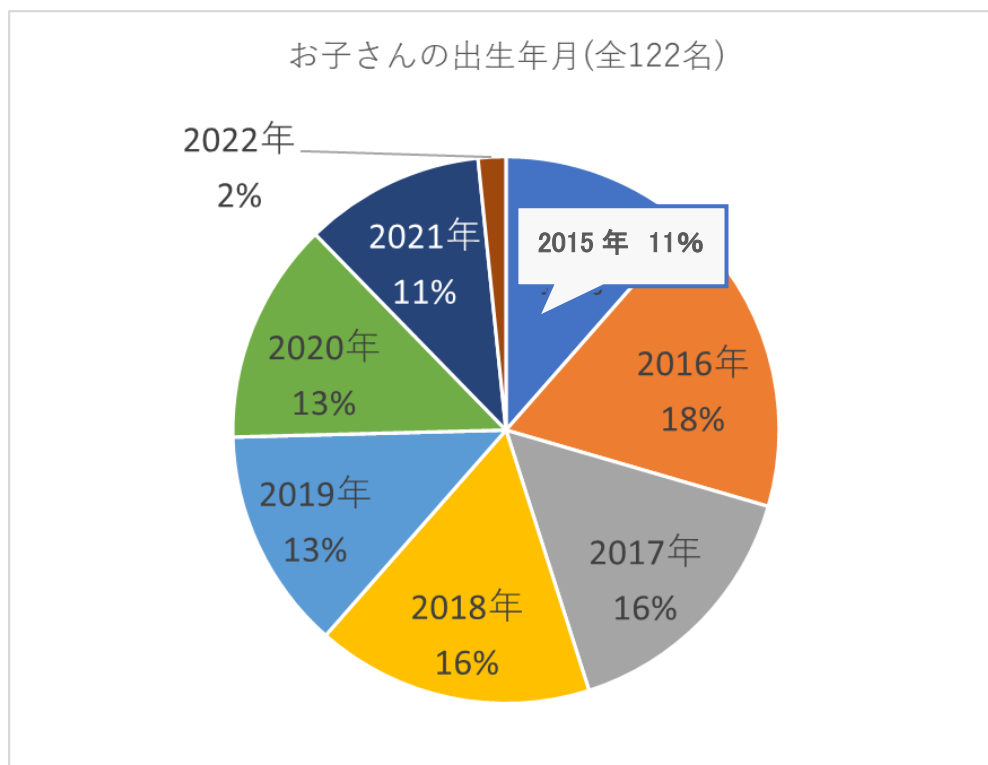
Q6. 職場の方々などについて	42
Q7. コロナ下での仕事について	44
Q8. フェイスシート項目	51
Q9. テレビのついている部屋で1対1の会話をするときの聞こえ.....	59
Q10. 混雑したレストランで5人くらいで会話するときの聞こえ	59
Q11. テレビを聞きながら人の声を聴くときの聞こえ	60
Q12. 混雑する部屋で1対1の会話をするときの聞こえ.....	60
Q13. 複数人の会話で、話し手が変わるときの聞こえ	61
Q14. 屋外で、犬の声を聴くときの聞こえ.....	61
Q15. バスやトラックの音を聴くときの聞こえ（距離）	62
Q16. バスやトラックの音を聴くときの聞こえ（近づく・遠ざかる）	62
Q17. 2つ以上の物音が同時に聞こえるときの聞こえ	63
Q18. 音楽を聴くときの聞こえ（使用楽器）	63
Q19. 日常生活で聞きやすい音声の明瞭さ.....	64
Q20. 人と会話するとき、内容を理解するための努力について	64

4. 聴覚障害を持つ就労者..... 65

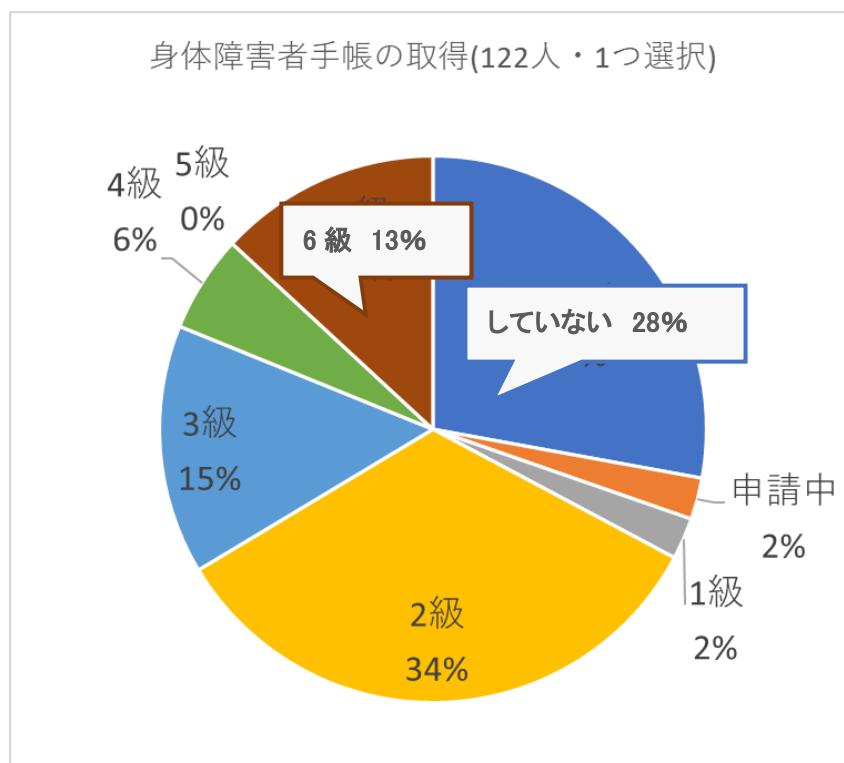
Q1. コロナ拡大前・拡大後のコミュニケーション方法の仕事での使用状況。	65
Q2. 仕事でのコミュニケーション方法の頻度の変化	65
Q3. コミュニケーション方法の仕事上での使用場面	66
Q5. 仕事上、筆談やメール、チャットツールなどによる、文字でのコミュニケーションの増減	67
Q6. オンライン会議について	68
Q7. テレワークについて	72
Q8. 人との交流と情報交換について	73
Q9. ICT 利用の可能性について	74
Q10. 労働相談について	77
Q11. コロナ拡大前と拡大後における仕事と家庭生活の満足度の変化	78
Q12. フェイスシート項目	78

1. 未就学の聴覚障害児の養育者

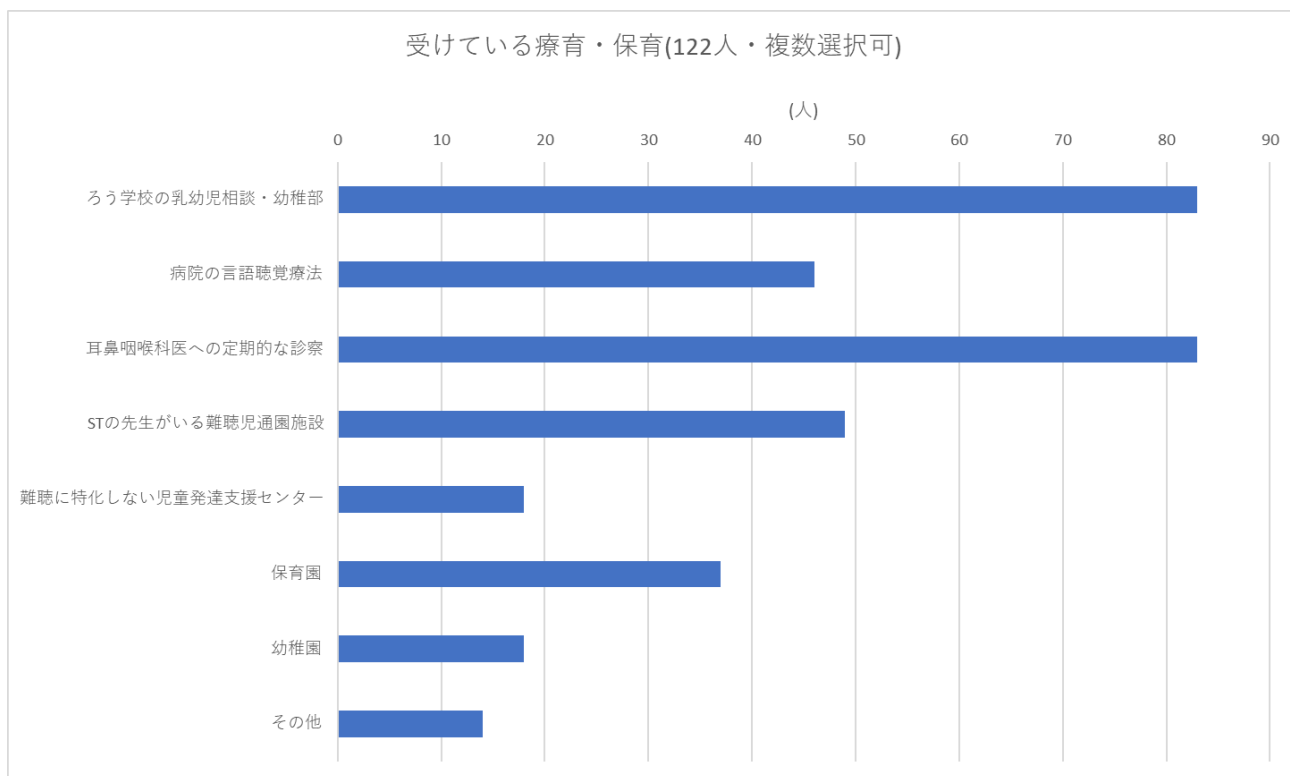
Q1. 聴覚障害のあるお子さんの生まれた年月（複数いる場合は下のお子さん）



Q2. お子さんは身体障害者手帳を取得していますか。しているとしたら何級ですか。



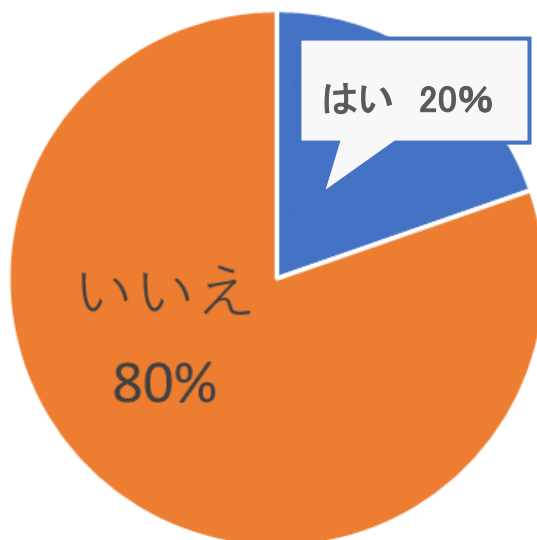
Q3. 子さんの受けている療育・保育で当てはまるものをすべて選んでください。



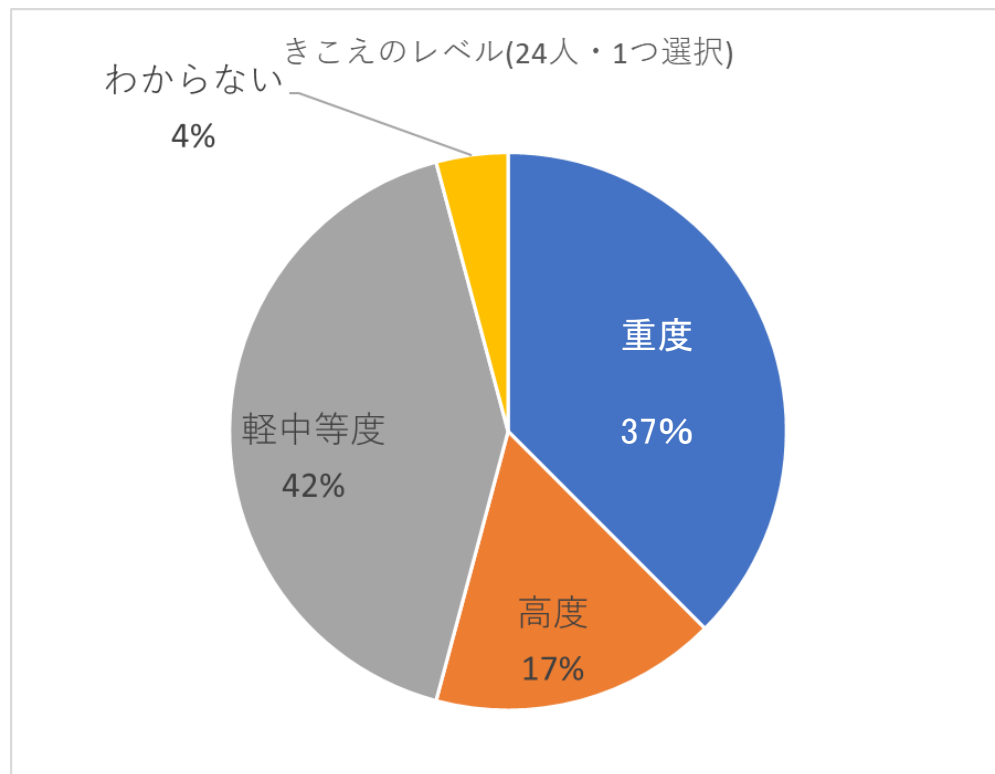
Q4. お子さんの聞こえについて

Q4-1. お子さんが乳児や、まだ診断が詳しくついていない。

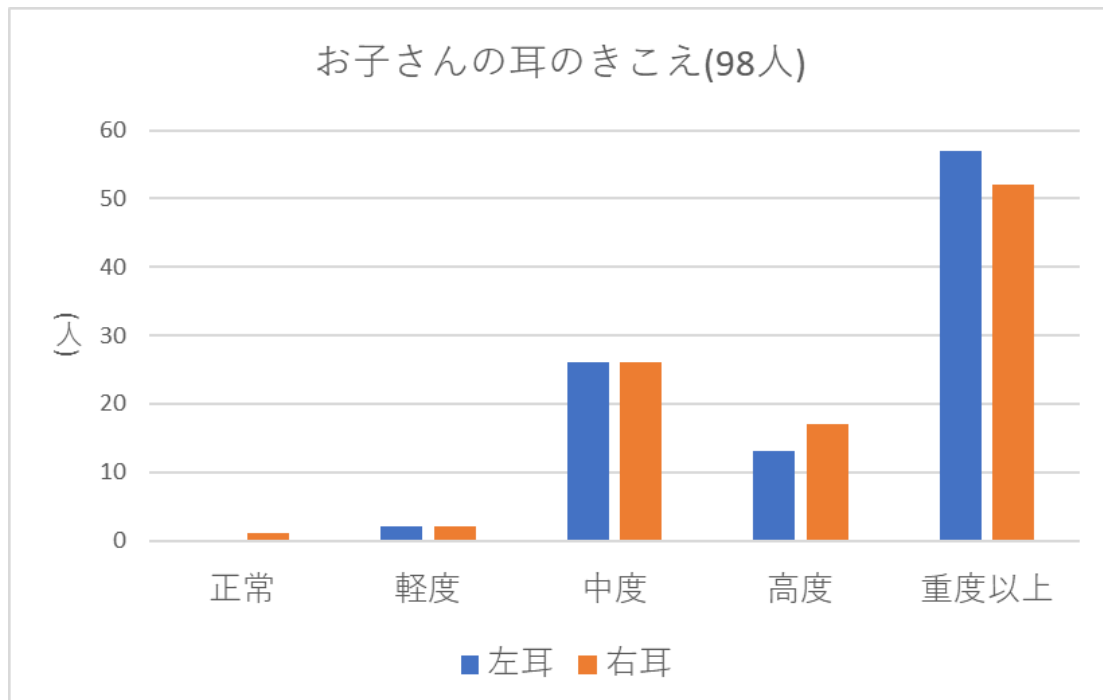
乳児や、まだ診断が詳しくついていない
(122人・1つ選択)



Q4-2. わかる範囲でのきこえのレベル

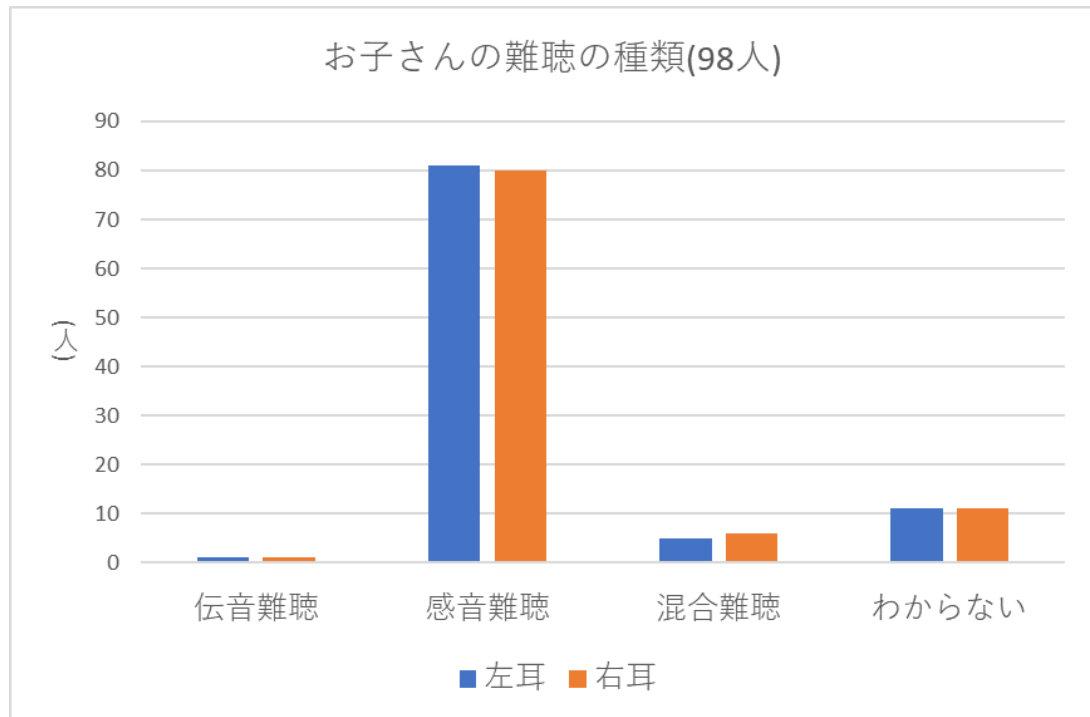


Q4-3. きこえの状態

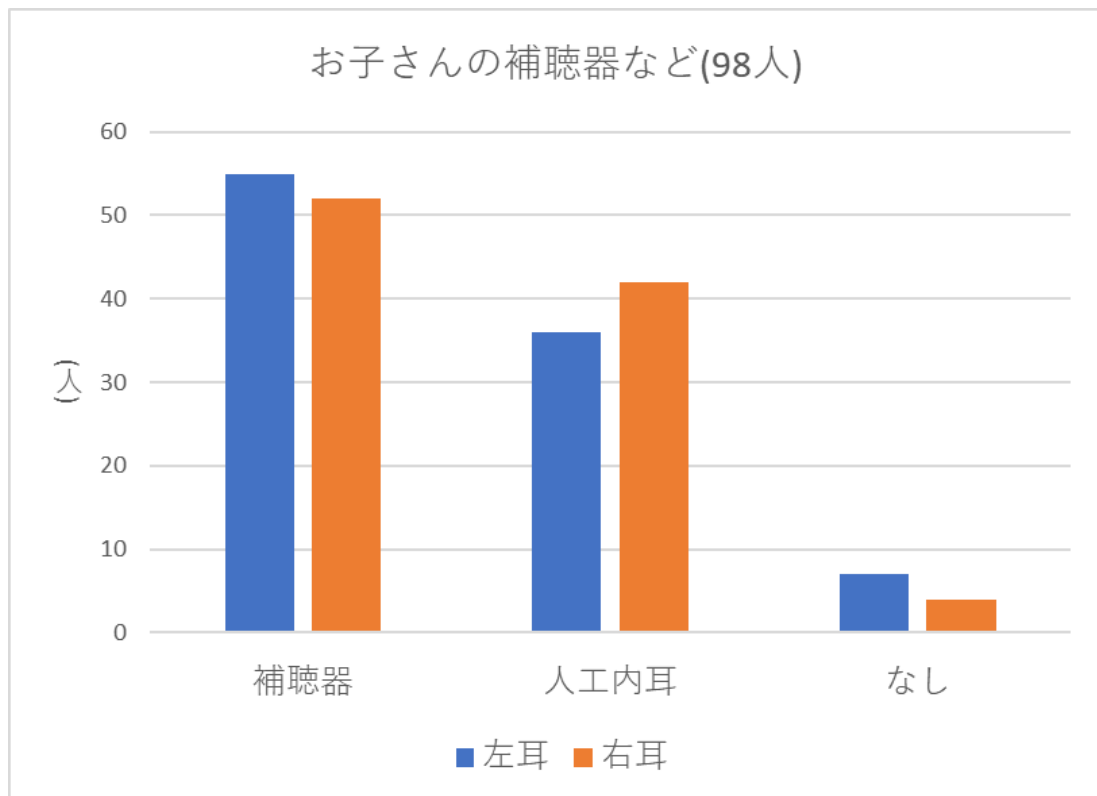


- ・ 正常 (24dB 以下)
- ・ 軽度難聴 (25～39dB)
- ・ 中度難聴 (40～69dB)
- ・ 高度難聴 (70～89dB)
- ・ 重度難聴～ろう (90dB 以上)

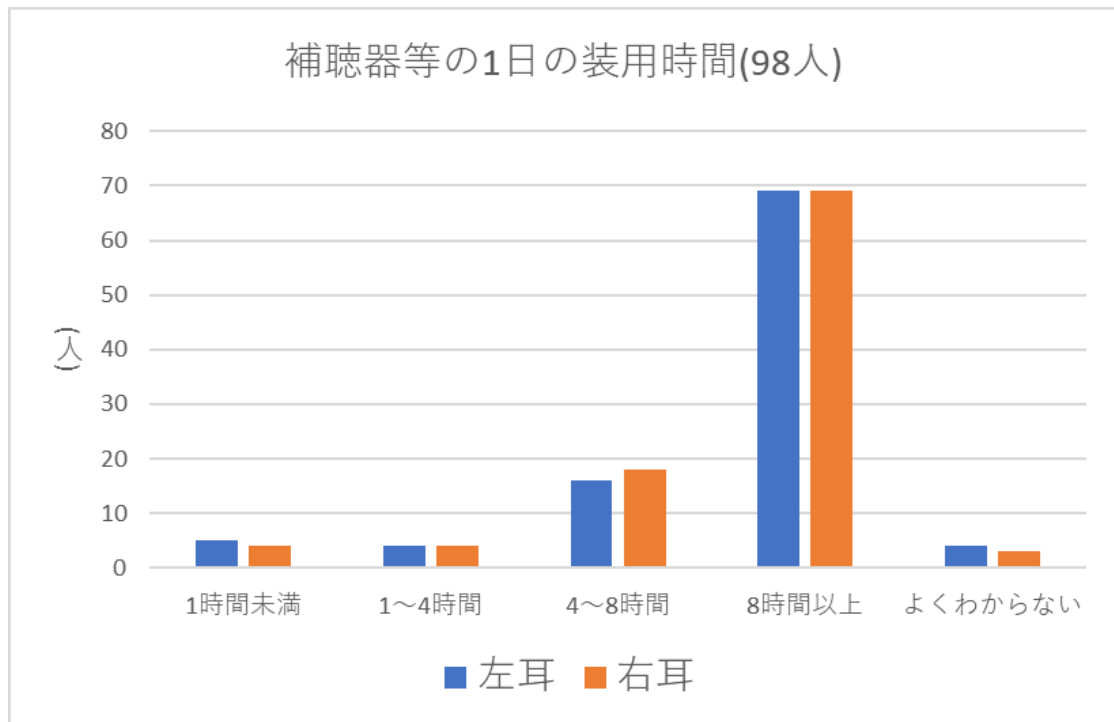
Q4-4. 難聴の種類



Q4-5. 補聴器など

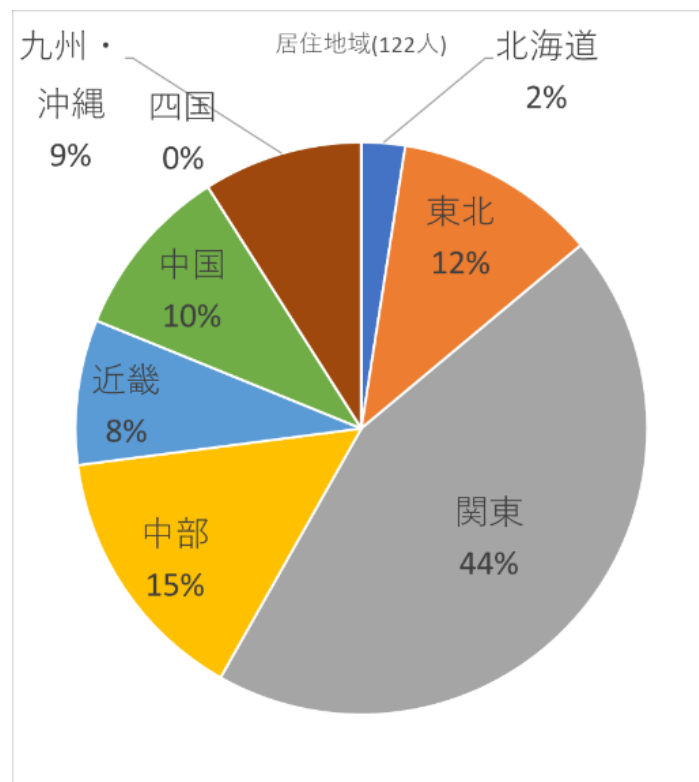


Q4-6. 補聴器等の1日の装着時間

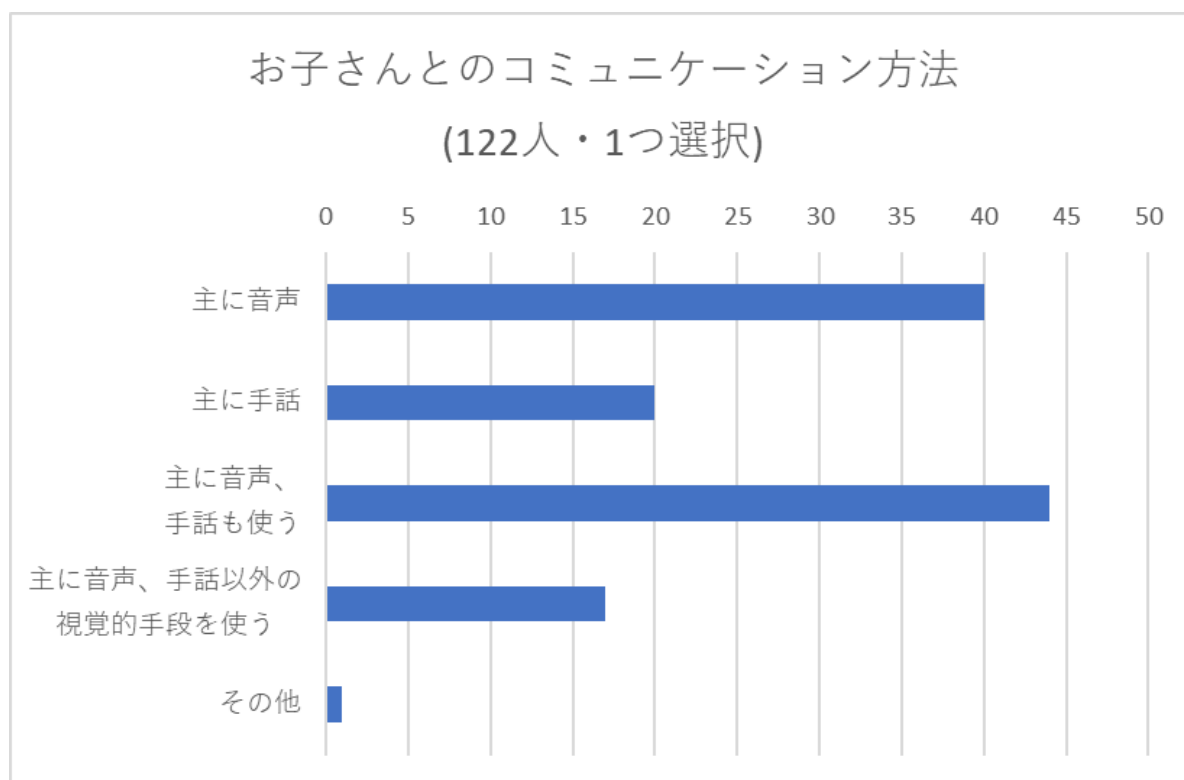


Q.5 フェイスシート項目

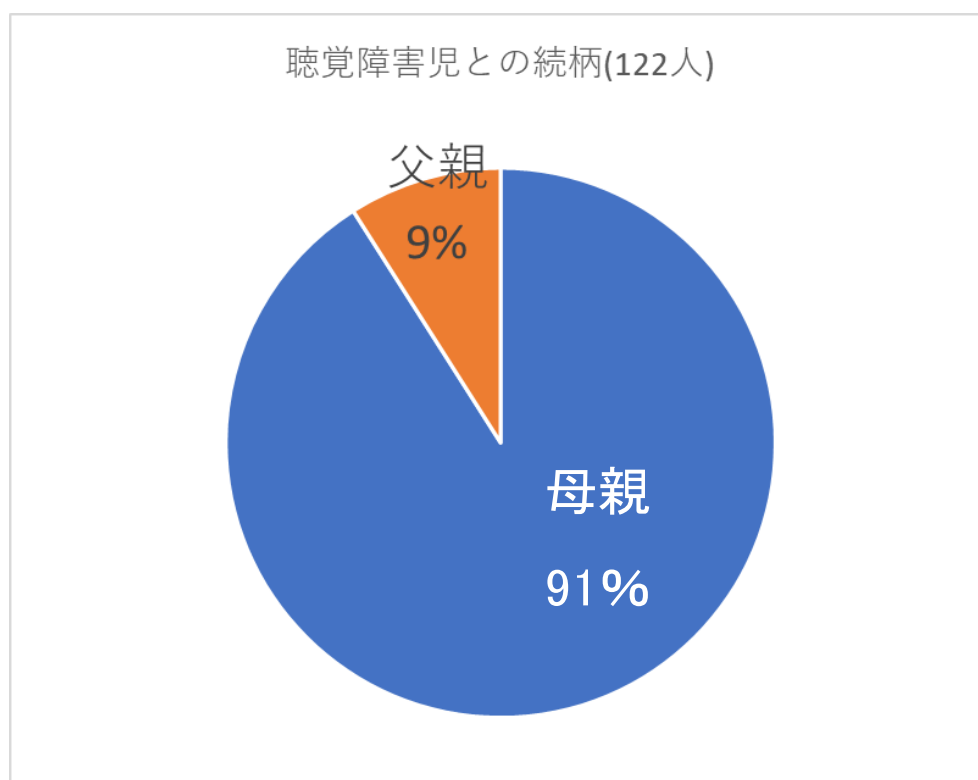
Q5-1. 居住地域



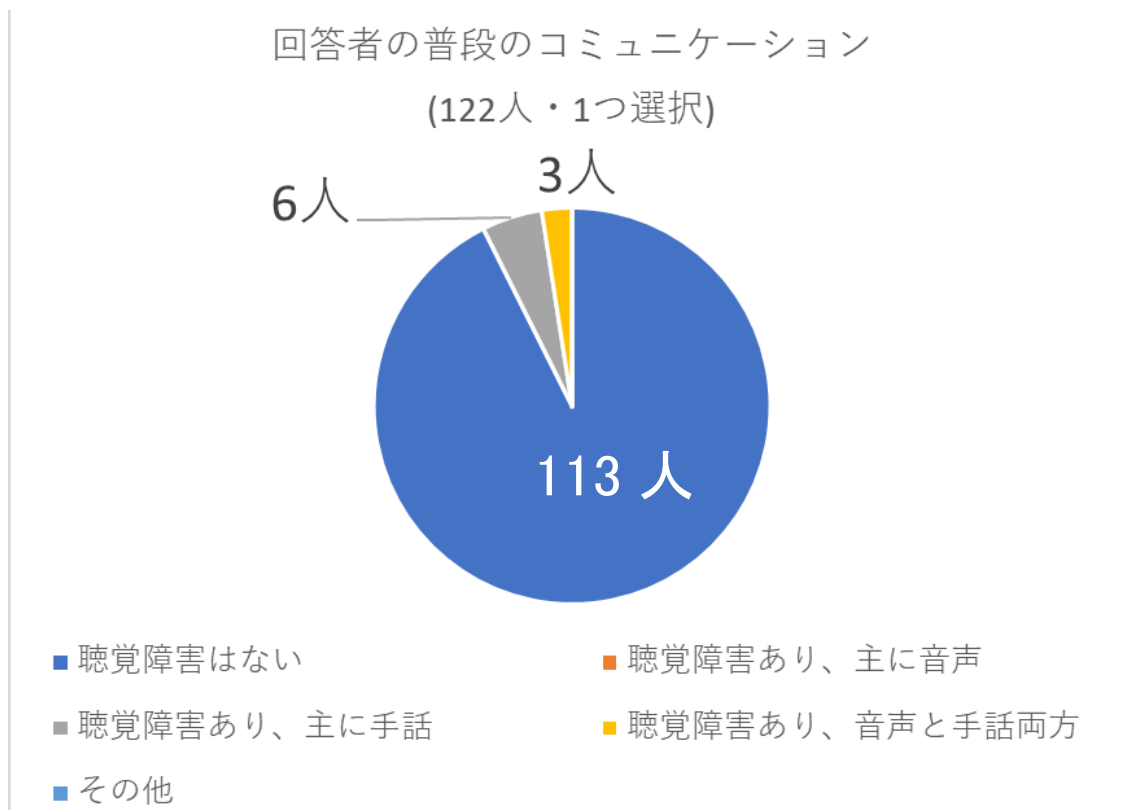
Q5-2. お子さんとのコミュニケーション方法



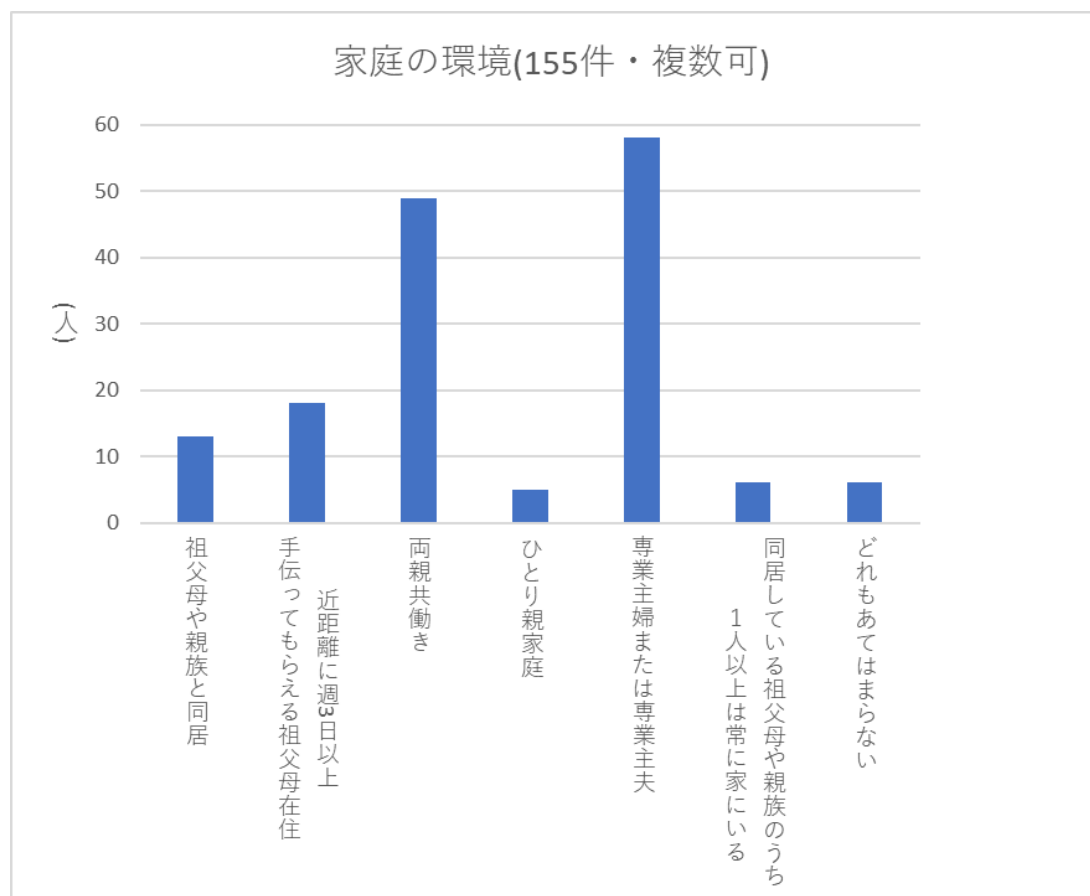
Q5-3. 回答者の聴覚障害児との続柄



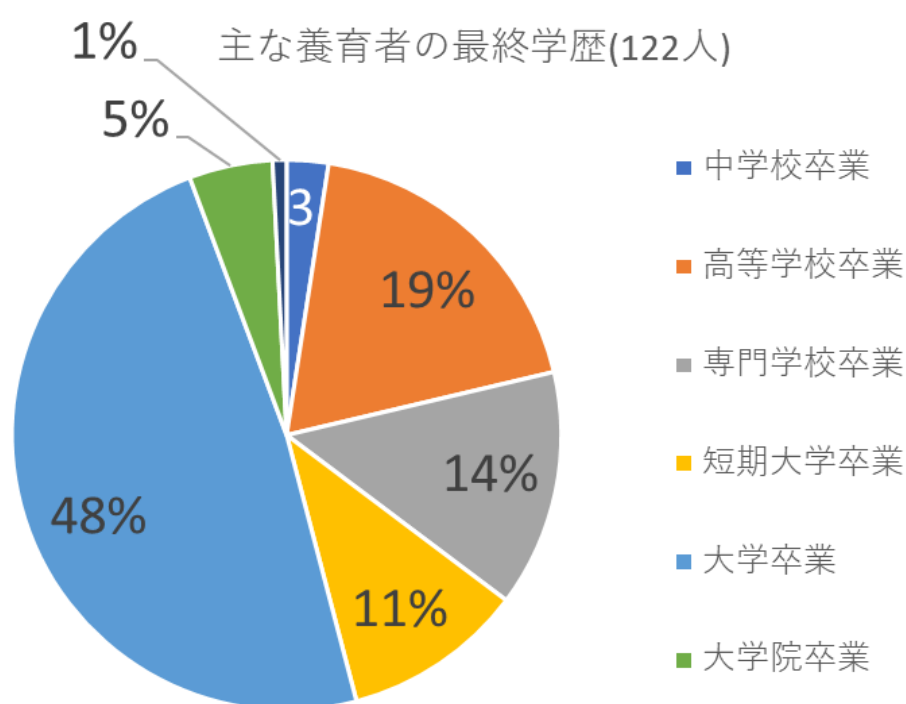
Q5-4. 回答者の普段のコミュニケーション手段



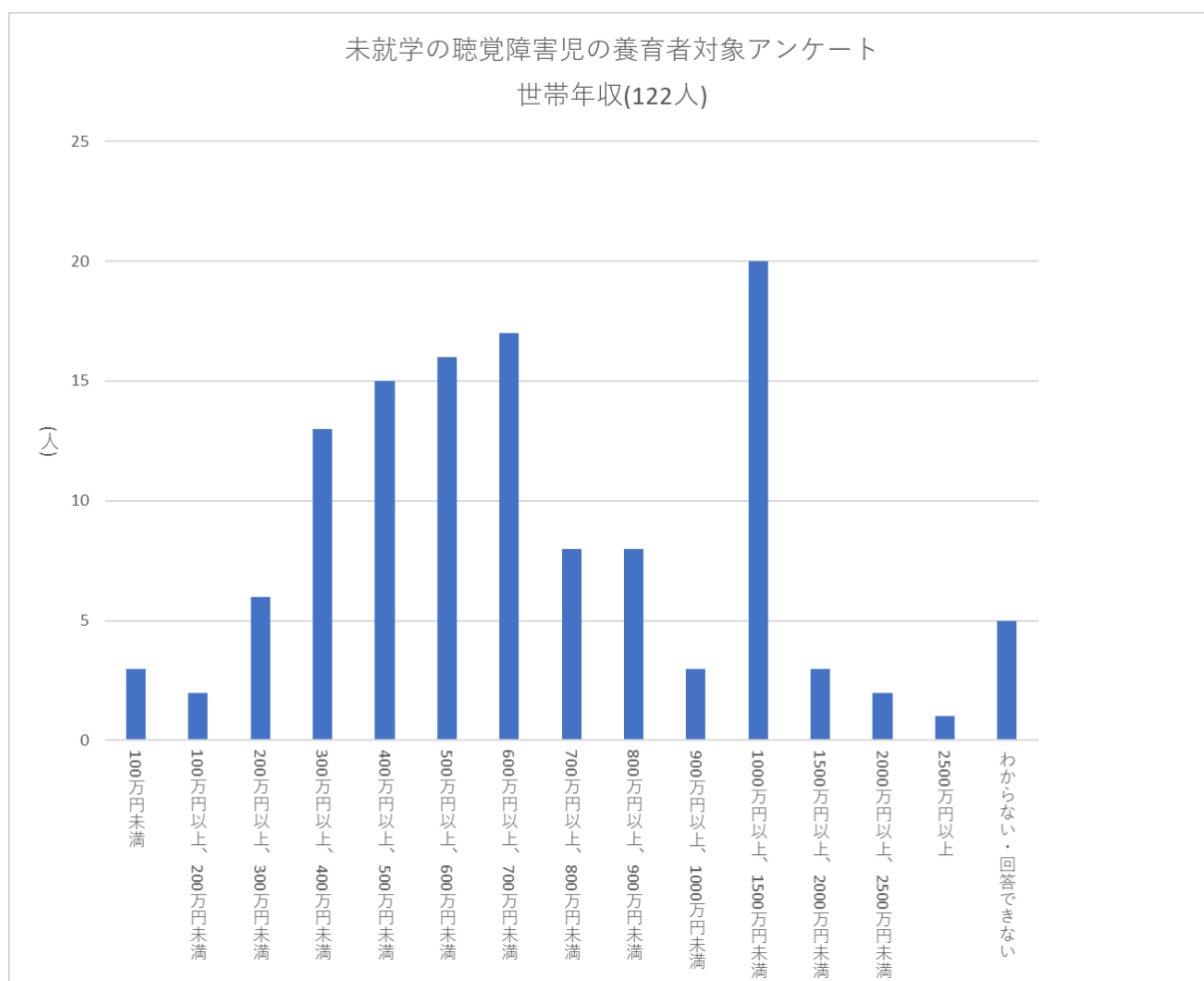
Q5-5. 家庭の環境



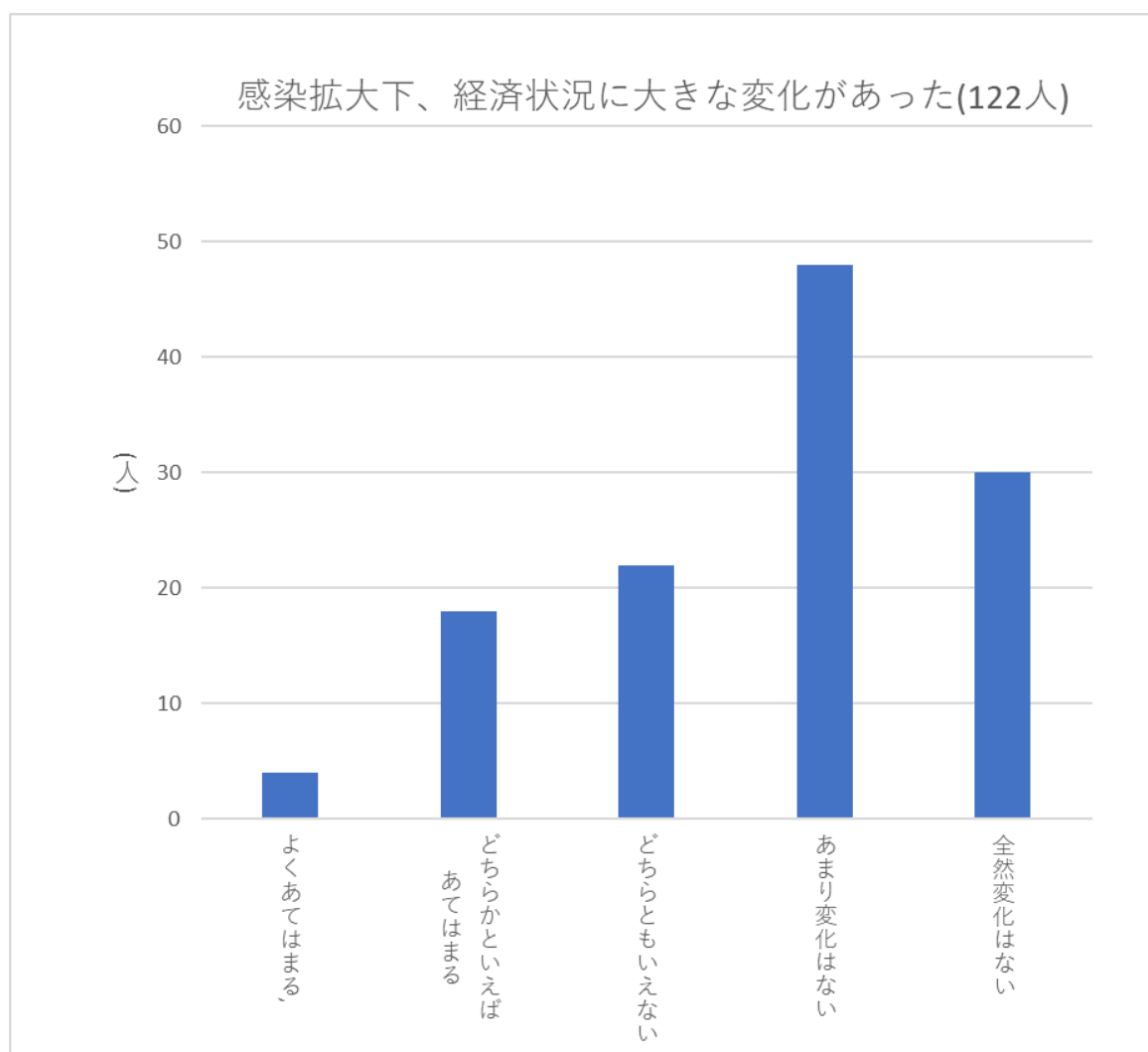
Q5-6. 主な養育者の最終学歴



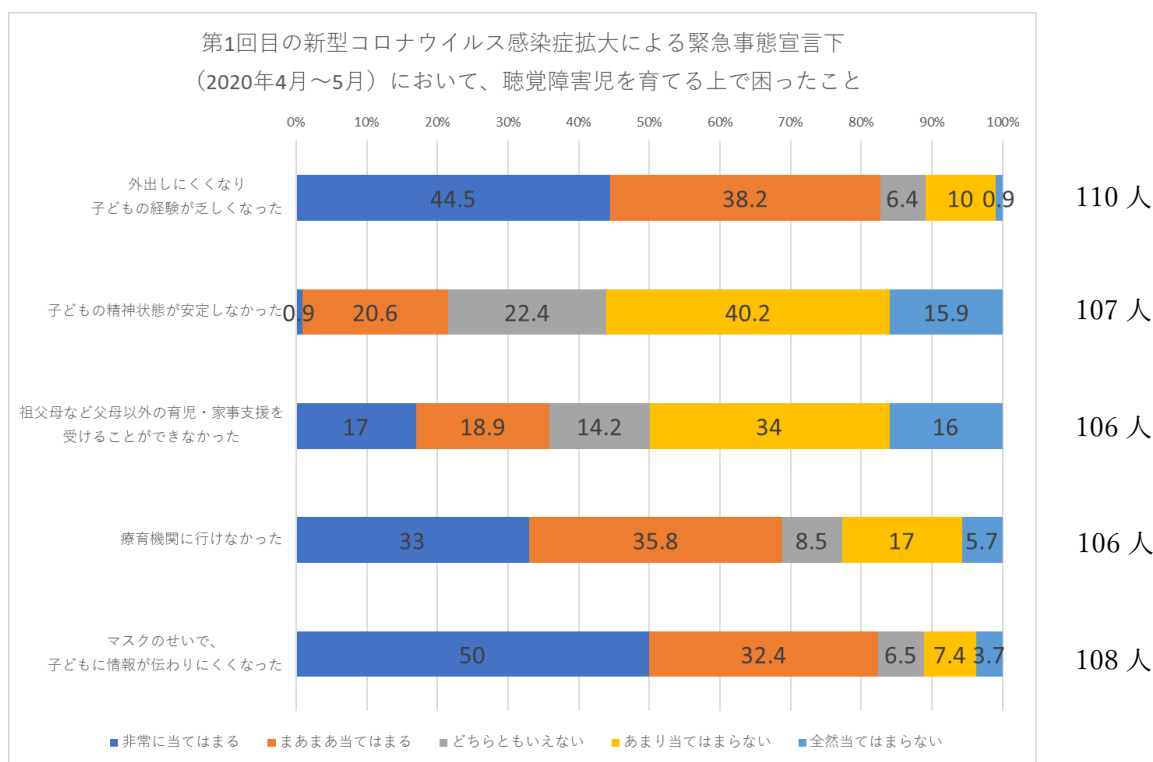
Q5-7. 世帯年収



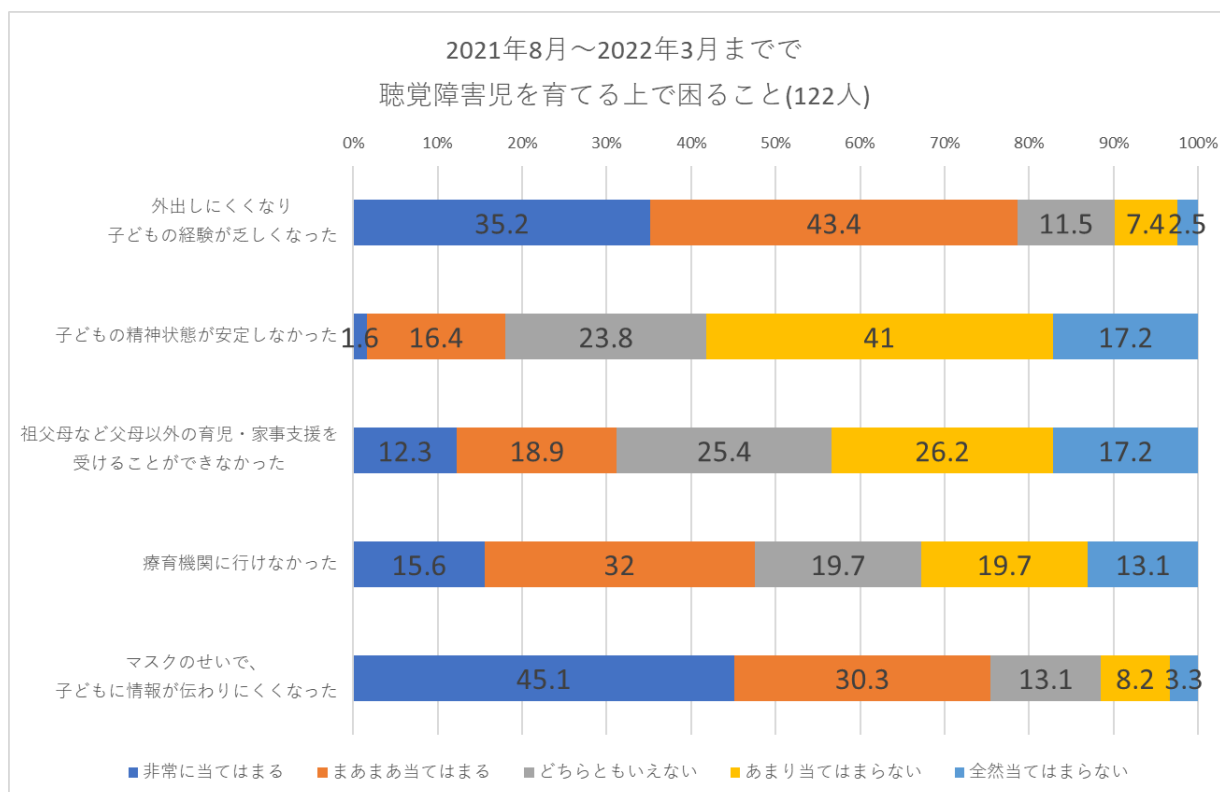
Q6. 新型コロナウイルス感染症拡大下（2020 年春以降、現在まで）において、ご家庭の経済状況に大きな変化はありましたか。



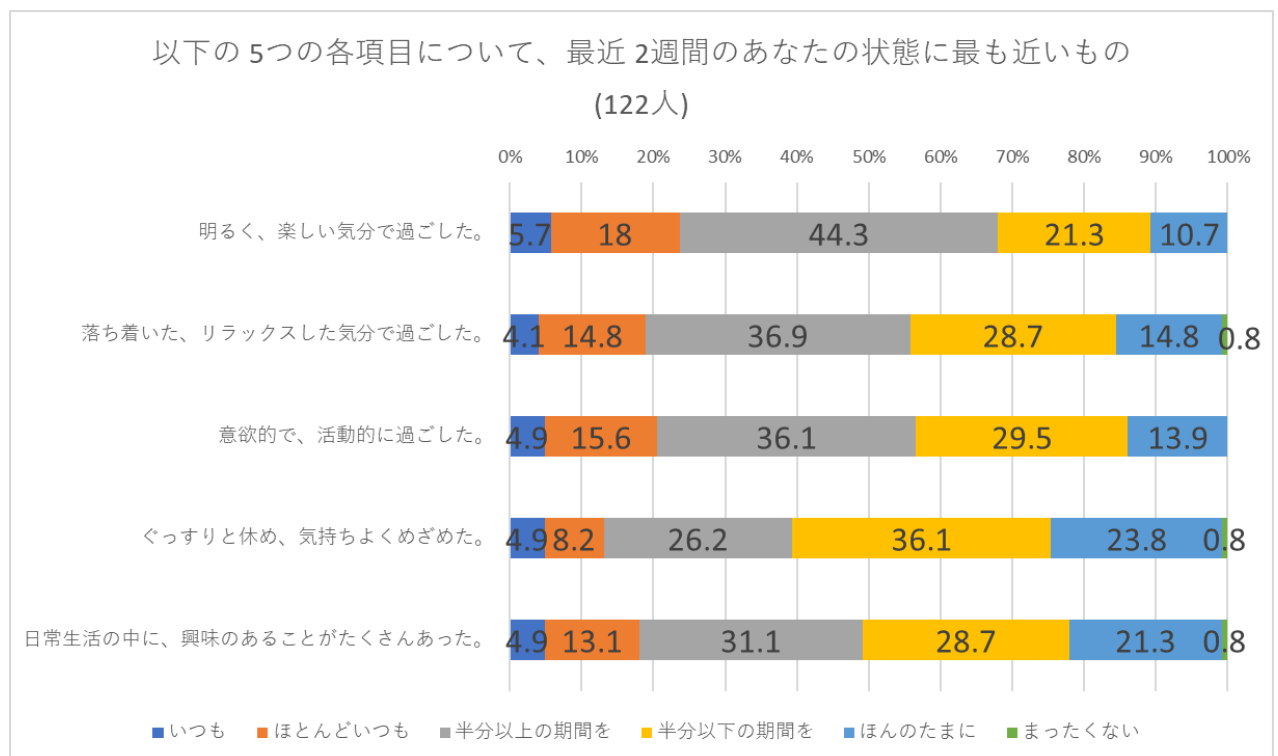
Q7. 第1回目の新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下（2020年4月～5月）において、聴覚障害児を育てる上で困ったことについて、当てはまるかどうかをお答えください。



Q8. 2021年8月～2022年3月までで聴覚障害児を育てる上で困ることについて、当てはまるかどうかをお答えください。



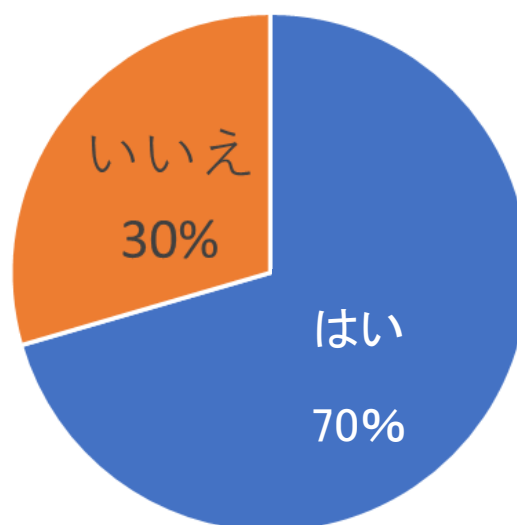
Q9. 以下の 5 つの各項目について、最近 2 週間のあなたの状態に最も近いものをお答えください。



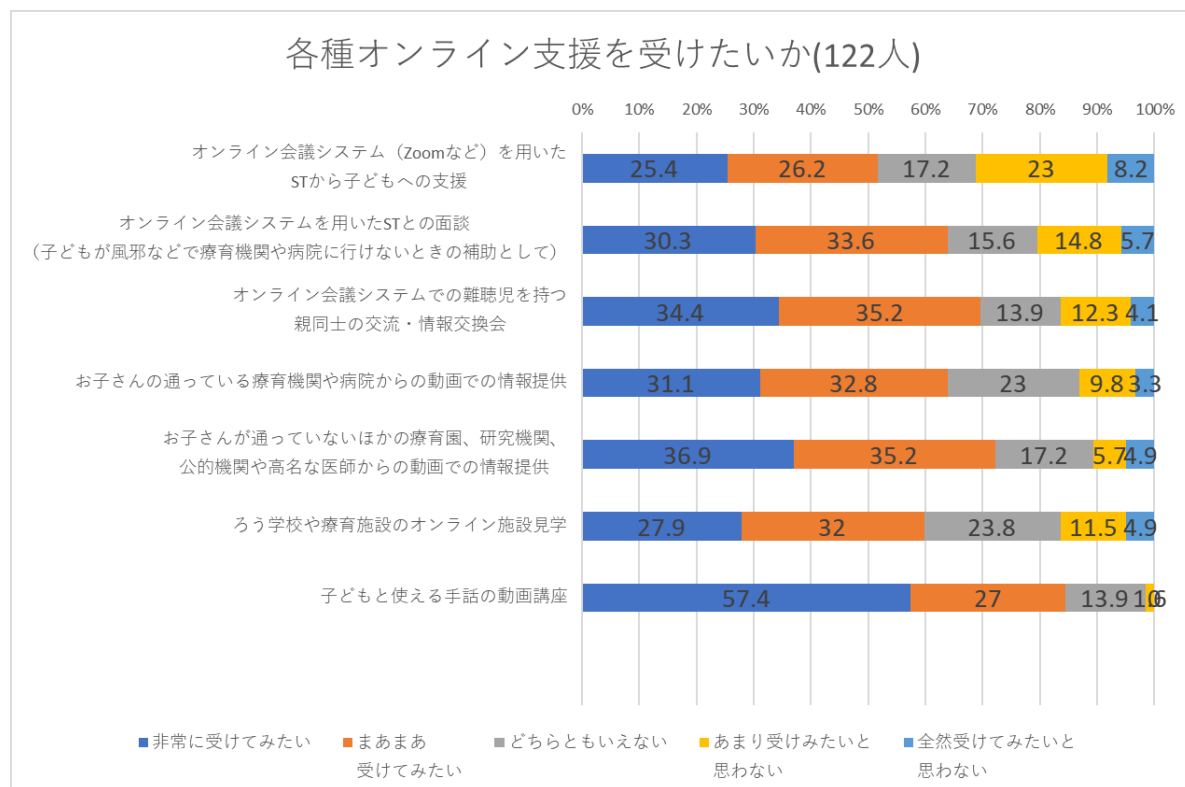
Q10. 療育の変化について

Q10-1. コロナ前から療育機関に通っていますか。

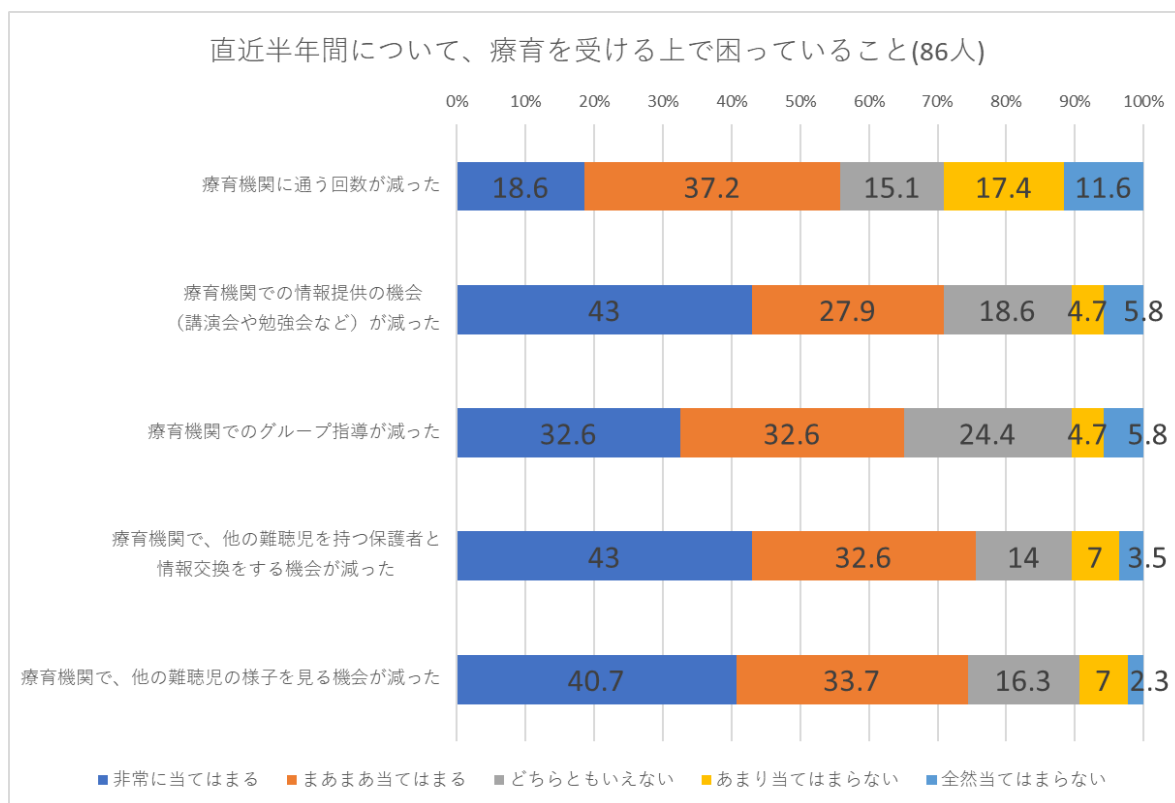
コロナ前から療育機関に通っていますか(122人)



Q10-2.直近半年間について、療育を受ける上で困っていることで、以下の項目それぞれが当てはまるかどうかをお答えください。

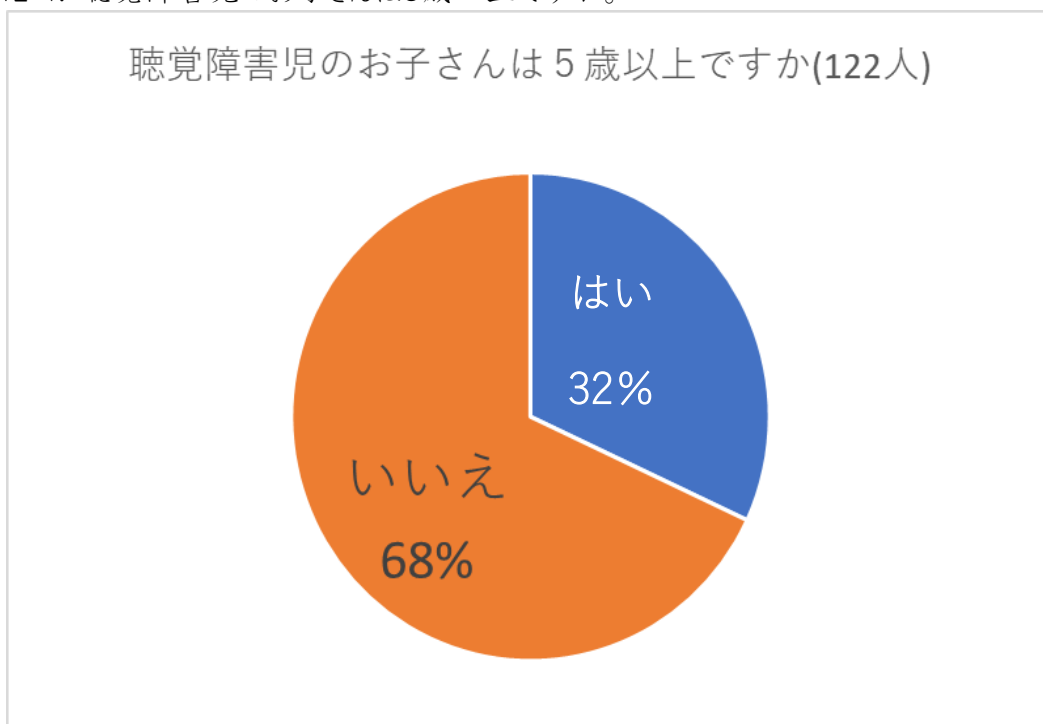


Q11. オンラインで可能になりそうな支援について、受けてみたいかどうかについてお答えください。

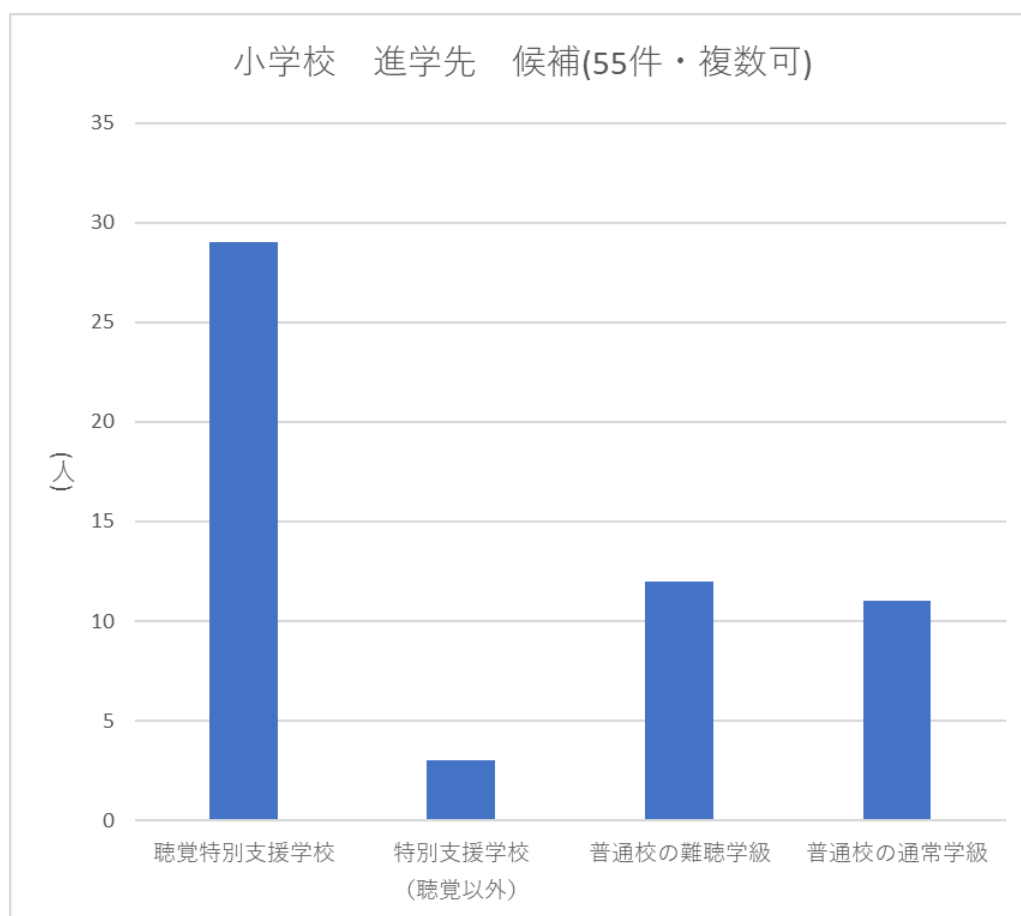


Q12. 聴覚障害児が5歳以上のお子さんをお持ちの方にお伺いします。

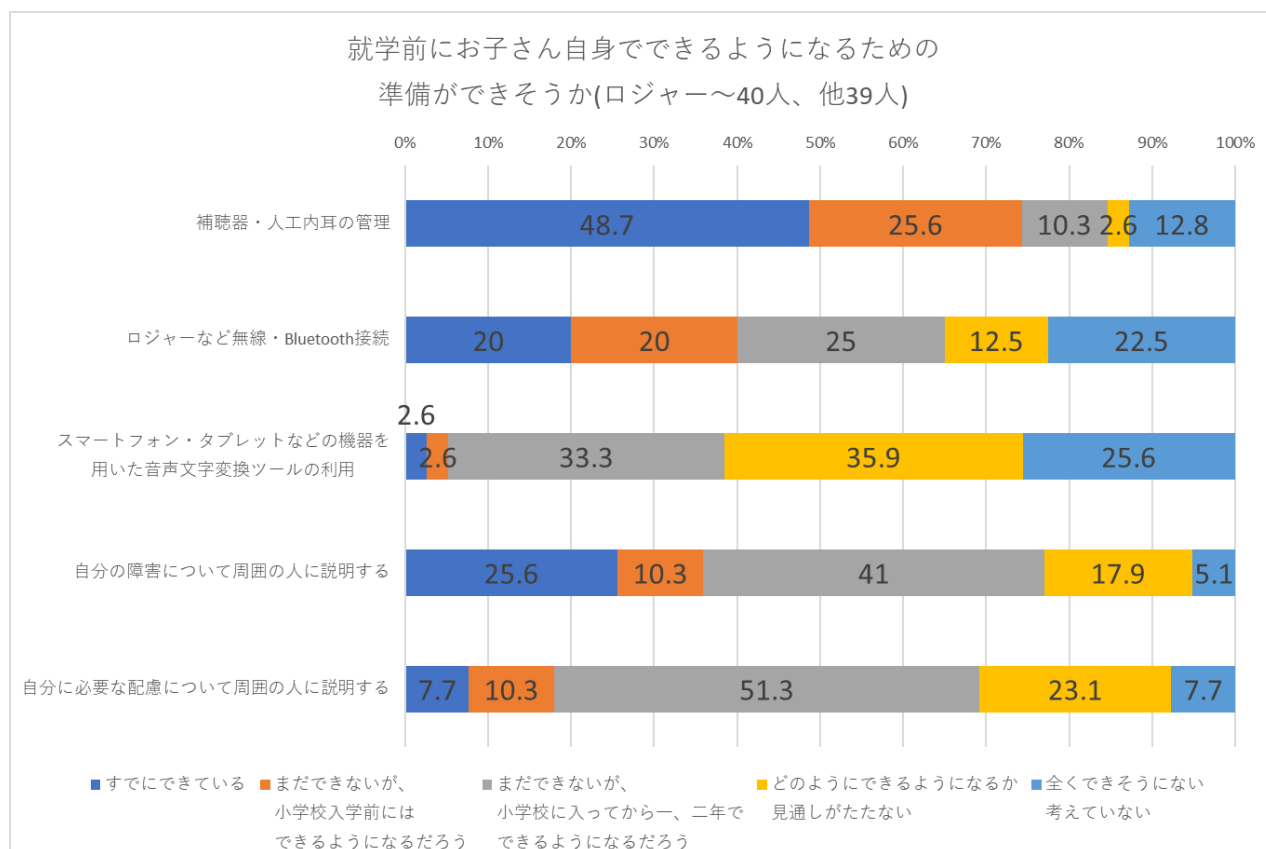
Q12-1. 聴覚障害児のお子さんは5歳以上ですか。



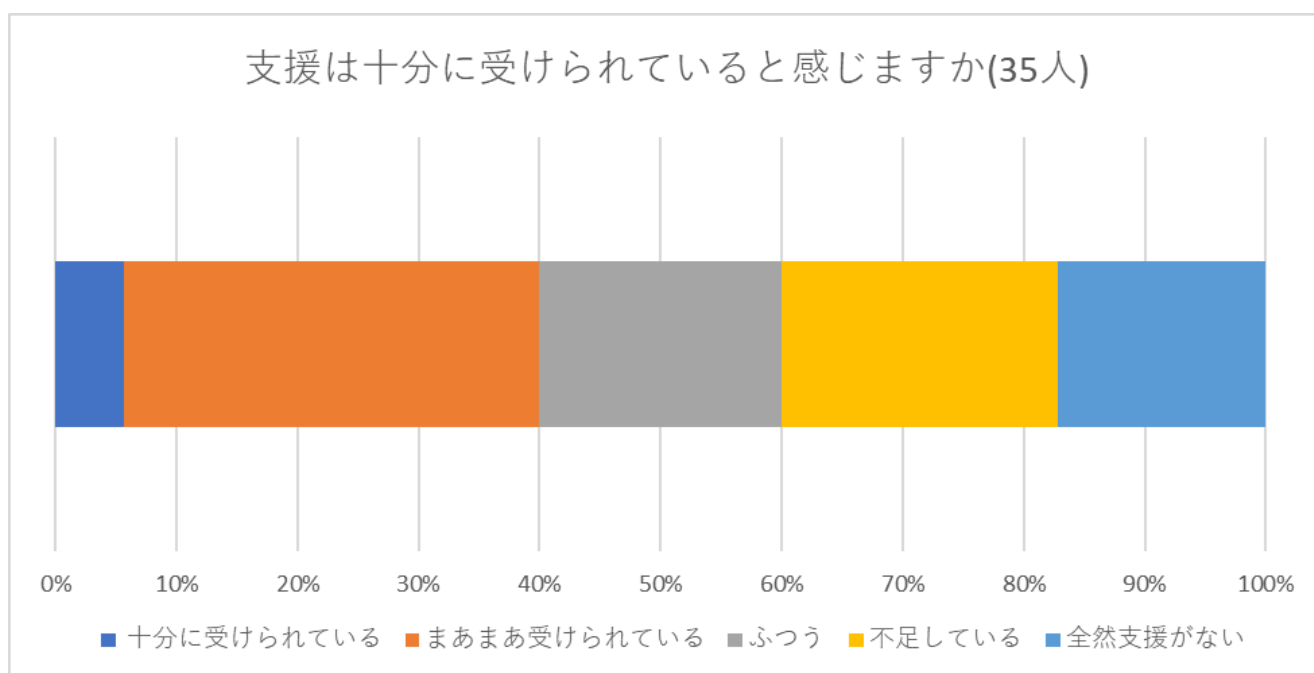
Q12-2. 小学校の進学先として考えているものをすべて選んで下さい。



Q12-3.就学前に以下の内容を、お子さん自身でできるようになるための準備ができそうかについて評価して下さい。

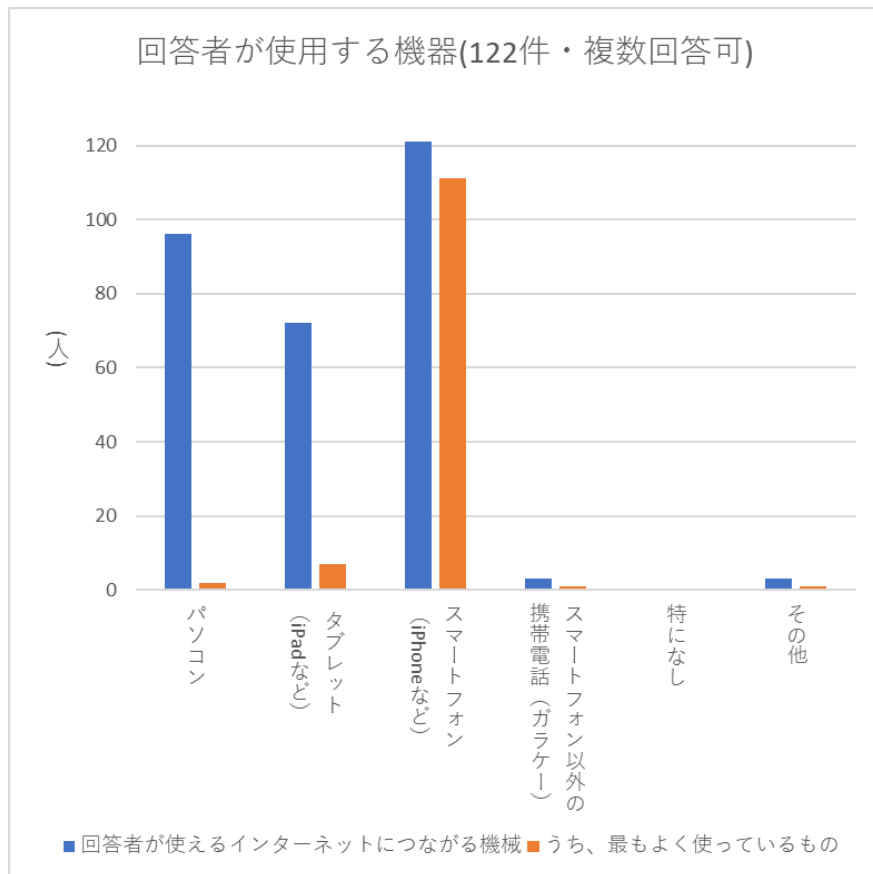


Q12-4. お子さん自身が自分の障害を認識し、説明できるようになるための支援は十分に受けられていると感じますか。

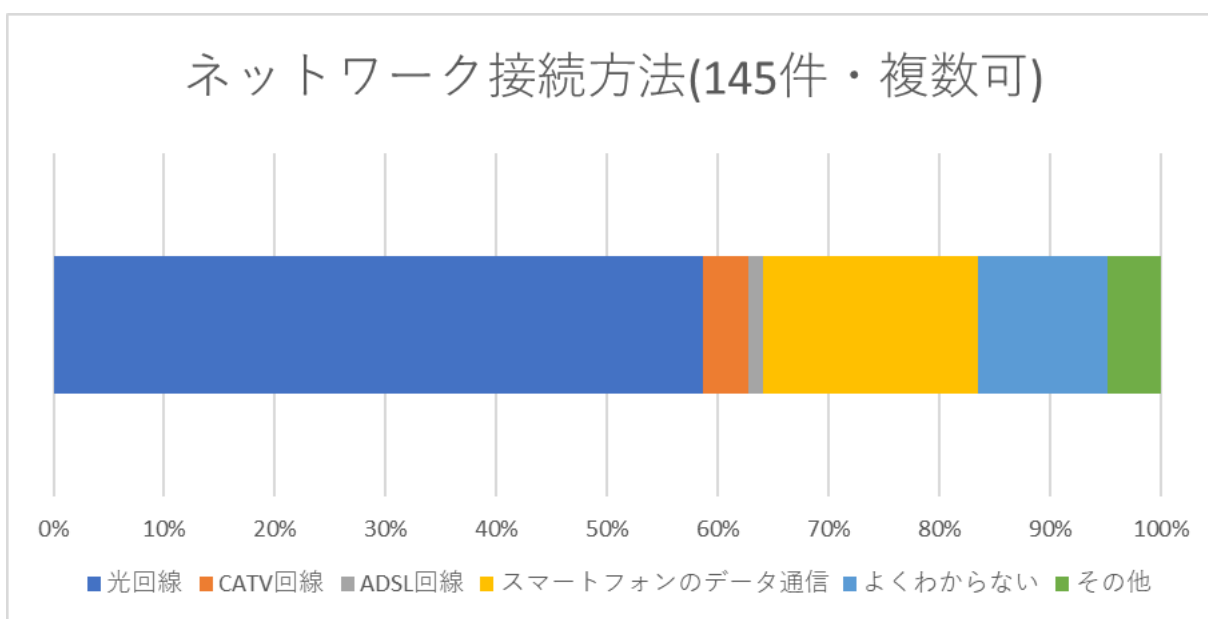


Q13. ネットワーク環境について

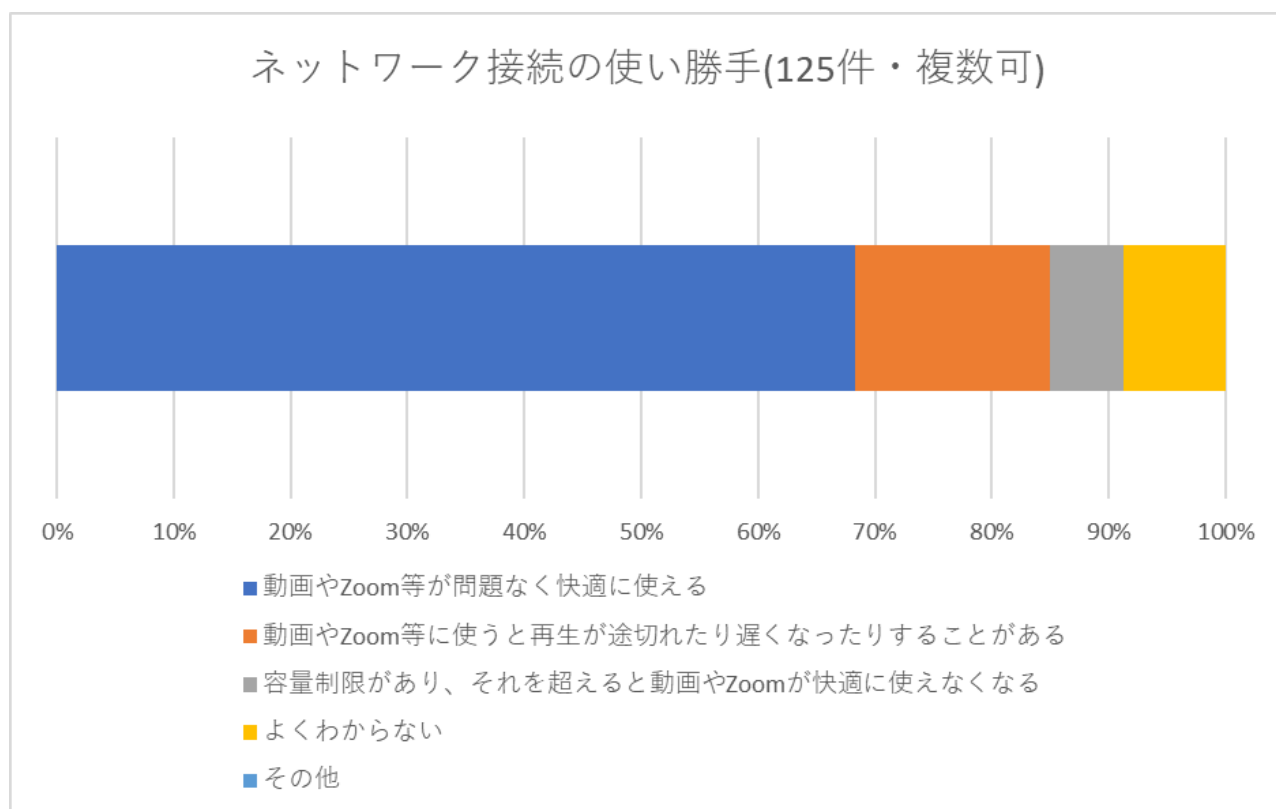
Q13-1. あなたが家庭のことに使えるインターネットにつながる機械はどれですか。持っているもの、最もよく使っているものをお答えください。



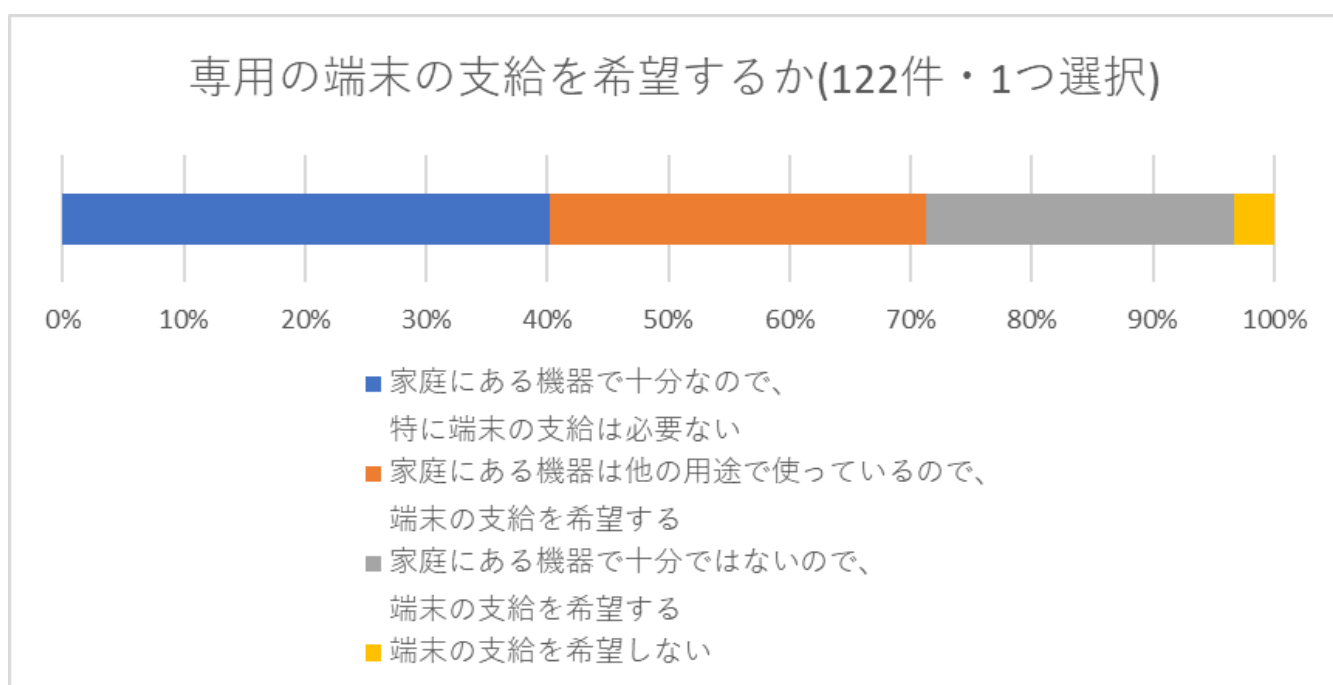
Q13-2. ご家庭でのネットワーク接続方法。



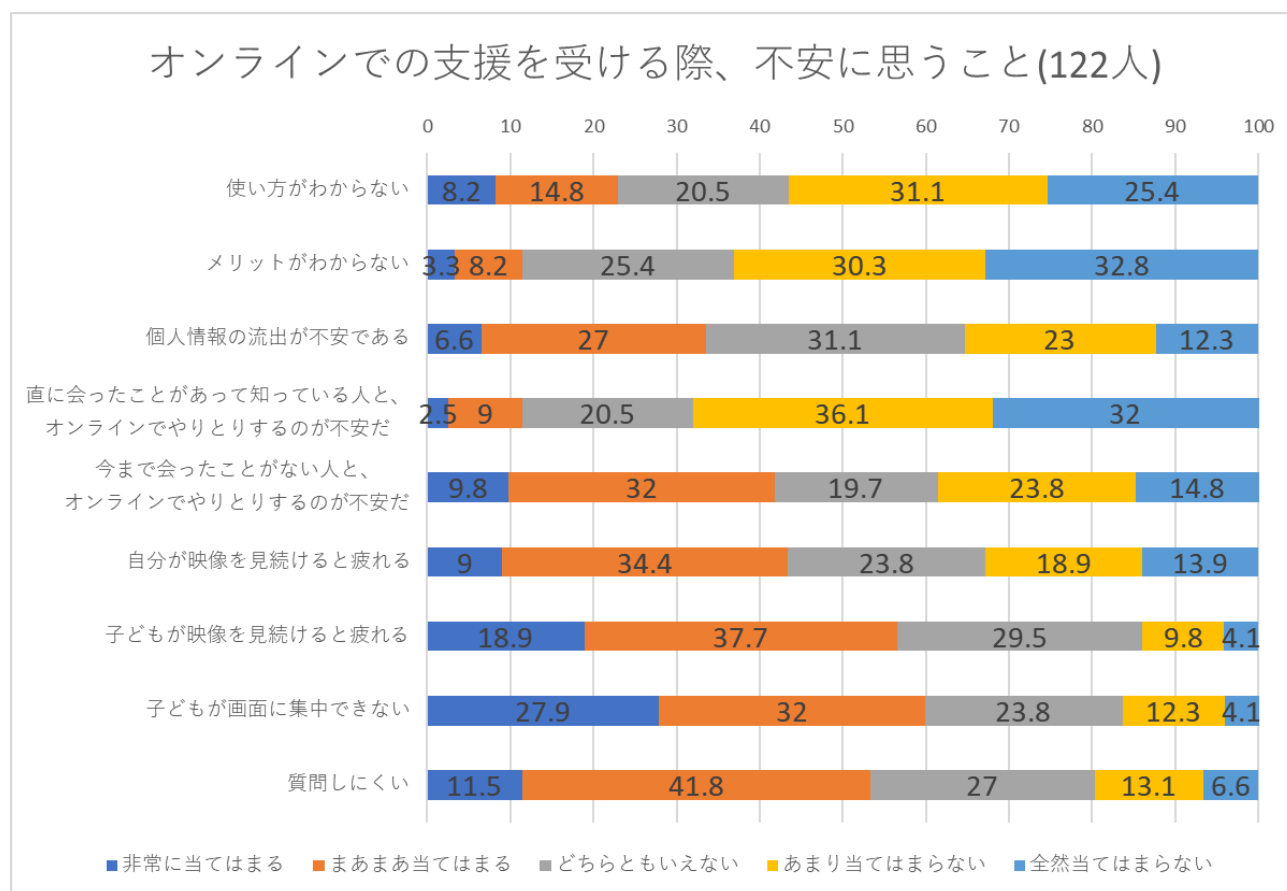
Q13-3.ネットワークの使い勝手。



Q13-4. お子さんの療育をオンラインで受けることになったら、専用の端末の支給を希望しますか。



Q14. オンラインでの支援を受けるのに、不安に思うことはありますか。

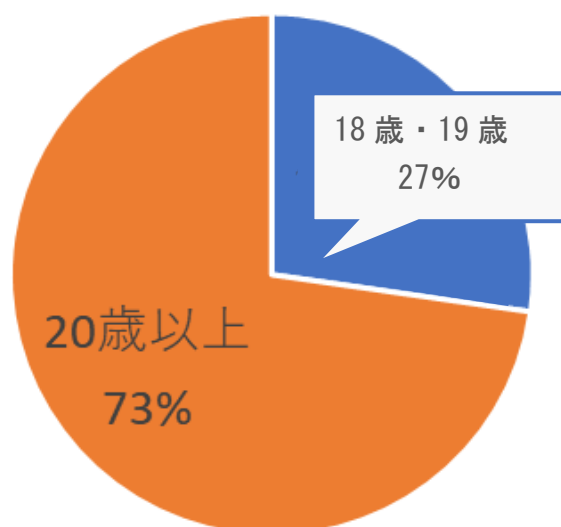


2. 大学生・大学院生

Q1. フェイスシート項目

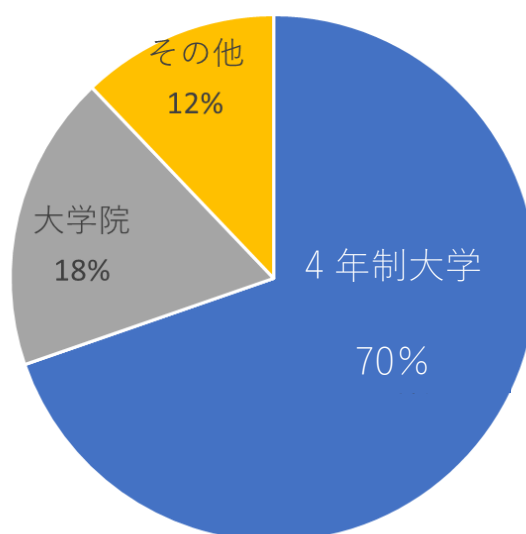
Q1-1. 回答時年齢

大学生・大学院生対象のアンケート
年齢 (33人)

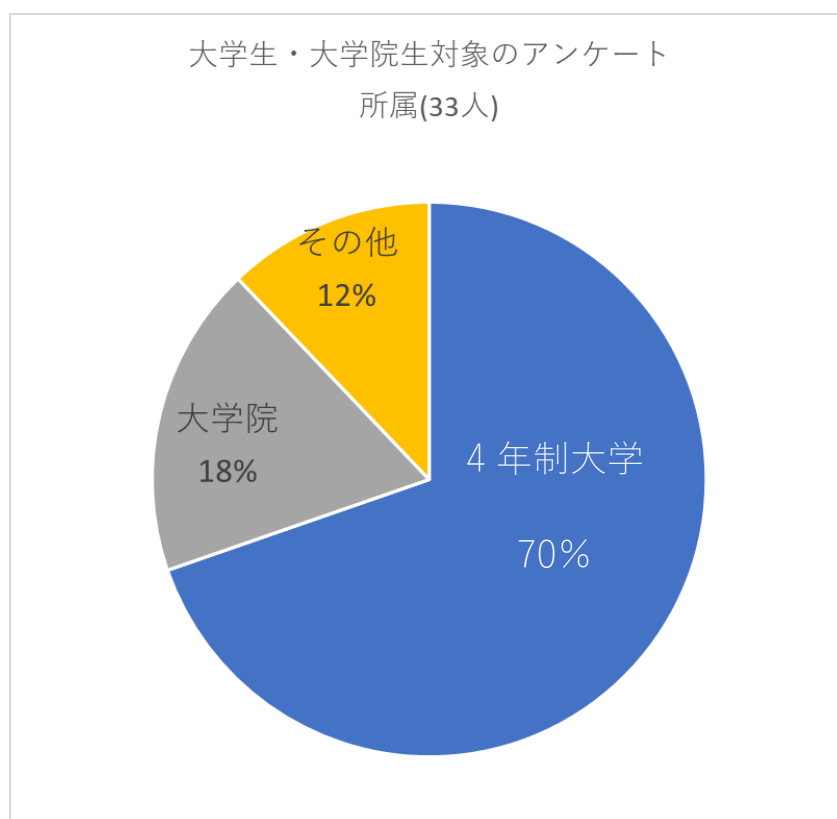


Q1-2. 所属

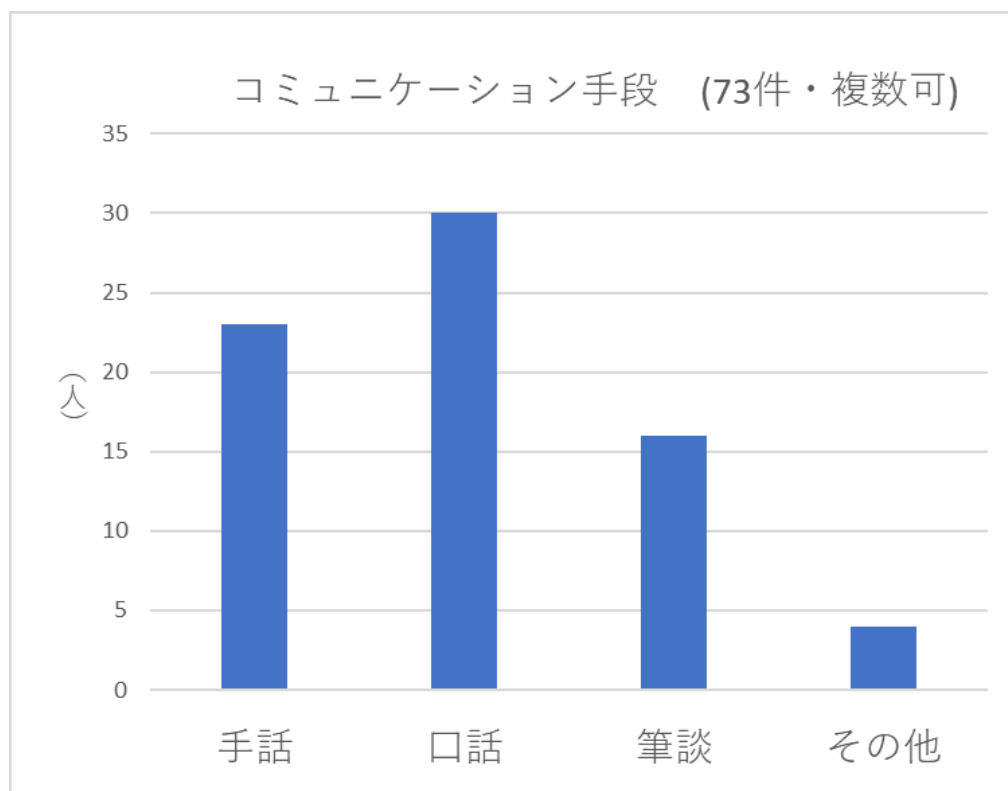
大学生・大学院生対象のアンケート
所属(33人)



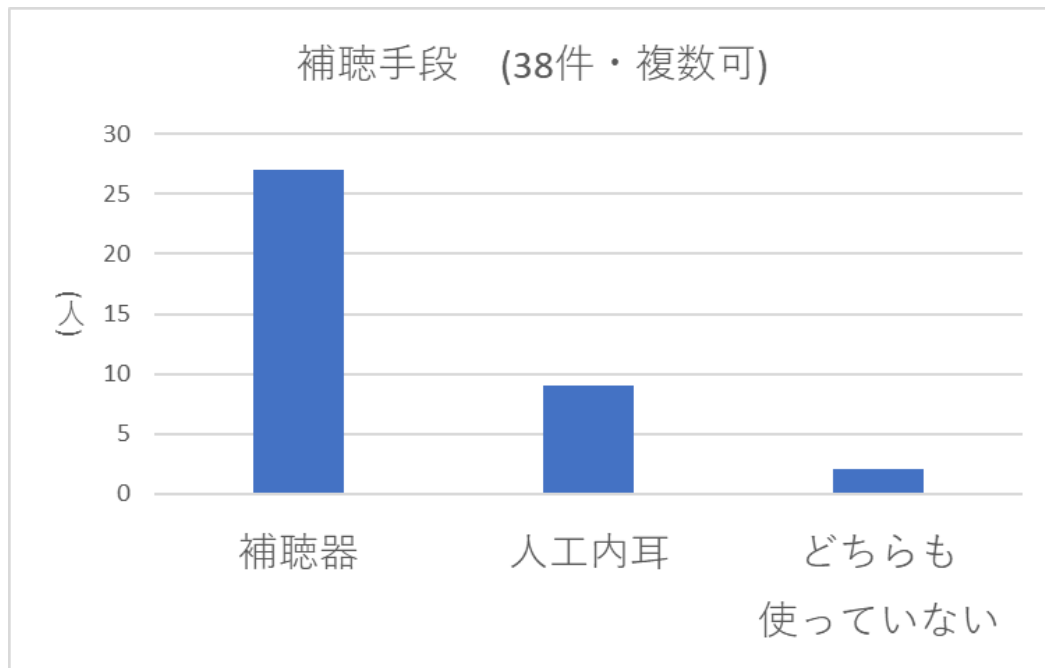
Q1-3. 学年



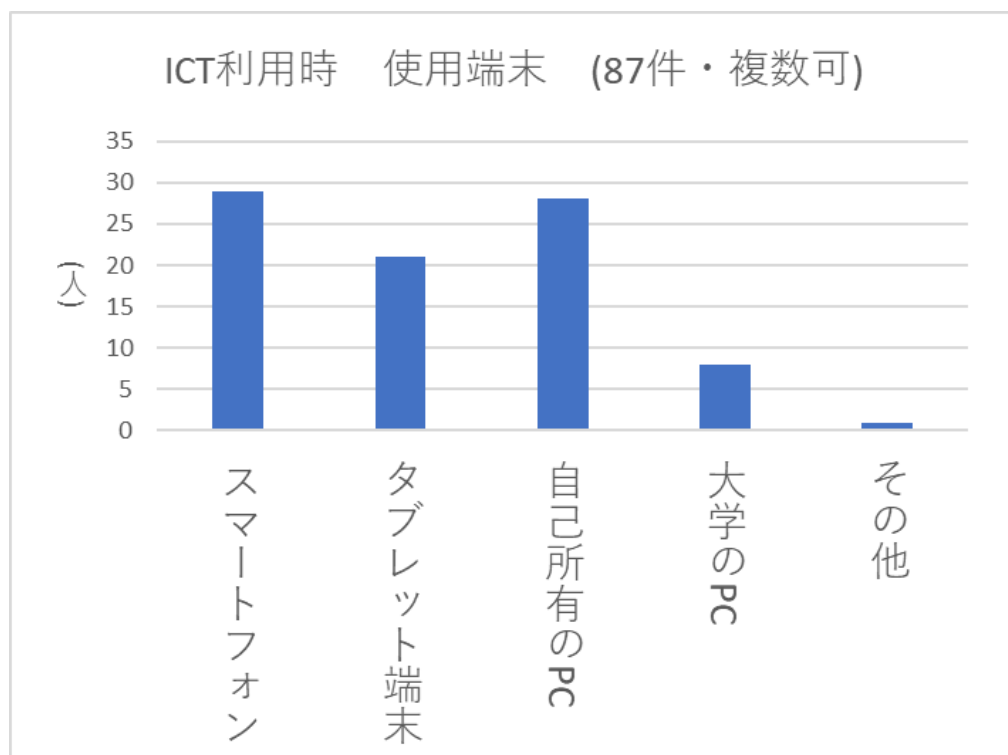
Q1-4. ご自身のコミュニケーション手段



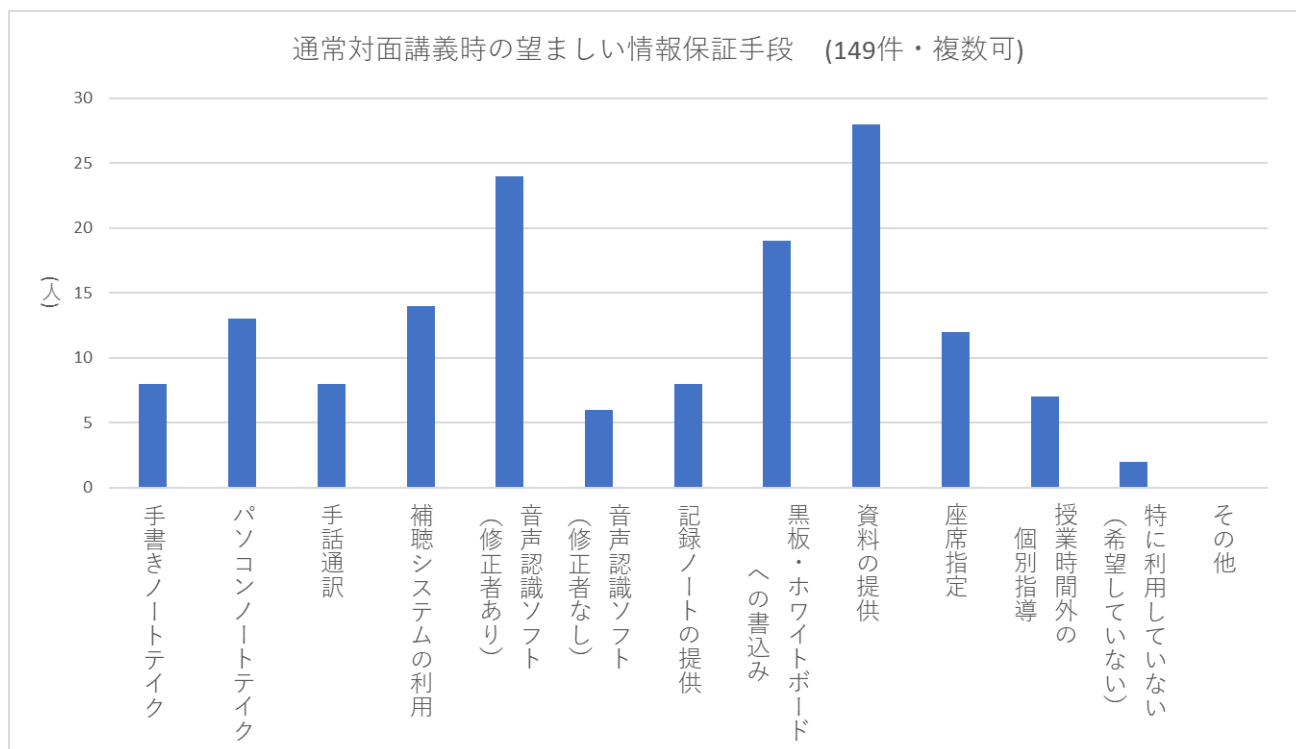
Q1-5. 現在の補聴手段



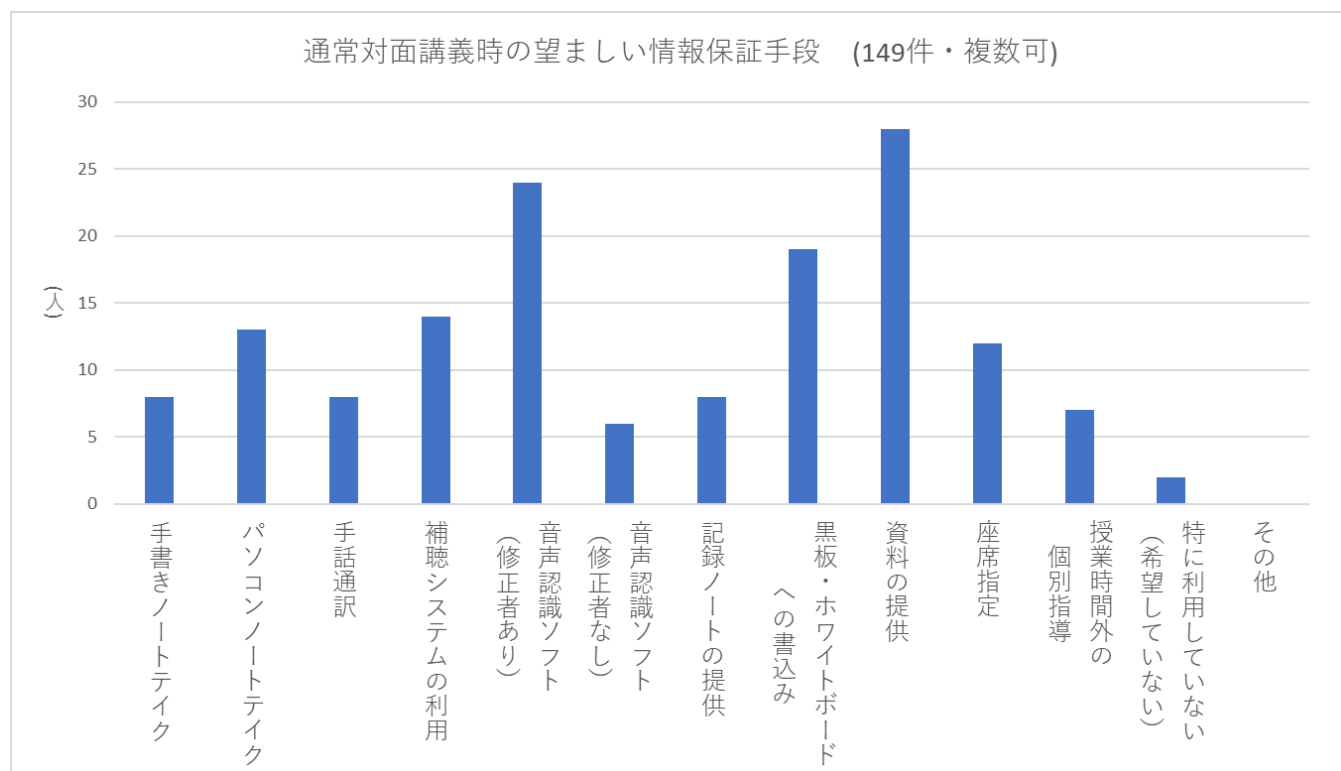
Q1-6. ICTを利用する上で普段使用するもの



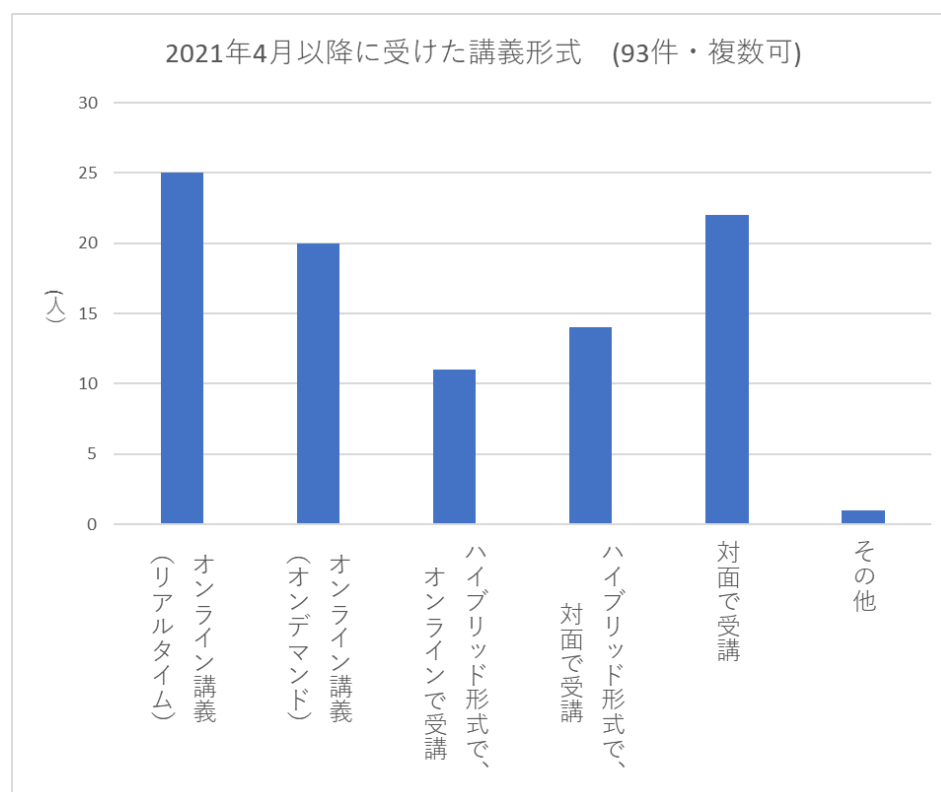
Q1-7. コロナ感染がなく通常どおり対面で講義を受けられるとした場合の望ましい情報保障の手段



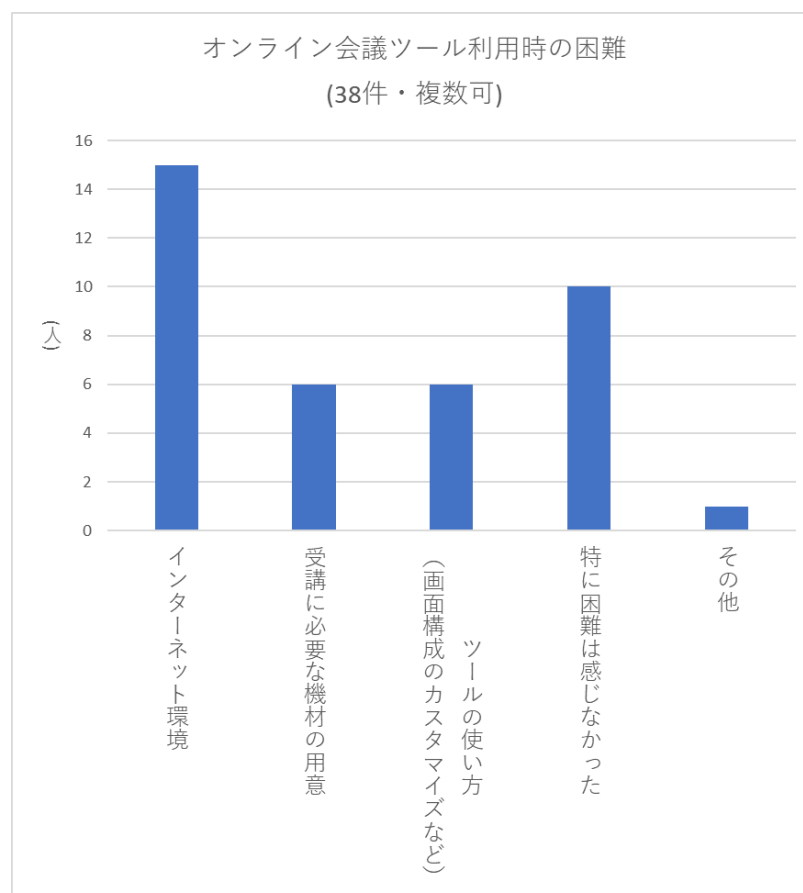
Q2. 大学での講義について



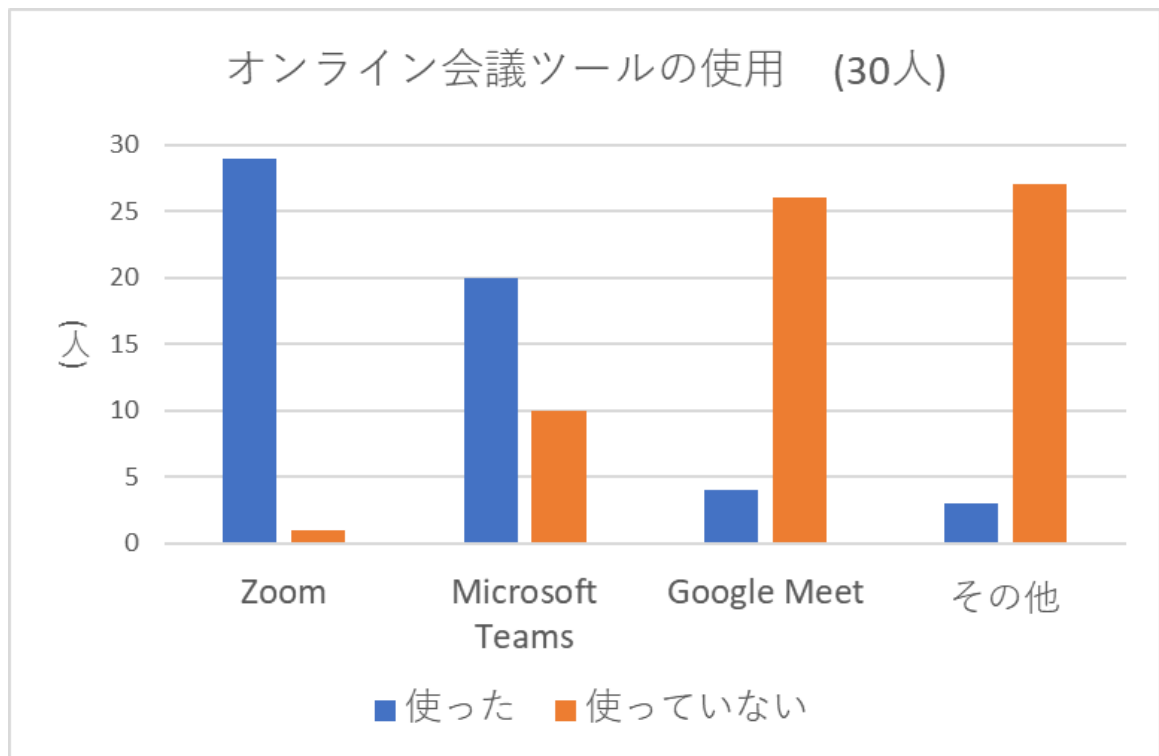
Q2-1. 昨年度(2021 年 4 月以降)に受けた講義の形式



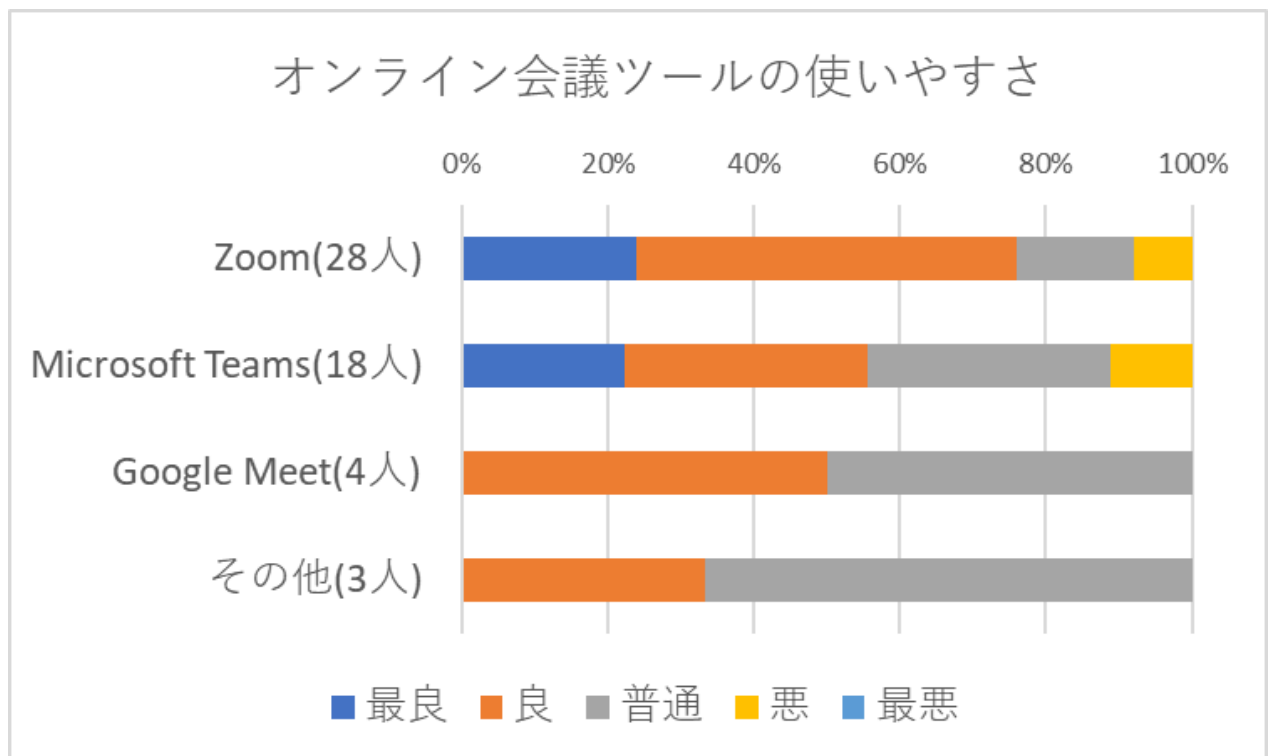
Q2-2. オンライン会議ツールを使用する上での困難



Q2-3. 使用したオンライン会議ツール

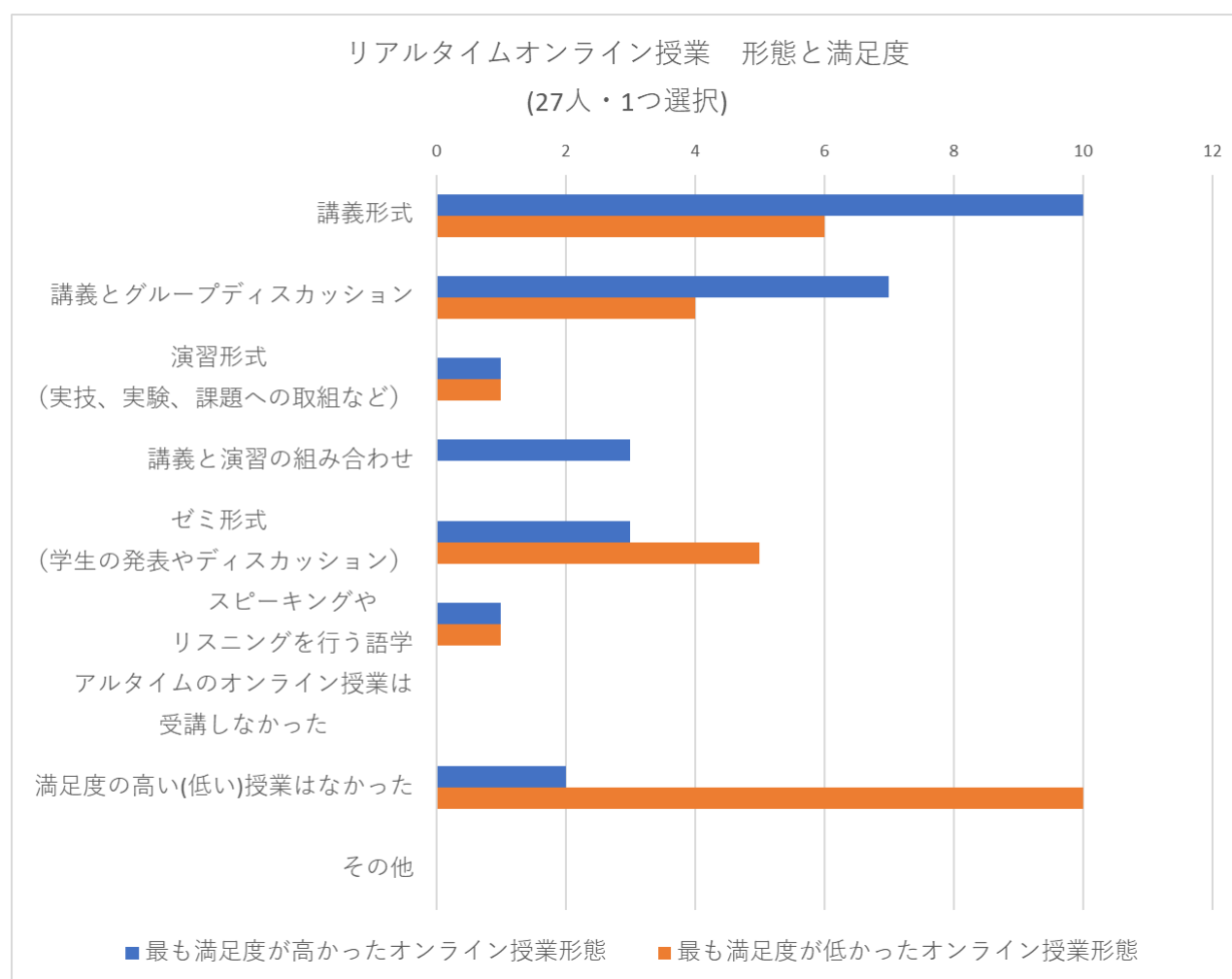


Q2-4. 使用したオンライン会議ツールの使いやすさ

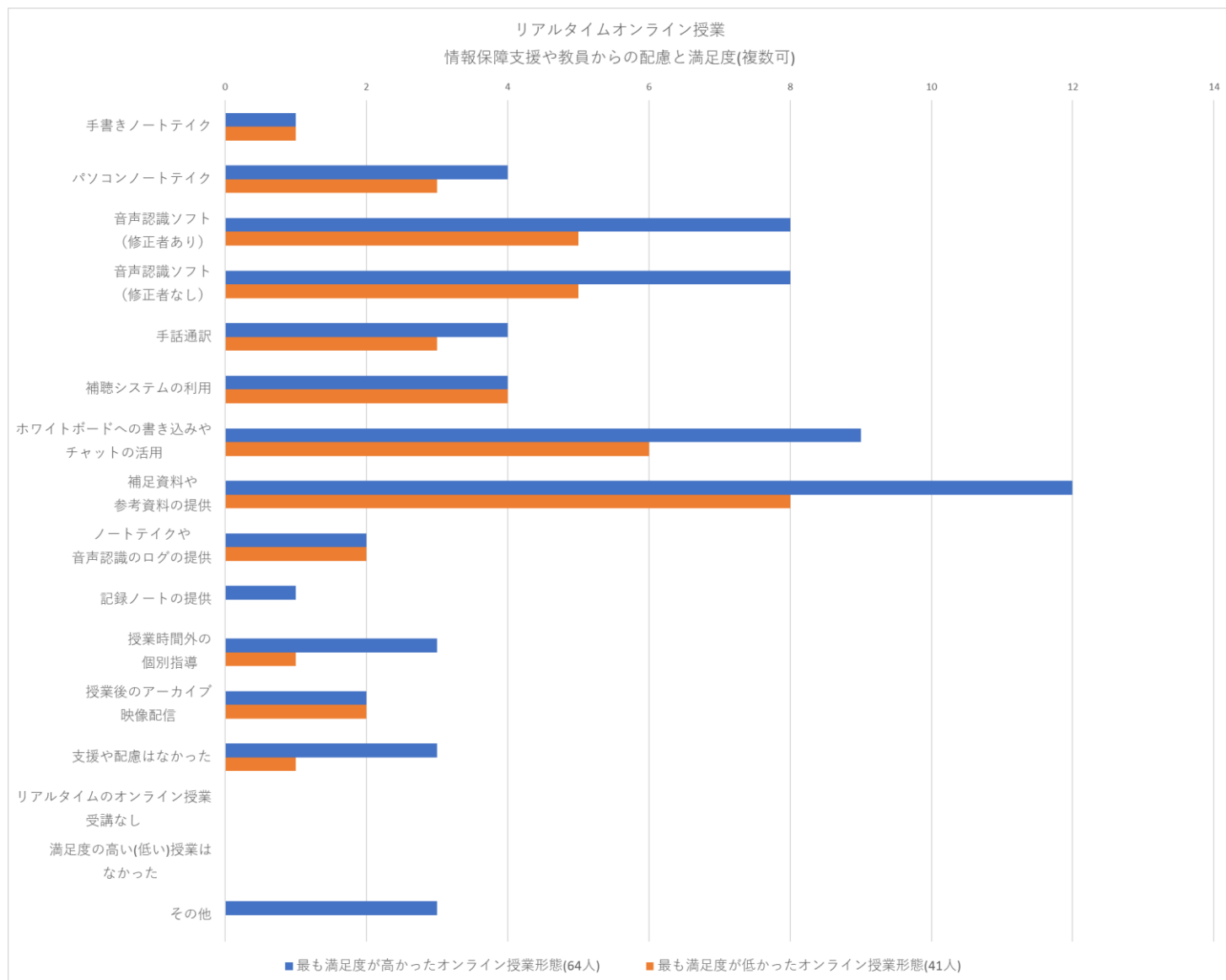


Q3. オンライン授業について

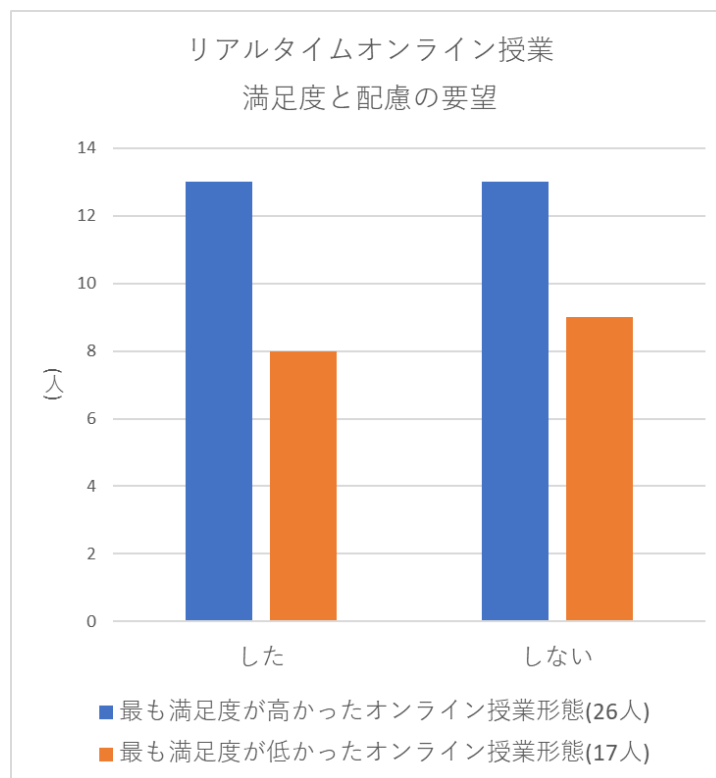
Q3-1. リアルタイムで行われたオンライン授業の形態と満足度



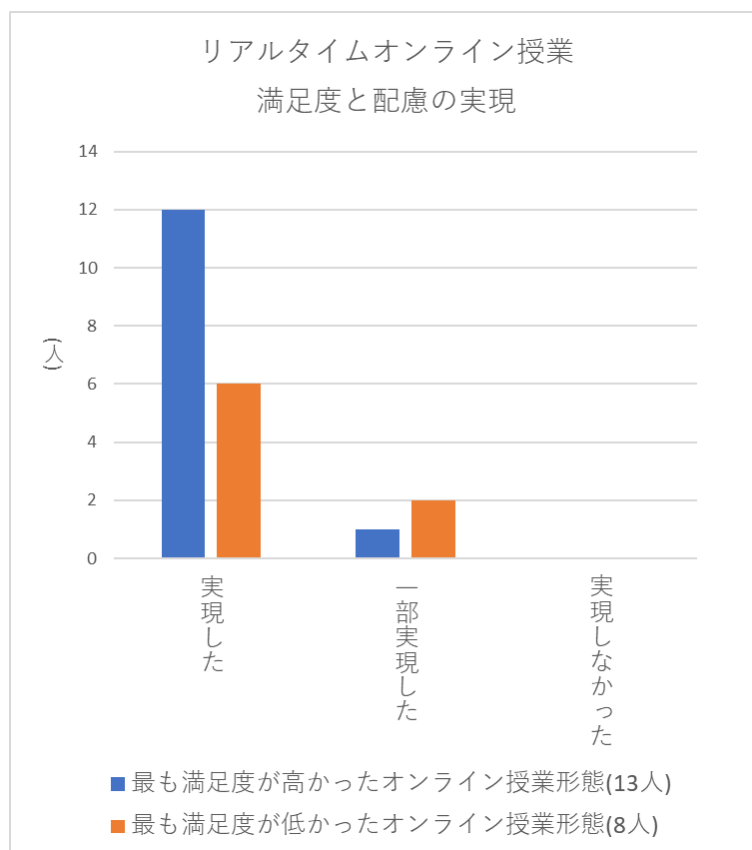
Q3-2. リアルタイムで行われたオンライン授業での情報保障支援や教員からの配慮と満足度



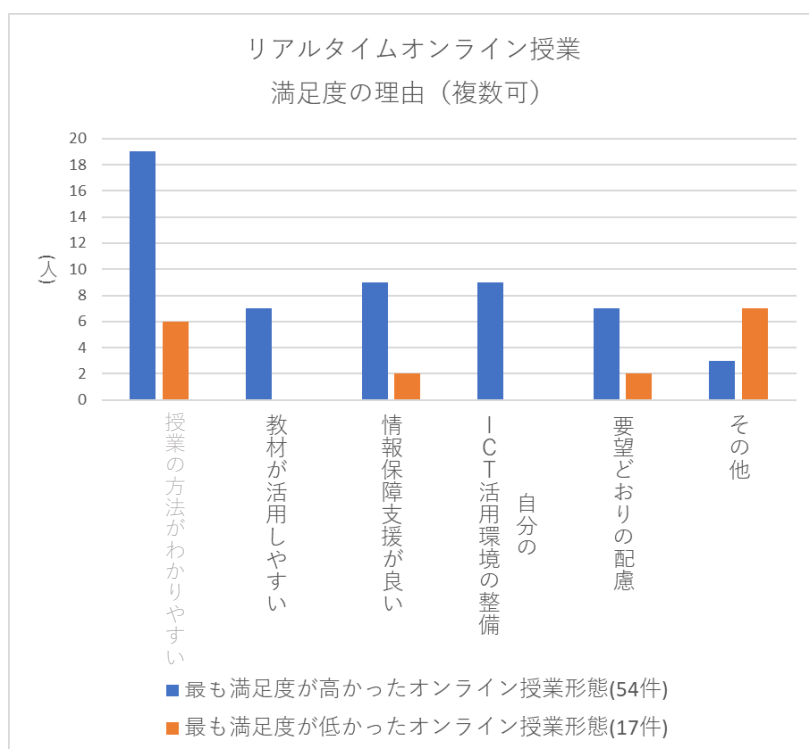
Q3-3. リアルタイムで行われたオンライン授業での配慮の要望と満足度



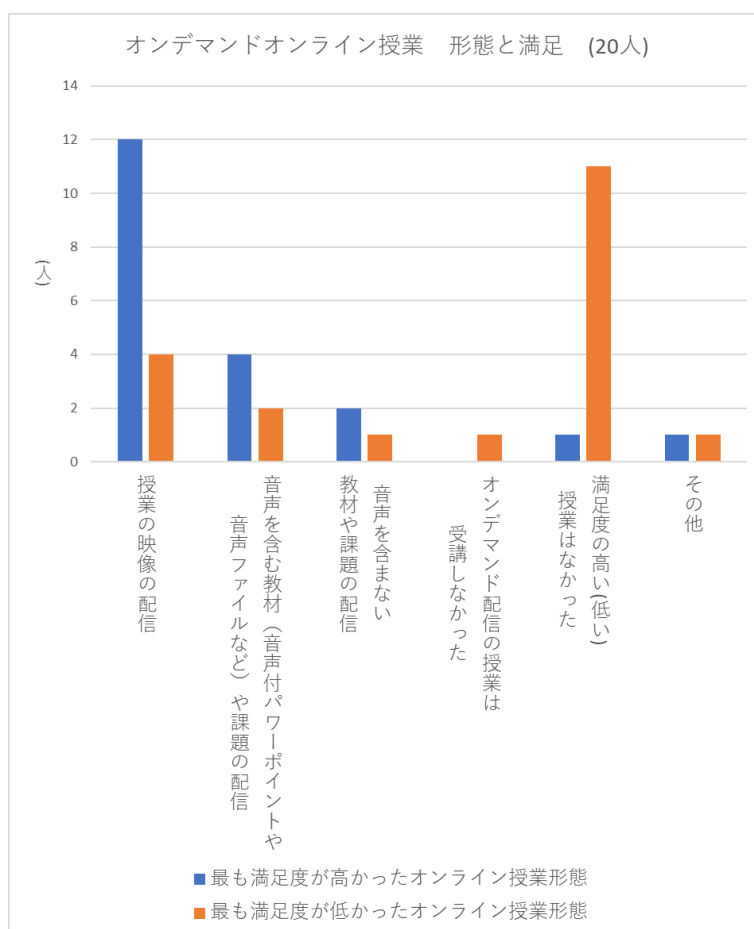
Q3-4. リアルタイムで行われたオンライン授業での配慮の実現と満足度



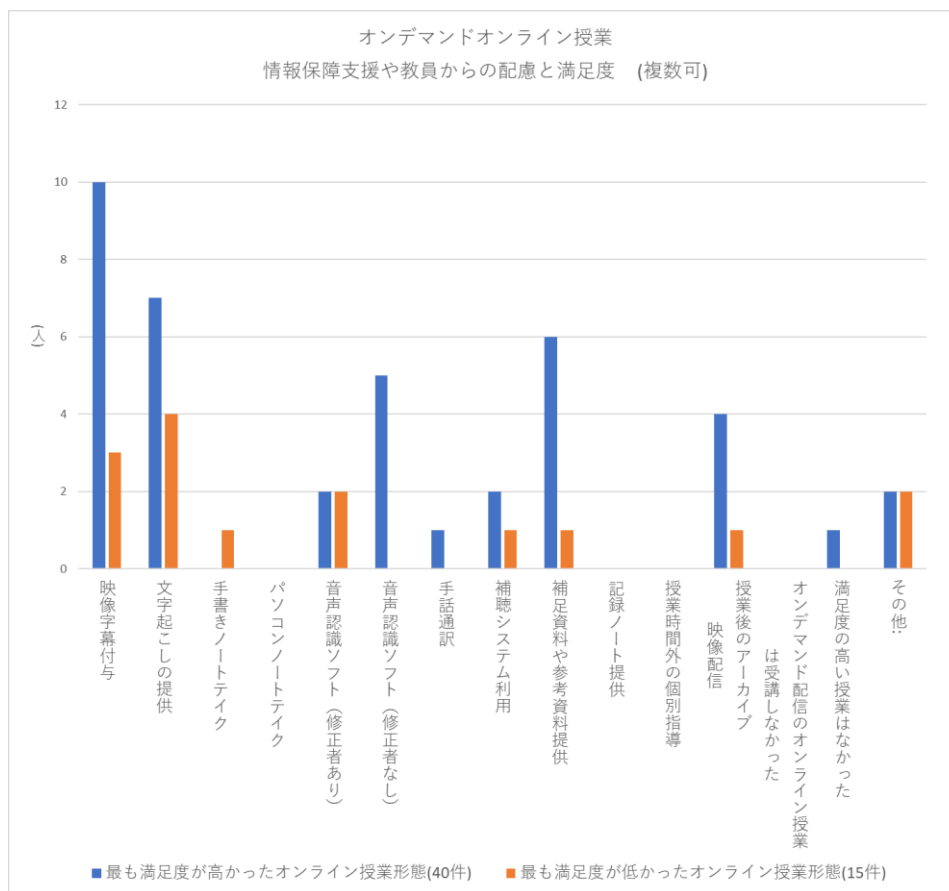
Q3-5. リアルタイムで行われたオンライン授業の満足度の理由



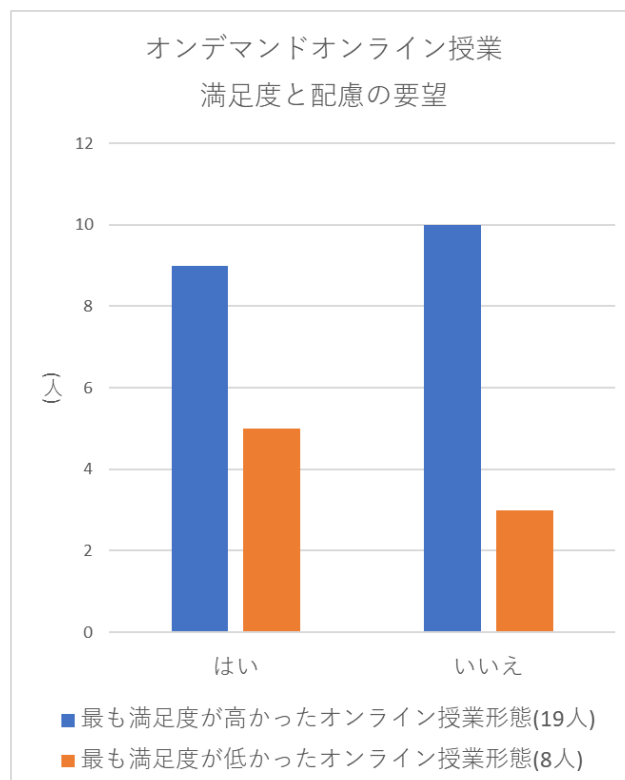
Q4-1. オンデマンドで行われたオンライン授業の形態と満足度



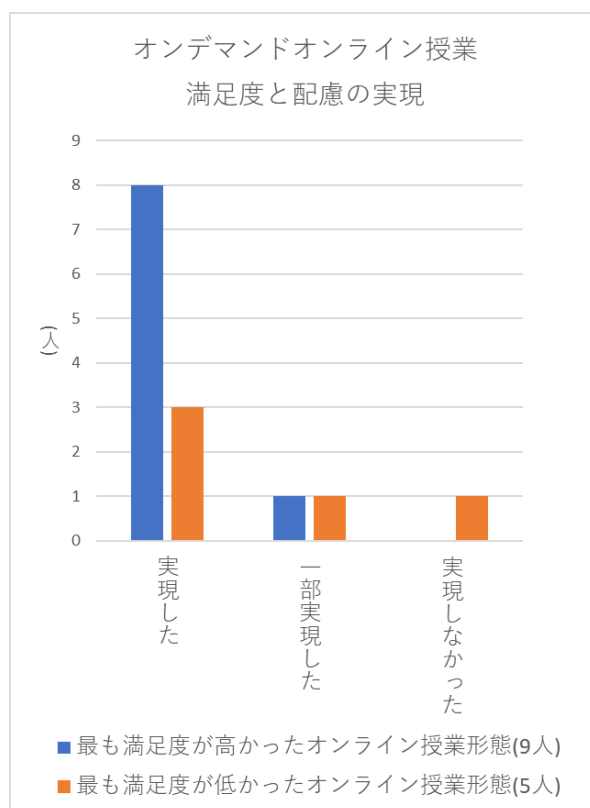
Q4-2. オンデマンドで行われたオンライン授業での情報保障支援や教員からの配慮と満足度



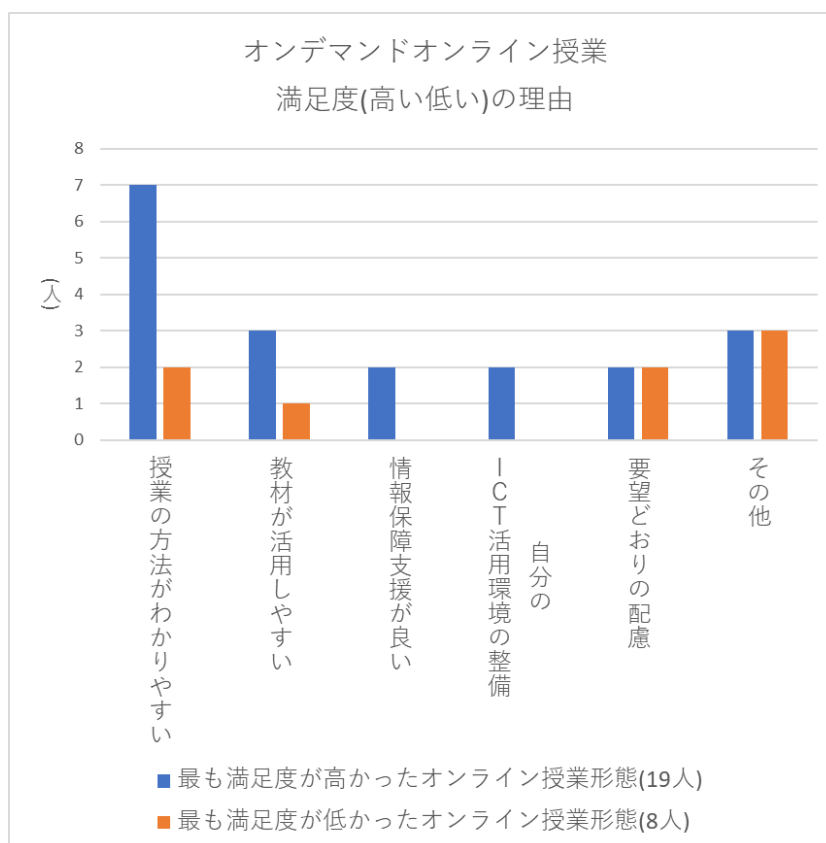
Q4-3. オンデマンドで行われたオンライン授業での配慮の要望と満足度



Q4-4. オンデマンドで行われたオンライン授業での配慮の実現と満足度

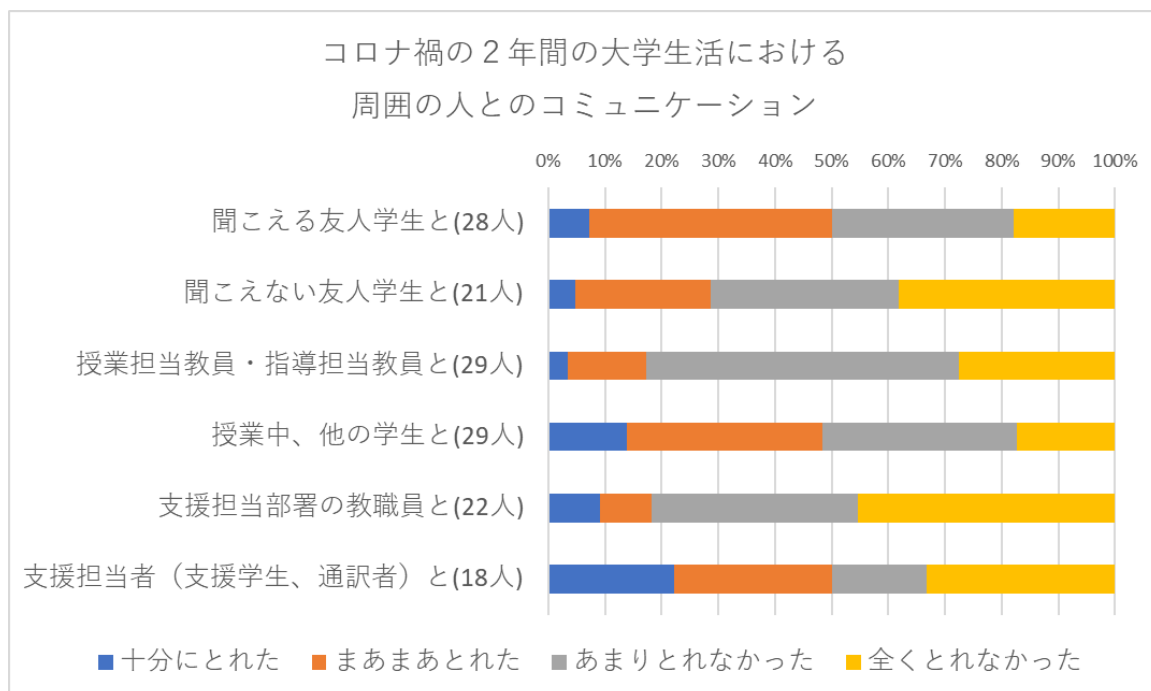


Q4-5. オンデマンドで行われたオンライン授業の満足度の理由

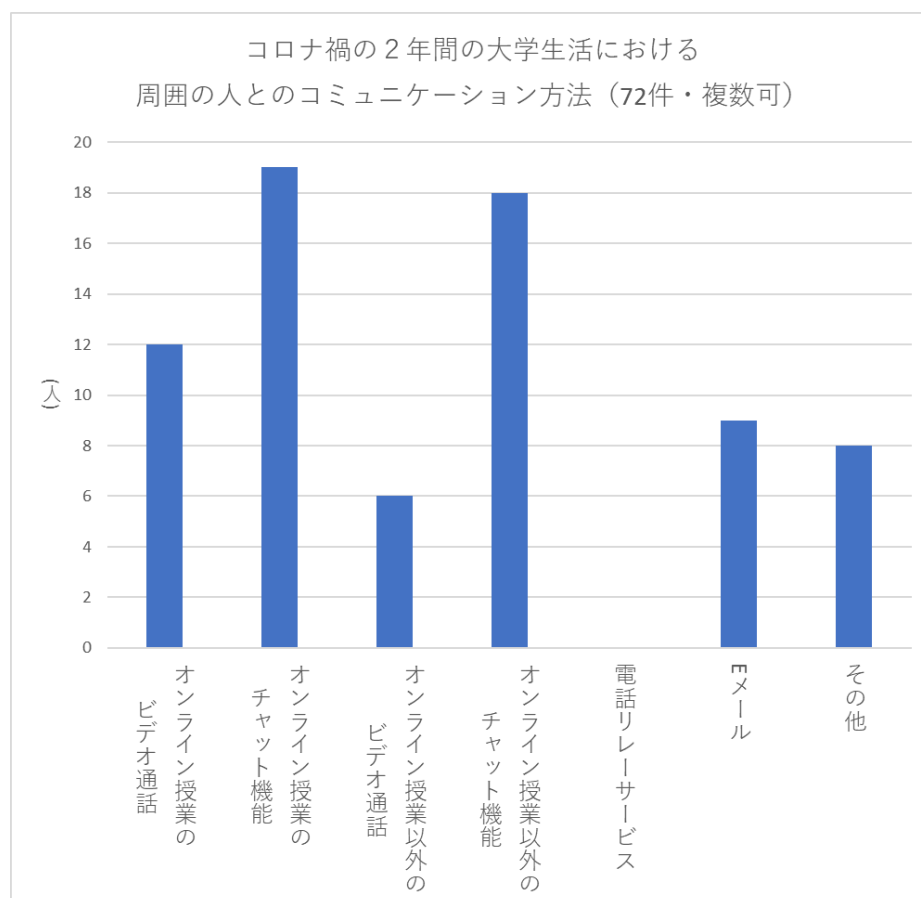


Q5. 周囲とのコミュニケーションについて

Q5-1. 一昨年度から昨年度、コロナ禍の2年間(2020年4月～2022年3月)での、大学生活の中での周囲の人とのコミュニケーションの状況について。



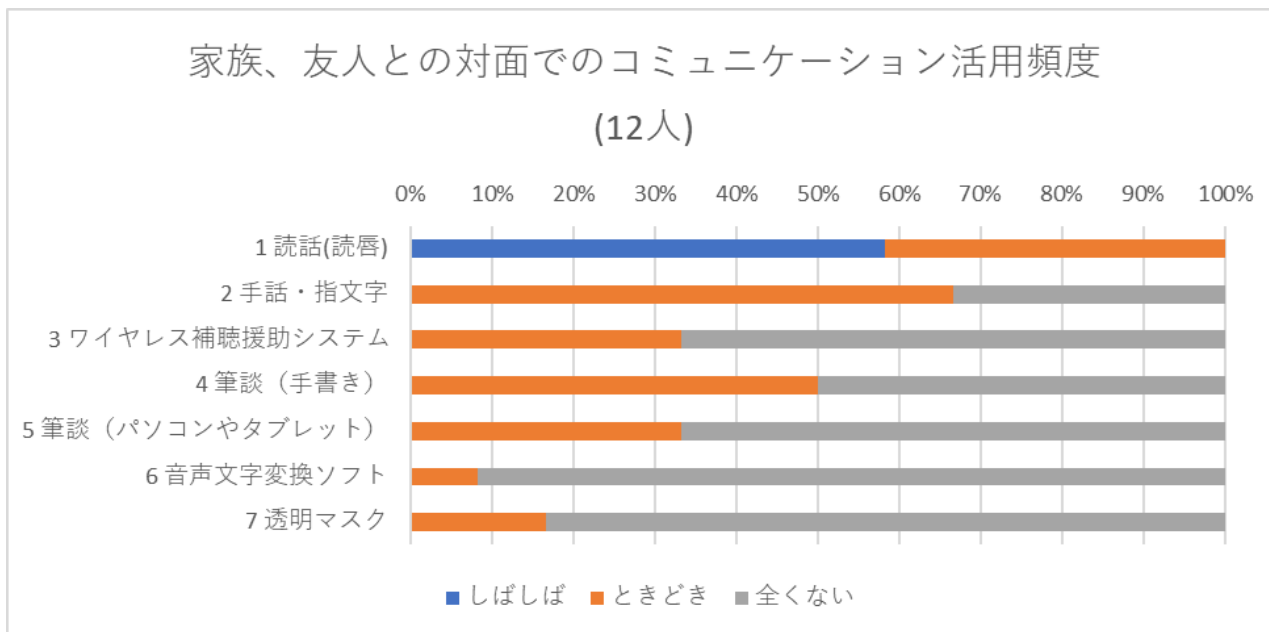
Q5-2.どのような方法でコミュニケーションをとっていましたか。利用したツールをすべて選んでください。



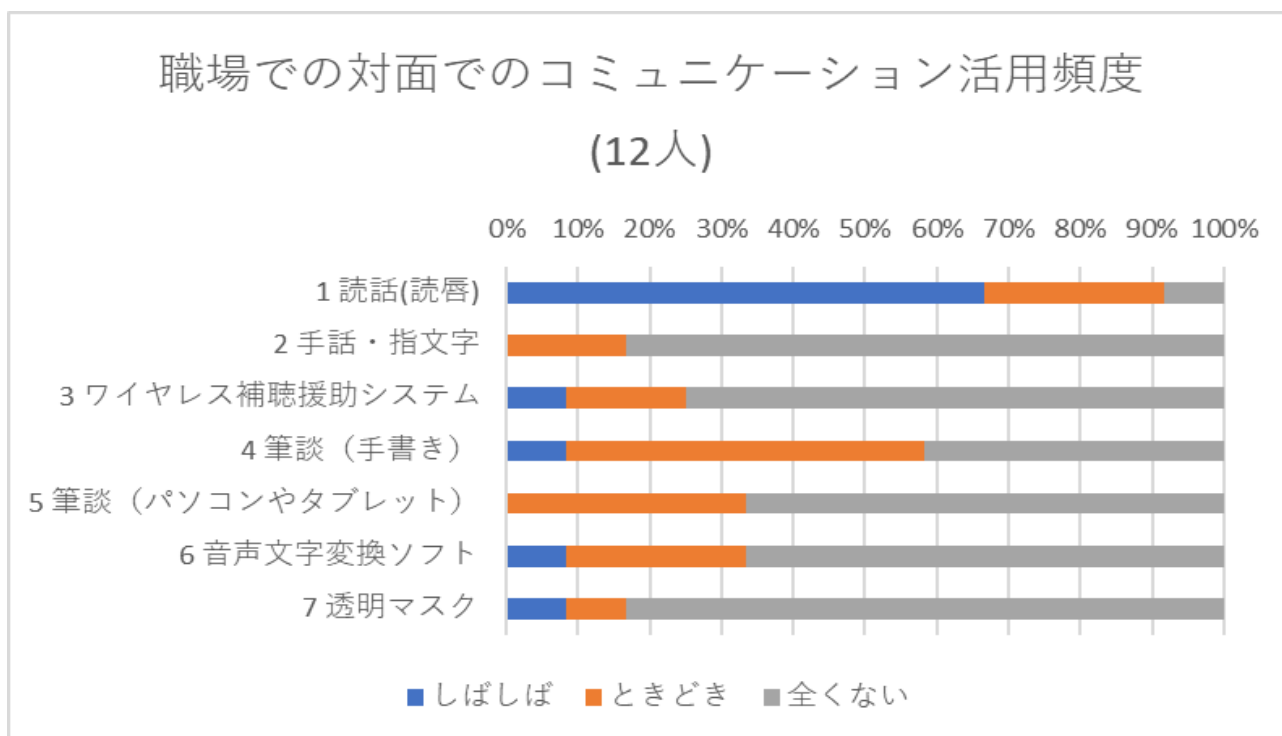
3. 人工内耳を装用している就労者

Q1. コミュニケーションについて

Q1-1. 家族、友人との対面でのコミュニケーションで活用している頻度



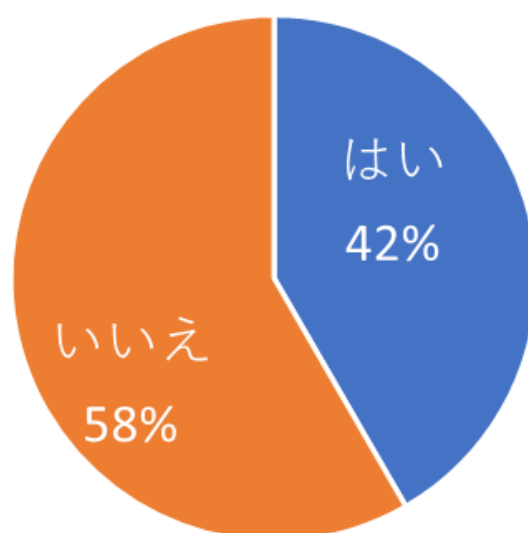
Q1-2. 職場での対面でのコミュニケーションで活用している頻度



Q2. 電話について

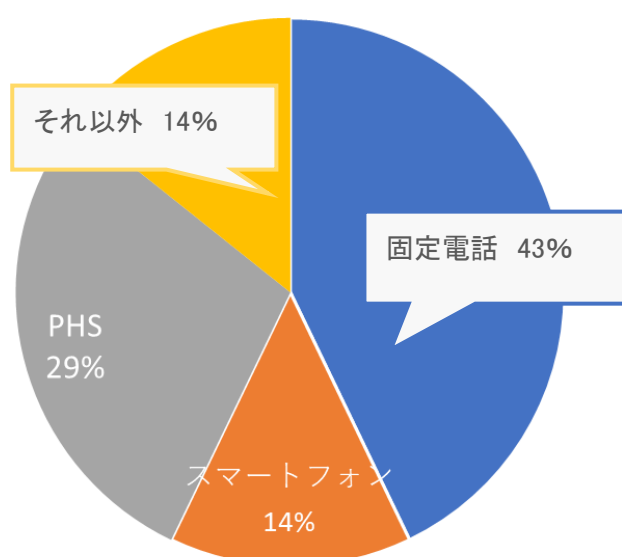
Q2-1. 業務上、電話を使用することはありますか。

業務上、電話を使用しますか(12人)



Q2-2. 業務で使用する電話機器はどれですか。

業務で使用する電話機器(7件・複数可)

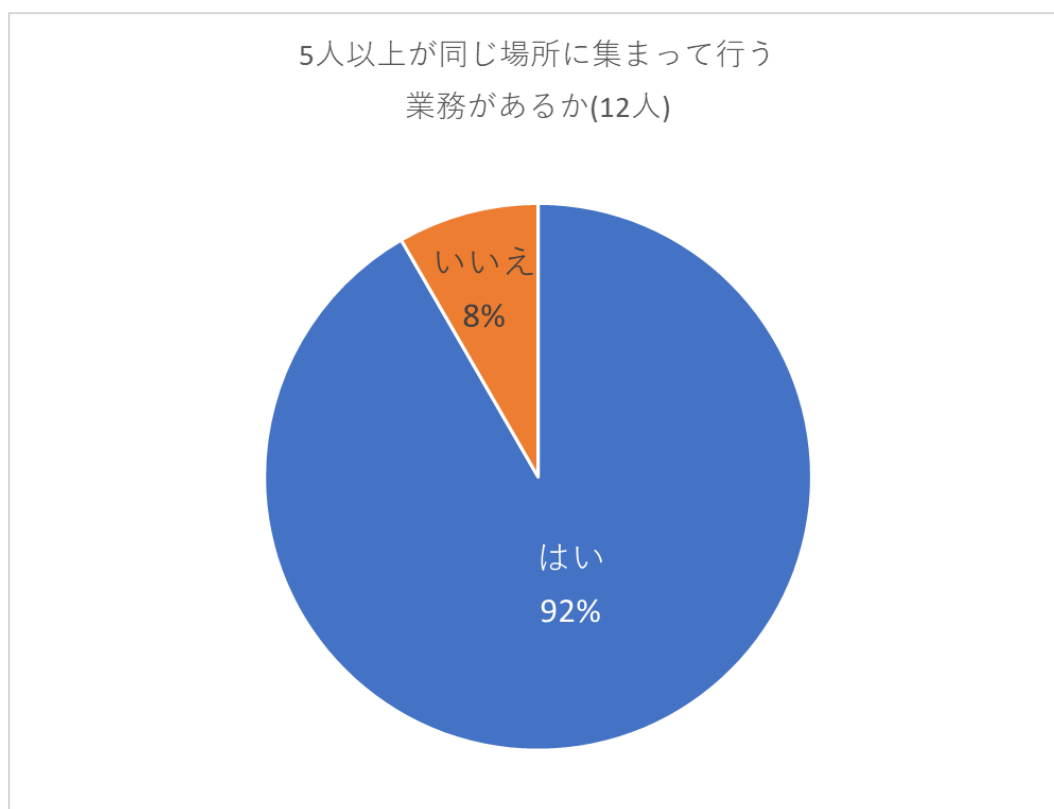


Q2-3.業務で主に使用する電話機器について、援助機能を使っていますか。使用している場合、援助機能によって情報が得やすくなりましたか。

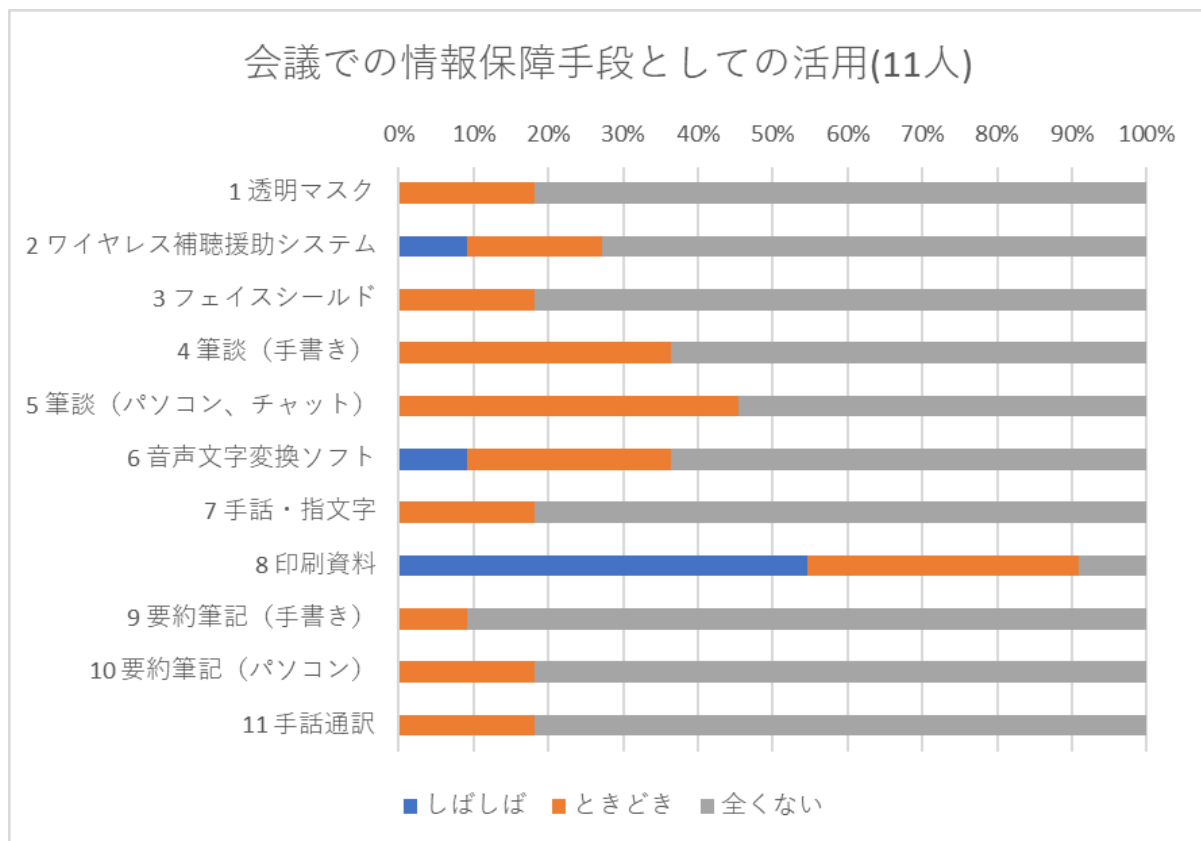
Bluetooth 機能	そう思う	1 人
音声文字変換	ややそう思う	1 人
電話リレーサービス	あまりそう思わない	1 人

Q3. 会議について

Q3-1. 5 人以上が同じ場所に集まって行う朝礼、会議、打ち合わせ、研修などの業務はありますか。

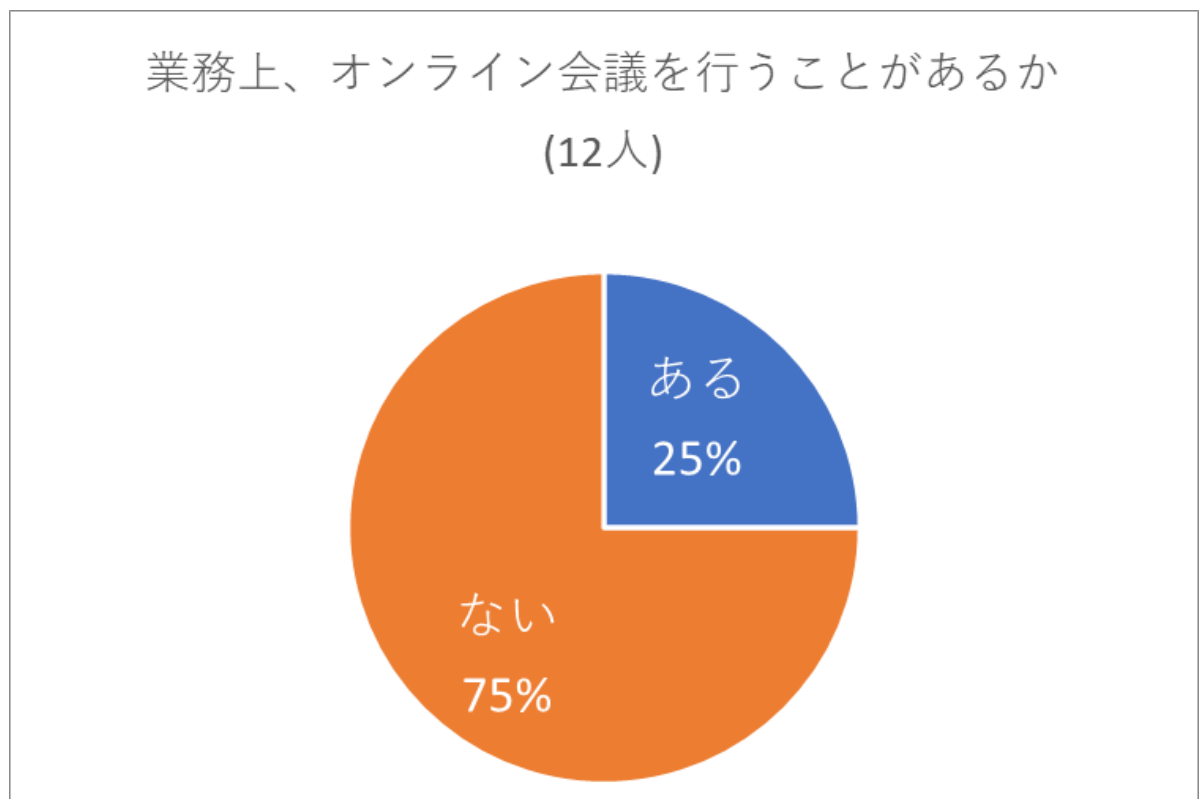


Q3-2. 会議での情報保障手段として、以下の方法を活用していましたか。

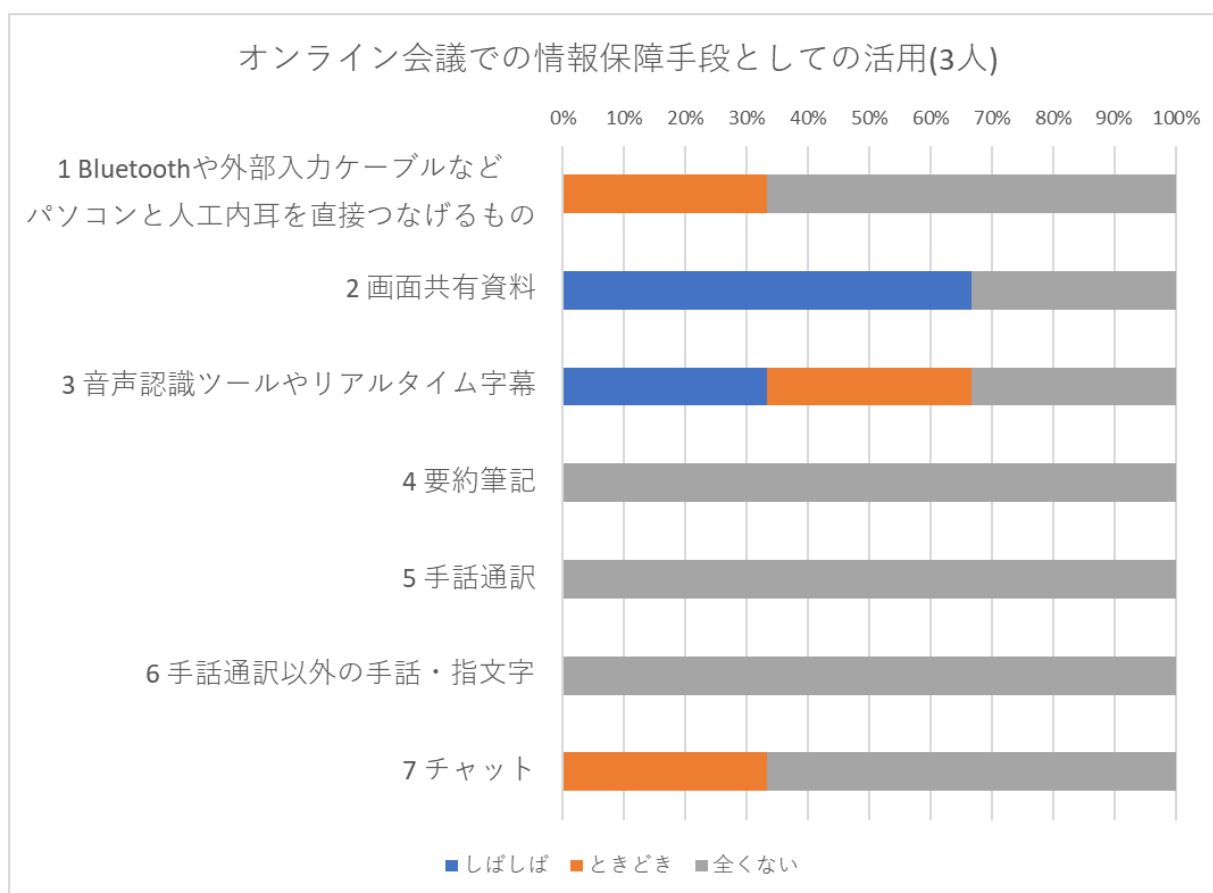


Q4. オンライン会議について

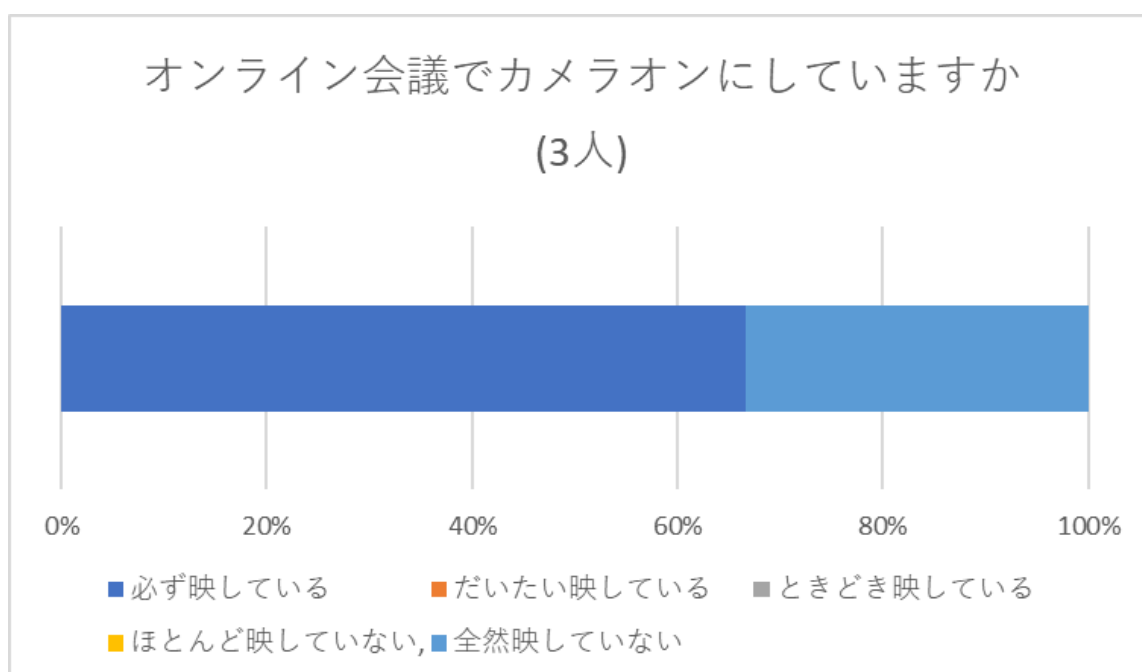
Q4-1. お仕事の中で、Zoom や Microsoft teams などを使ったオンライン会議を行うことはありますか。



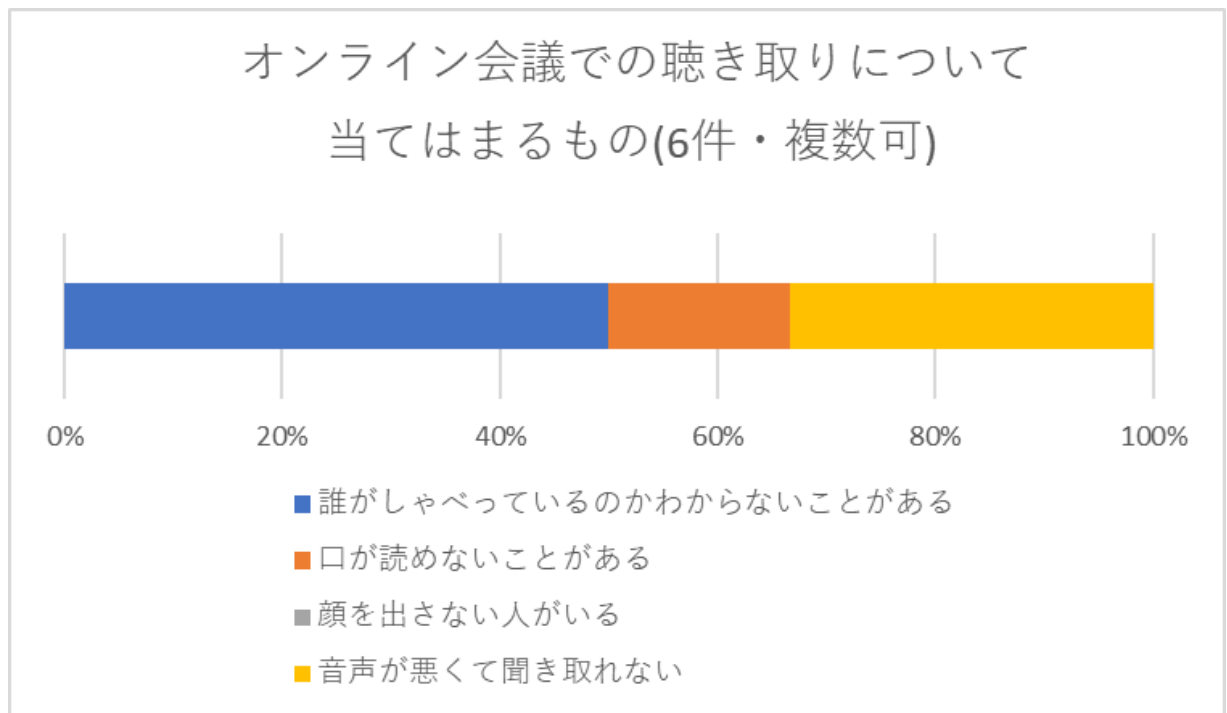
Q4-2. オンライン会議での情報保障手段として以下の方法を活用していましたか。



Q4-3. オンライン会議で参加者は顔を出して(カメラオンにして)いますか。



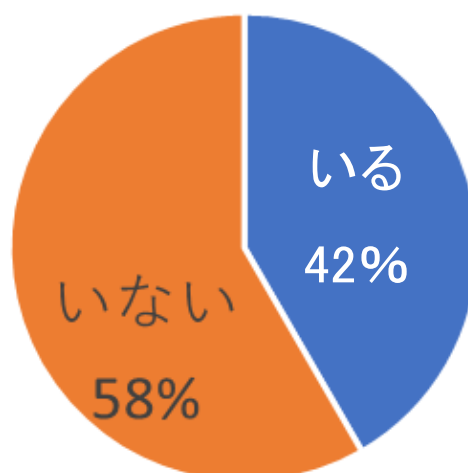
Q4-3. オンライン会議での聴き取りについて。



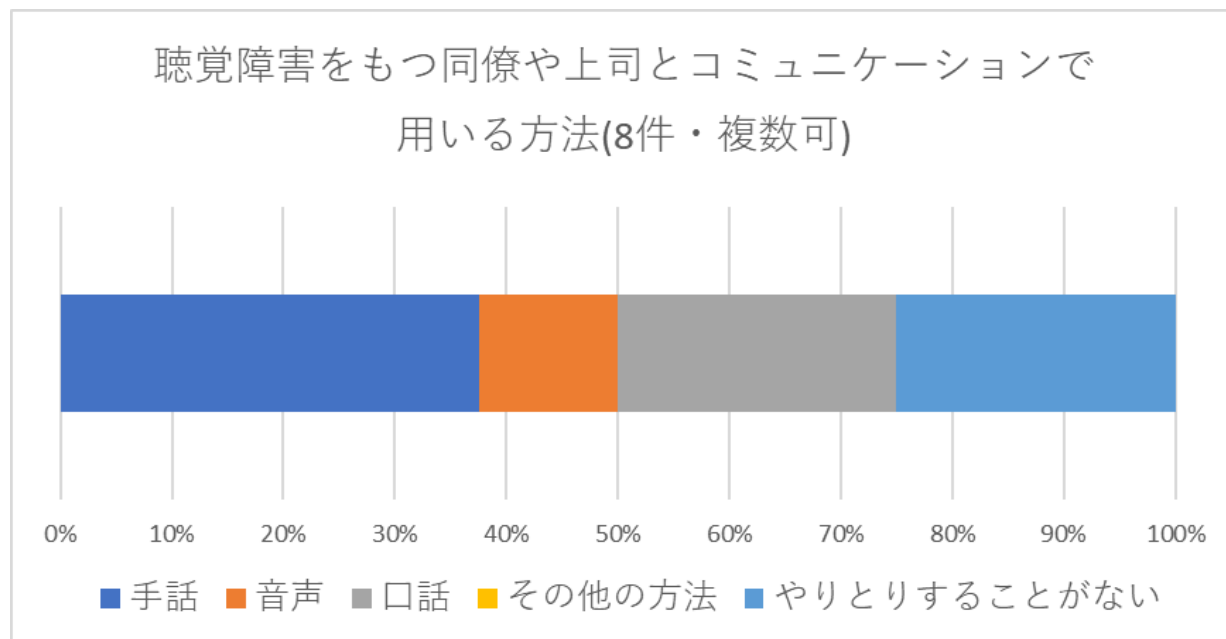
Q5. 職場の状況について

Q5-1. 職場内に聴覚障害をもつ同僚や上司はいますか。

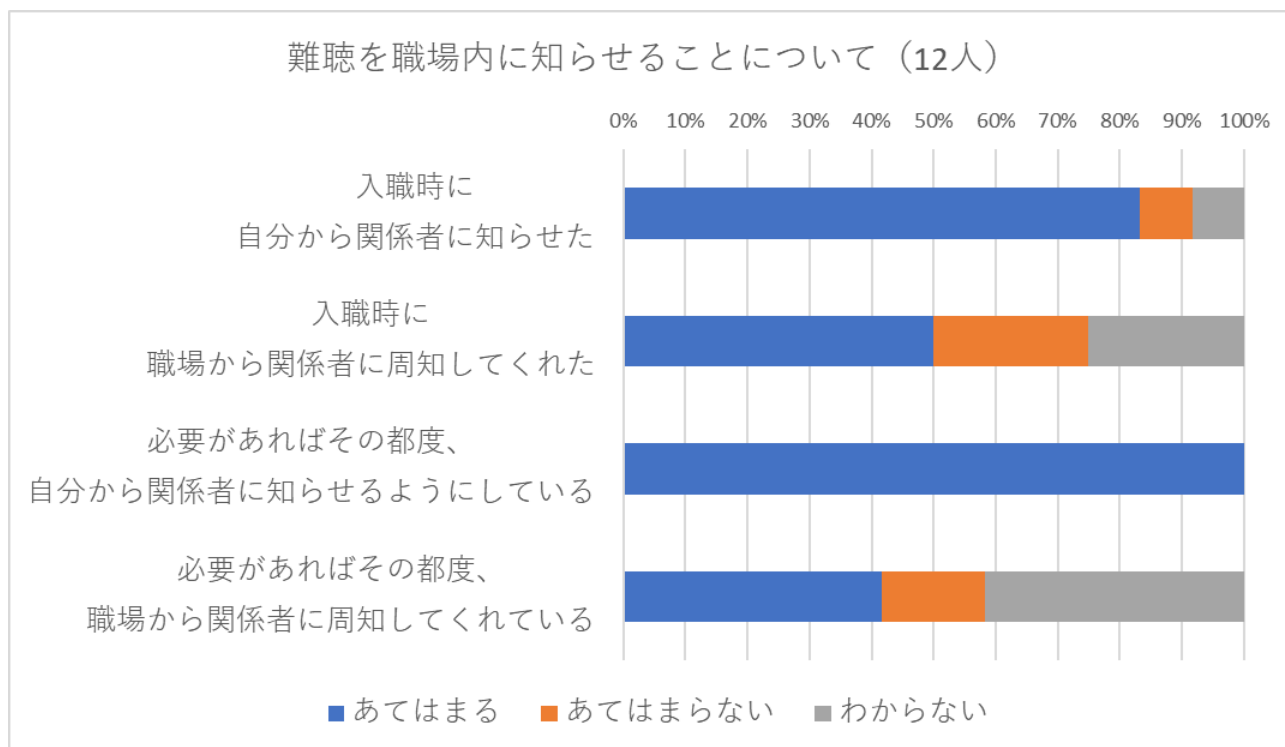
職場内に聴覚障害をもつ
同僚や上司はいますか(12人)



Q5-2.(いる対象)聴覚障害をもつ同僚や上司とコミュニケーションで用いる方法をすべて選んでください。

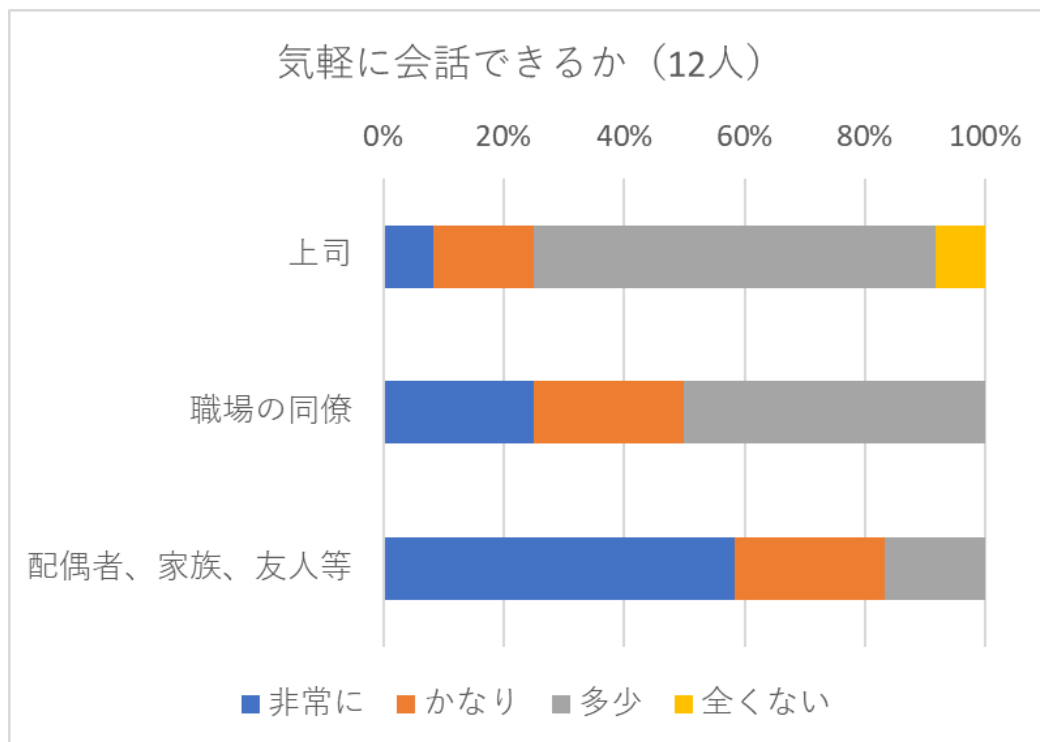


Q5-3.あなたが難聴であることを職場内に知らせることについて。

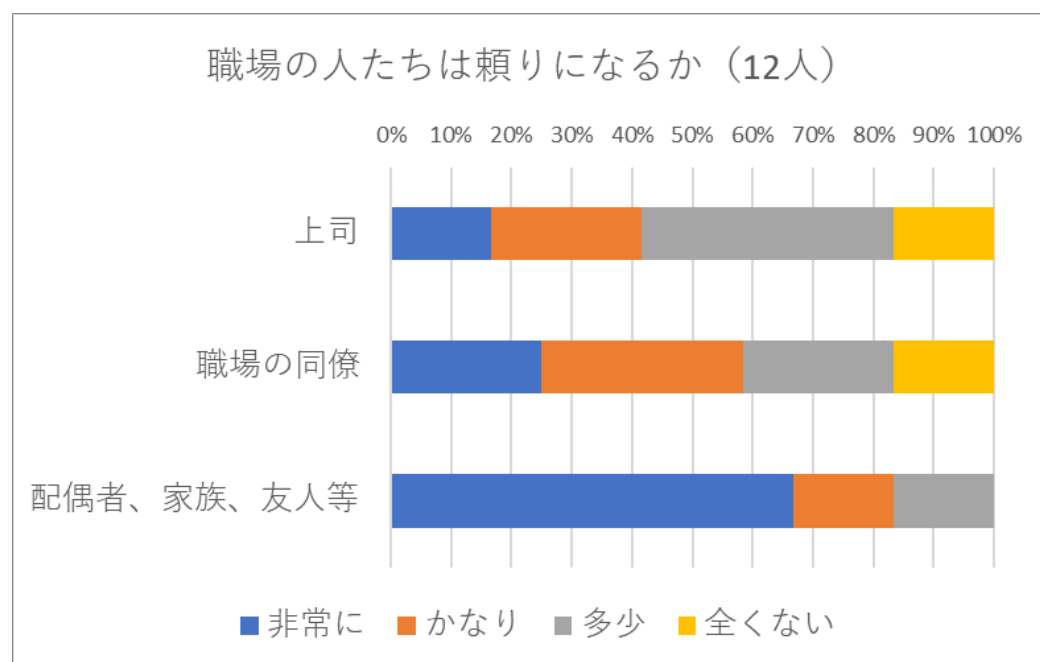


Q6. 職場の方々などについて

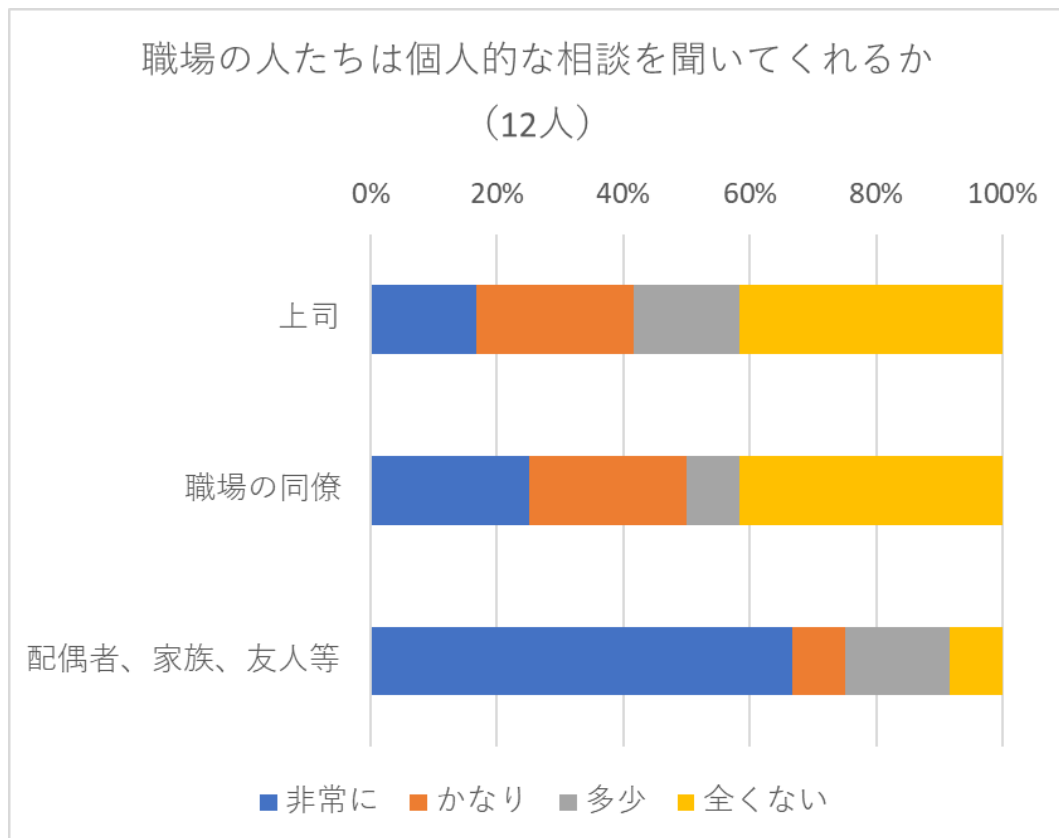
Q6-1. どのくらい気軽に話ができますか。



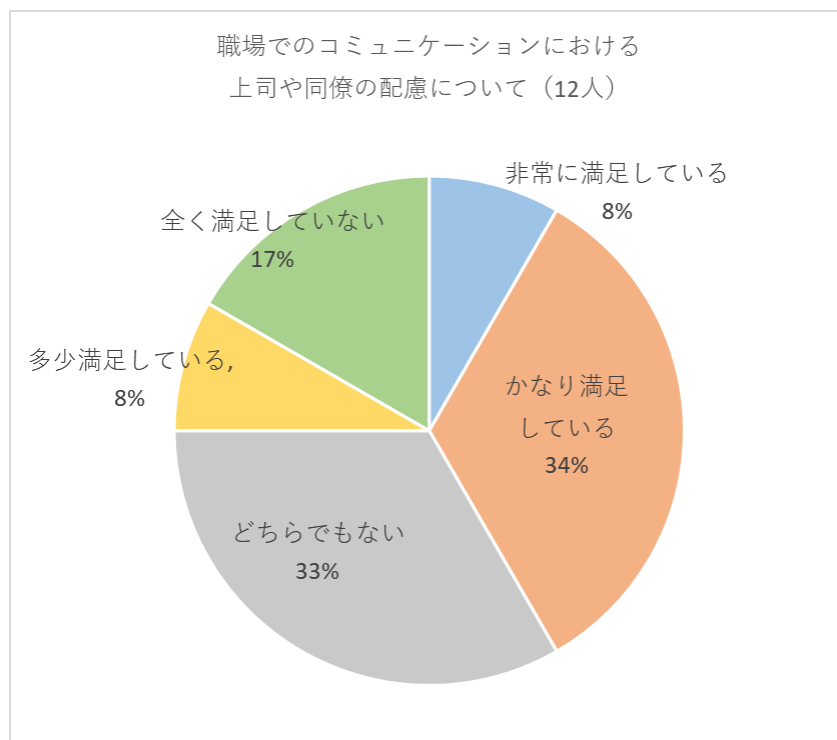
Q6-2. どのくらい頼りになりますか。



Q6-3. 個人的な問題をどのくらいきいてくれますか。



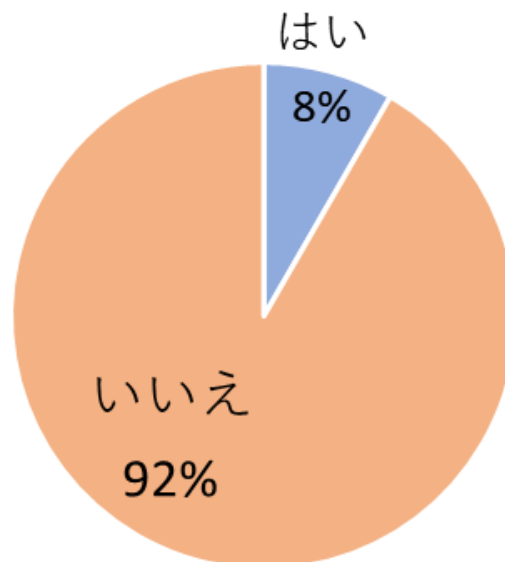
Q6-4. 職場でのコミュニケーションにおいて、上司や同僚の配慮に満足していますか。



Q7. コロナ下での仕事について

Q7-1. 2020年4月から現在まで、新型コロナウイルス感染症拡大下(2020年春ごろ～現在)にて、テレワークは経験しましたか。

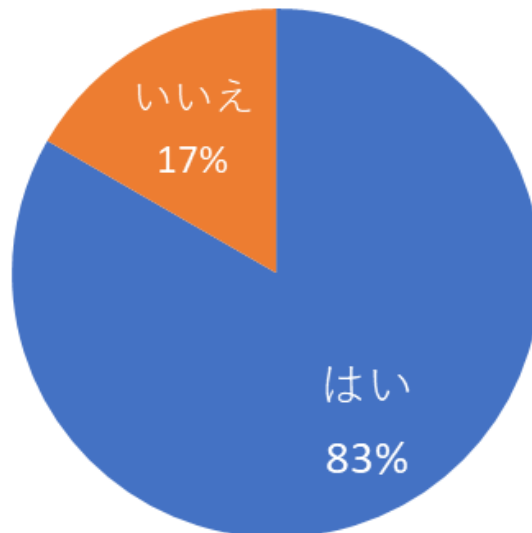
新型コロナウイルス感染症拡大下にテレワークは経験したか
(12人)



Q7-2. (経験した方)テレワークではどのような機能を使って職場の人とコミュニケーションを取りましたか。複数可 メール 1 件、 音声電話 1 件

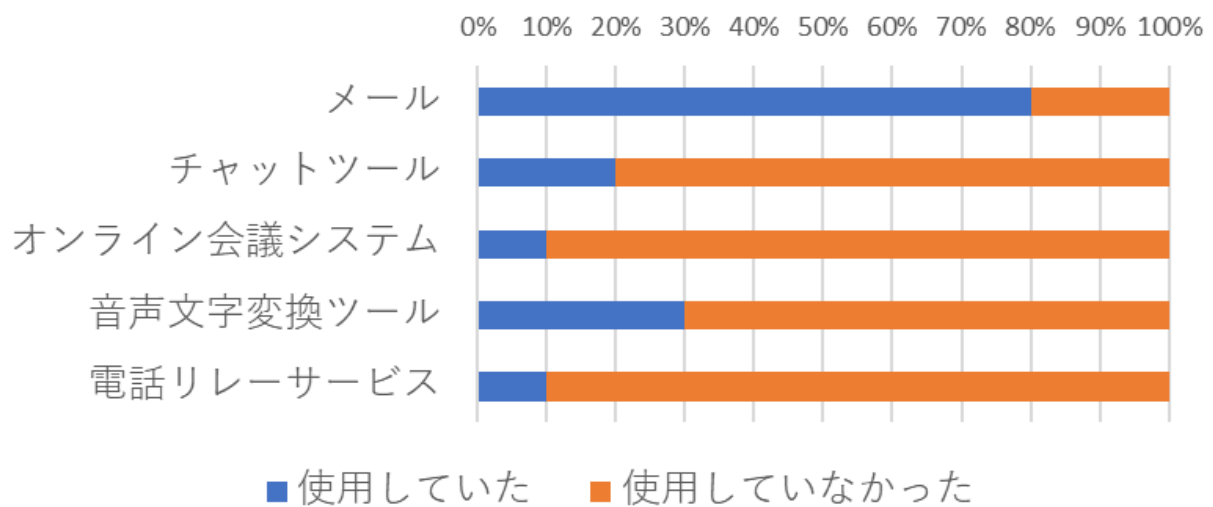
Q7-3. コロナ拡大前、就労していましたか。

コロナ拡大前、就労していたか（12人）

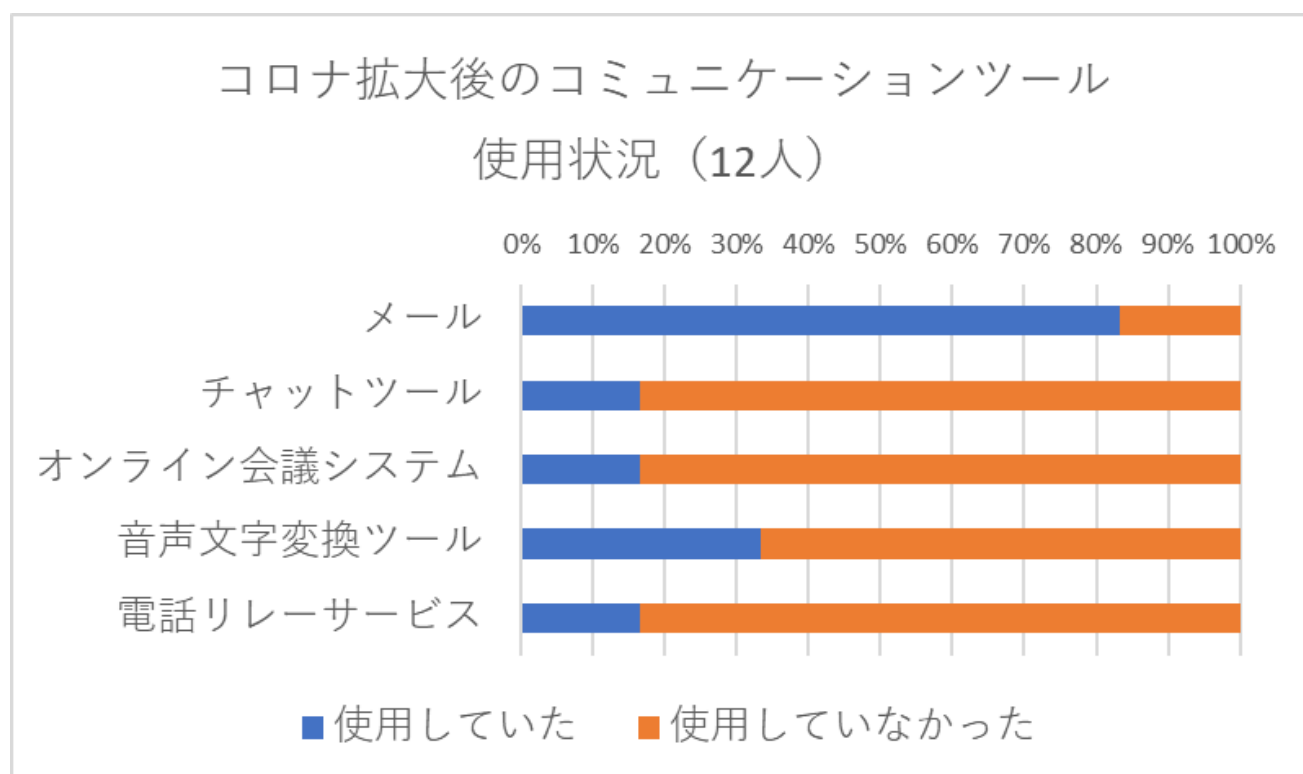


Q7-4. コロナ拡大前（2020年春以前）のコミュニケーション方法の使用状況

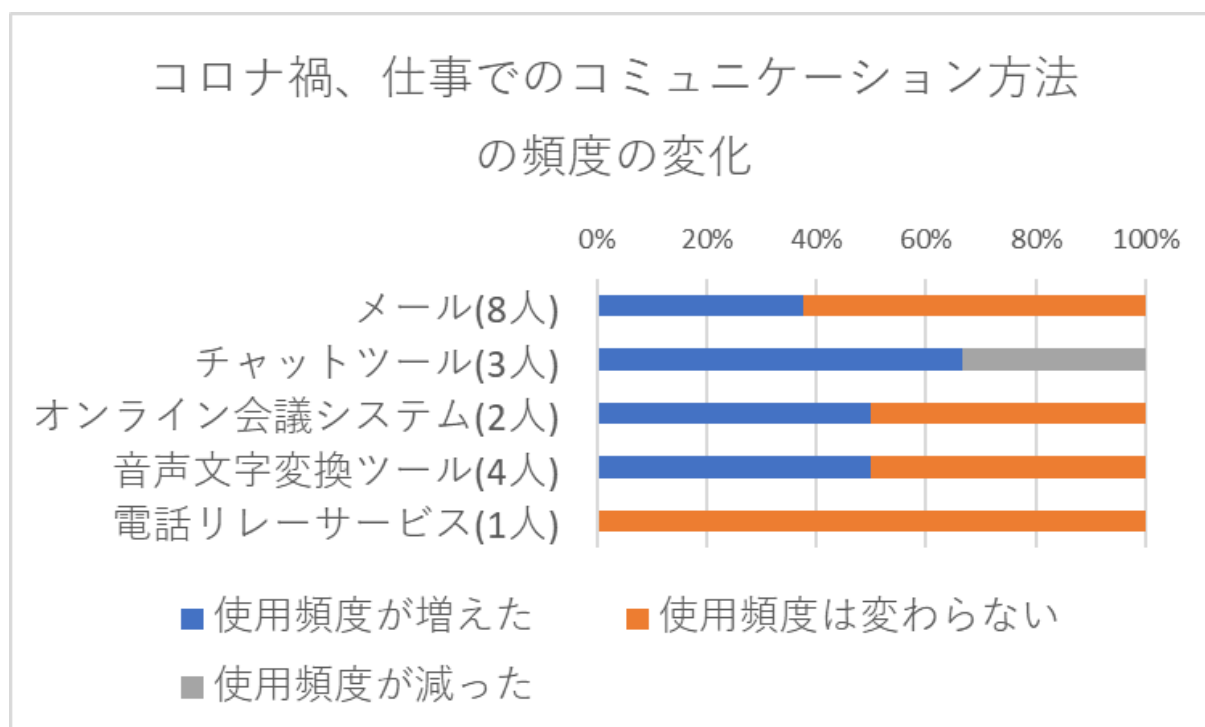
コロナ拡大前（2020年春以前）の
コミュニケーションツール使用状況（10人）



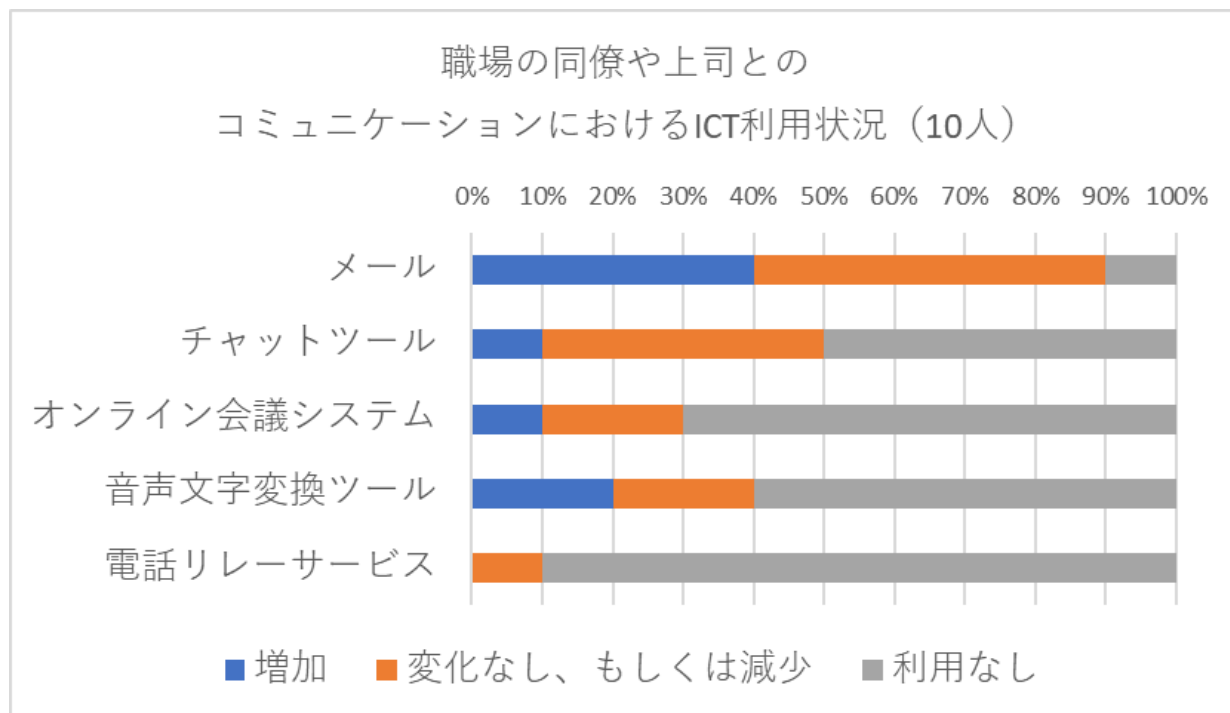
Q7-5. コロナ拡大後のコミュニケーション方法の使用状況



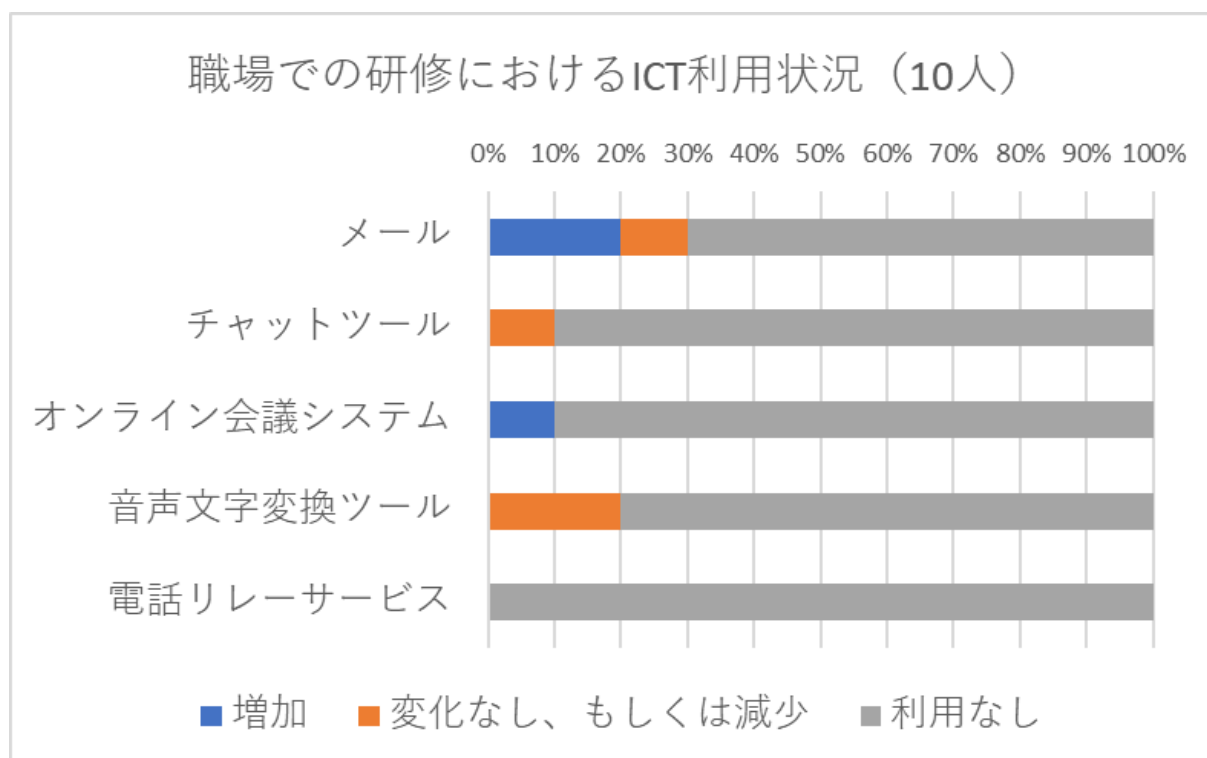
Q7-6. コロナ禍になって、仕事で次のコミュニケーション方法の頻度に変化はありましたか。



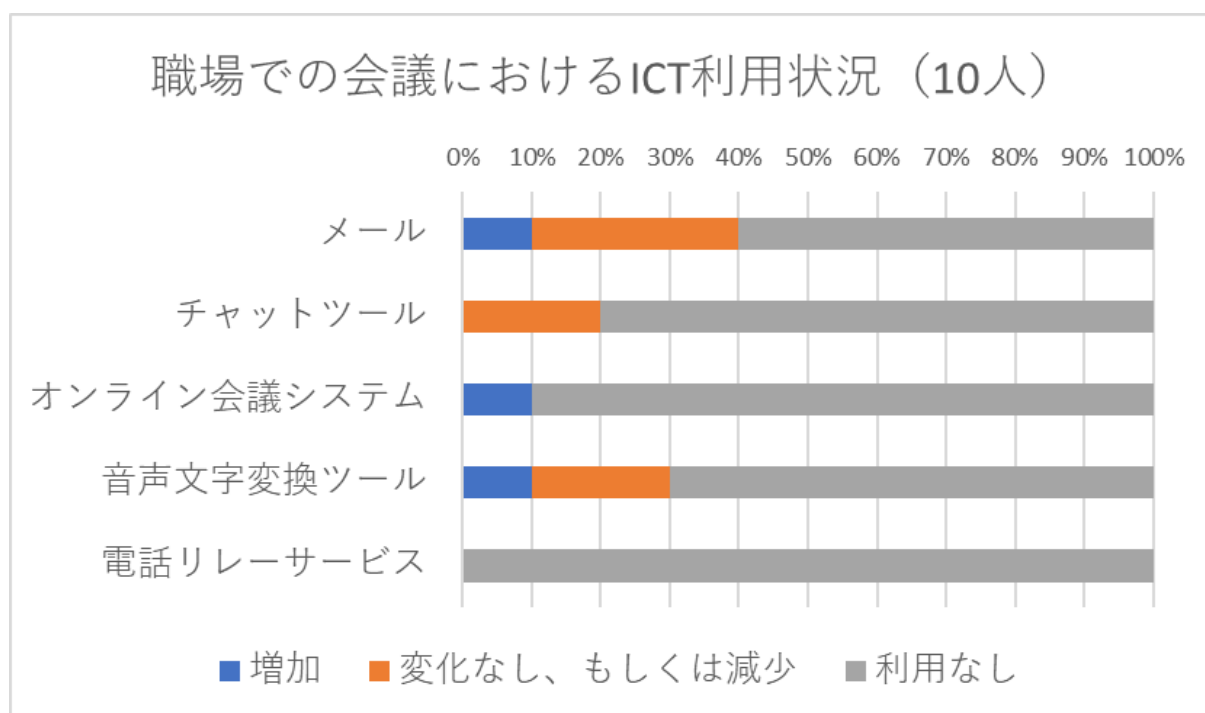
Q7-7.コロナ拡大を受けて同僚や上司との日常的なコミュニケーションにおける ICT の利用状況の変化



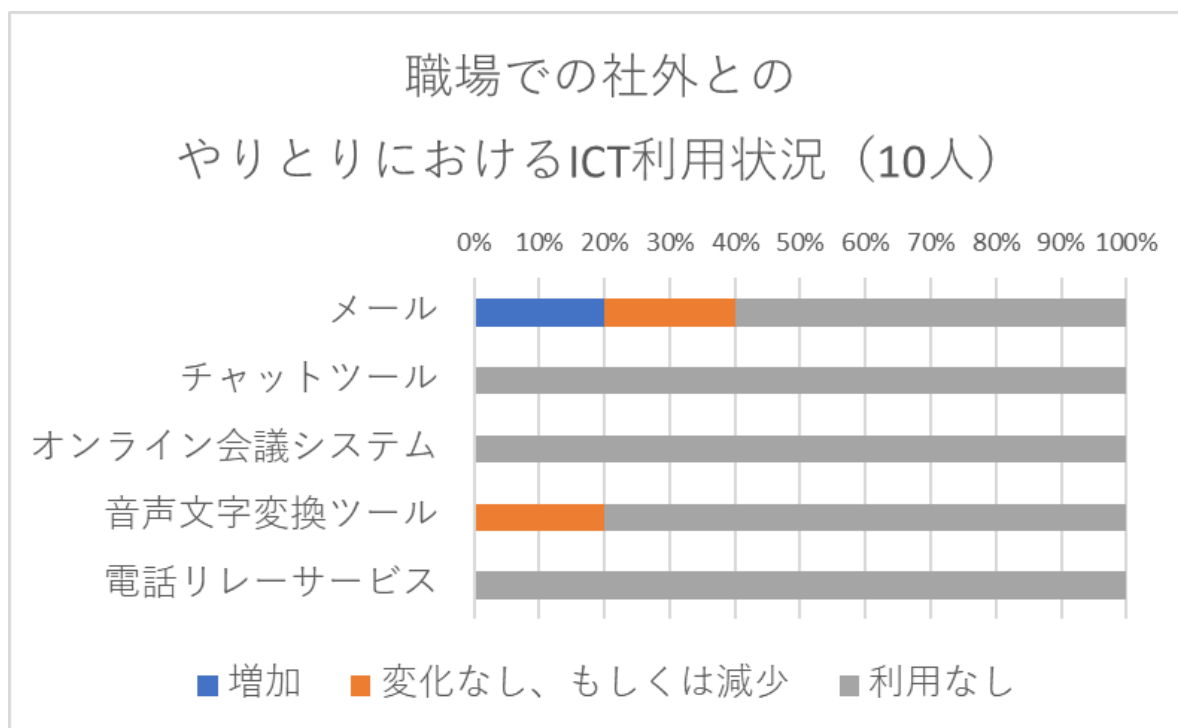
Q7-8. コロナ拡大を受けて研修における ICT の利用状況の変化。



Q7-9.コロナ拡大を受けて会議におけるICTの利用状況の変化

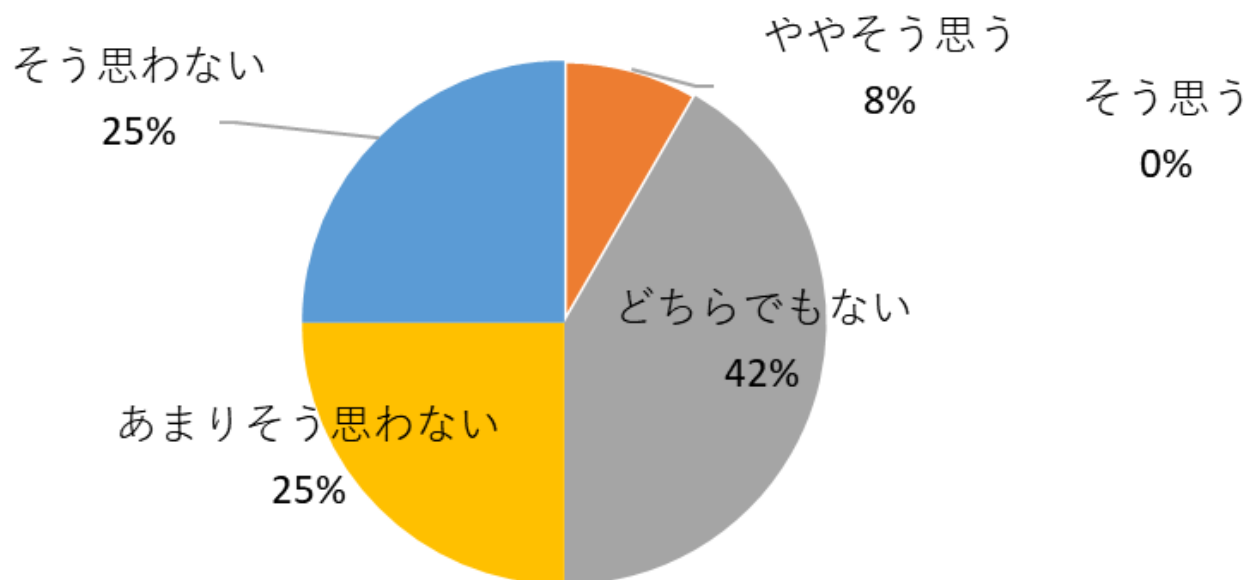


Q7-10. コロナ拡大を受けて社外とのやりとりにおけるICTの利用状況の変化



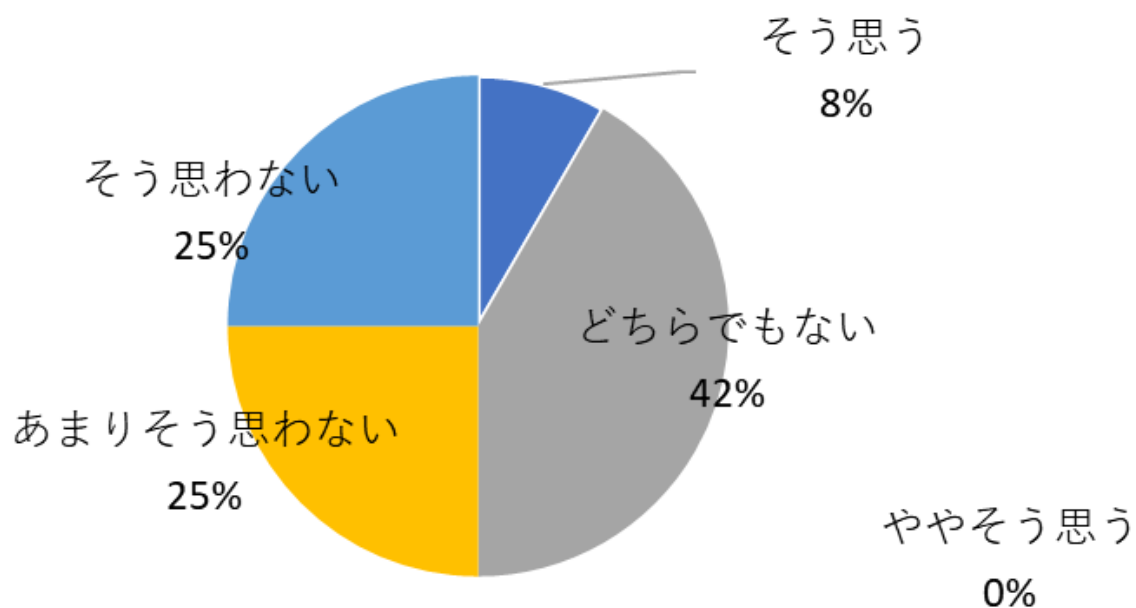
Q7-11. コロナ禍で職場が導入した ICT は、聴覚障害の有無に関係なく自分も対等に働くために利用できたと思いますか。

コロナ禍により職場で導入されたICTは聴覚障害の有無に関係なく対等に利用できたか（12人）

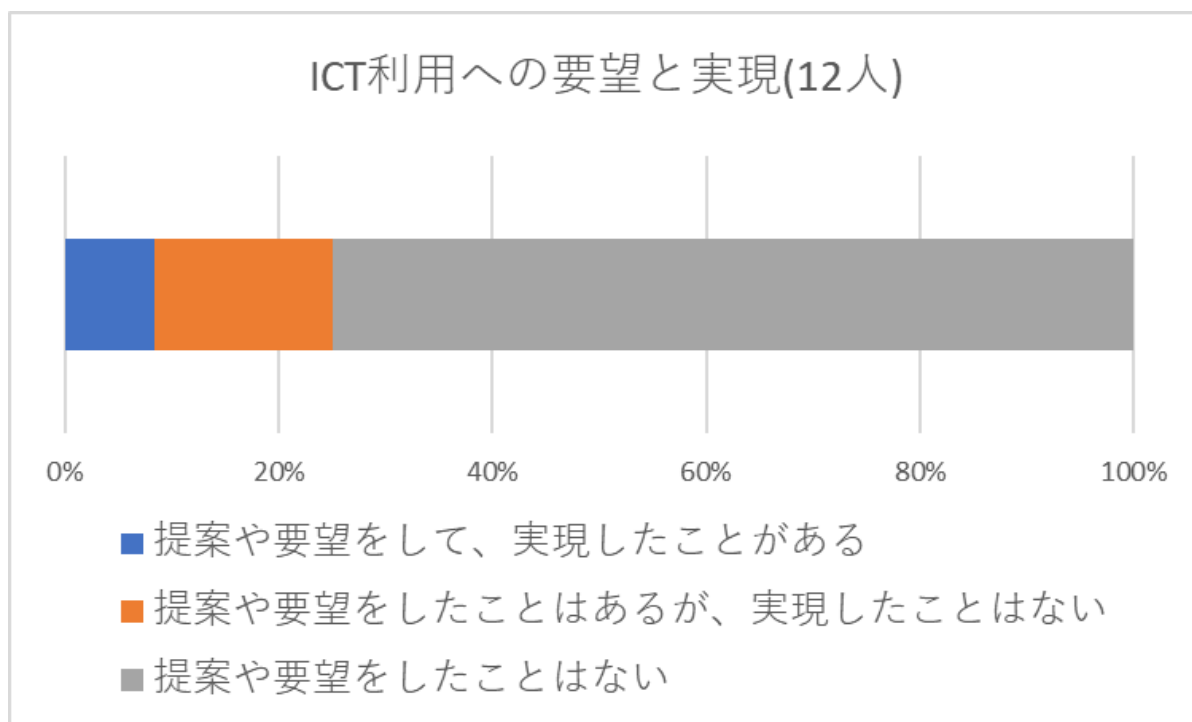


Q7-12. 職場が導入した ICT では限界や不備があった場合、他の ICT 利用による解決方法を考えられましたか。

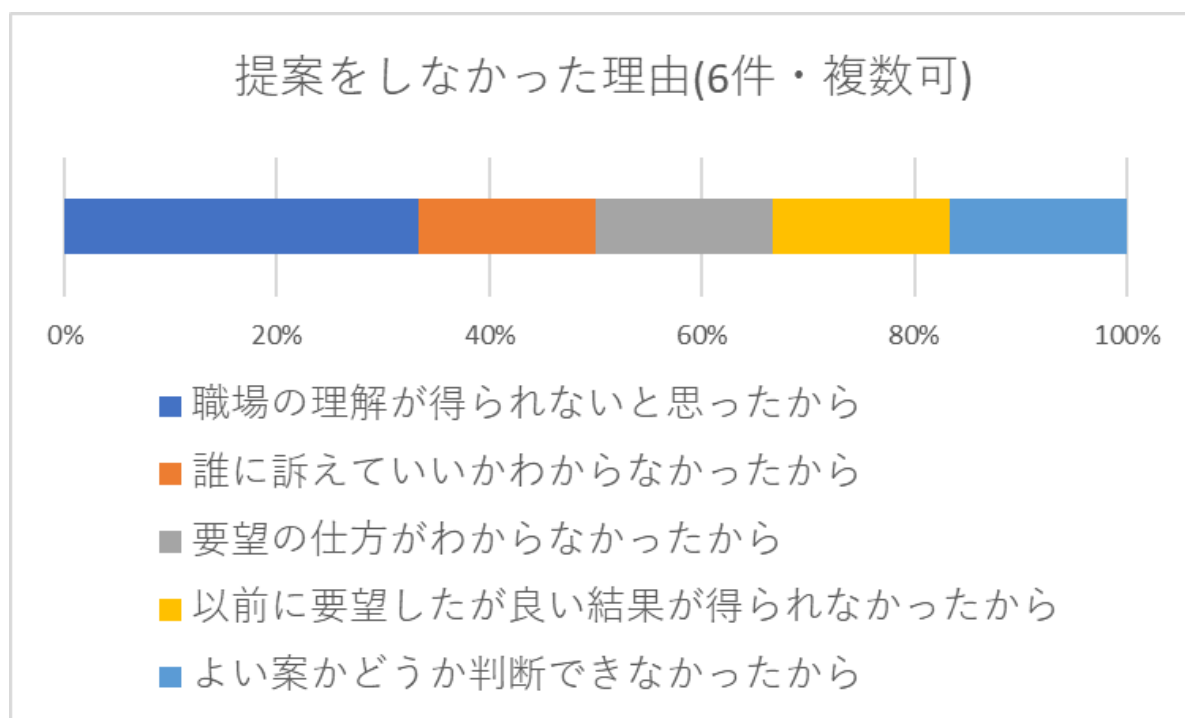
職場が導入したICTでは限界や不備があった場合、他のICT利用による解決方法を考えられましたか（12人）



Q7-13. ICT 利用に関して、職場の同僚や上司、会社などに提案や要望をし、それが実現したことはありますか。

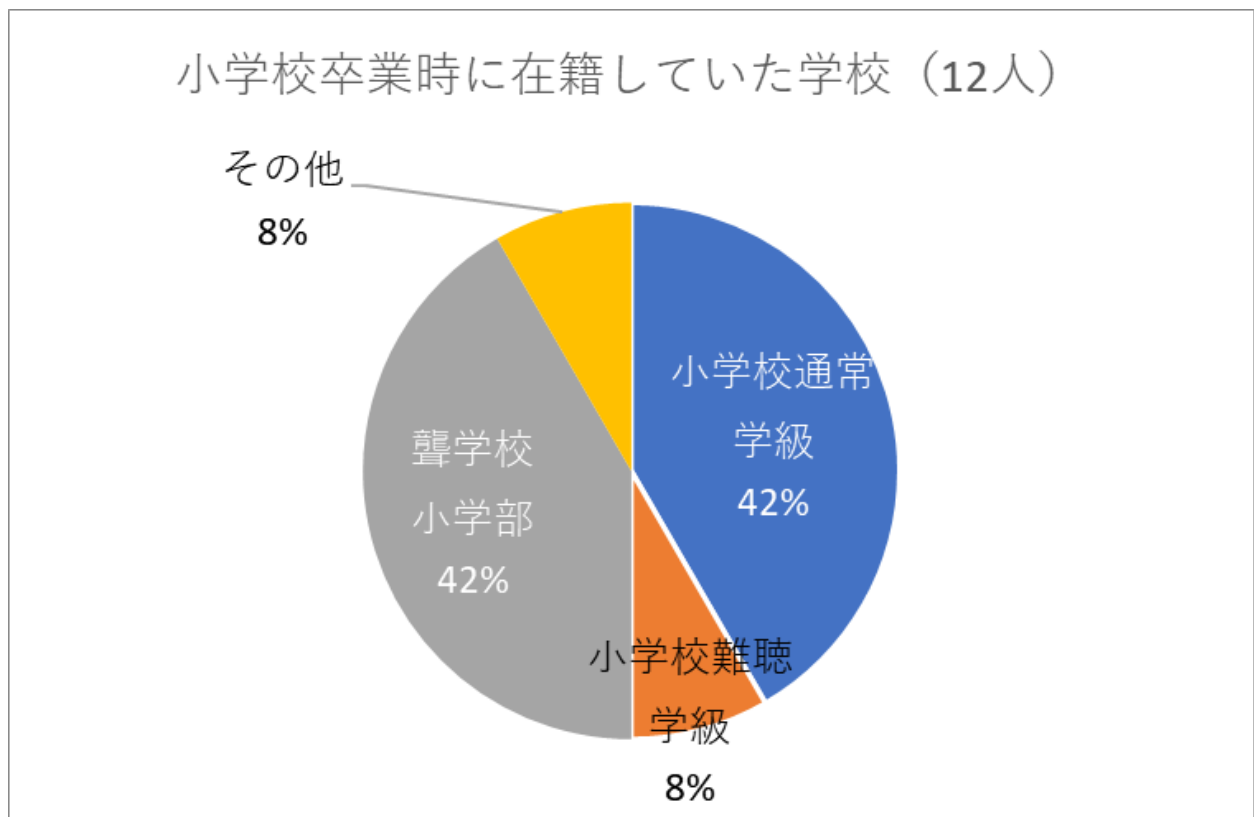


Q7-14. 提案しなかった理由はなんですか。

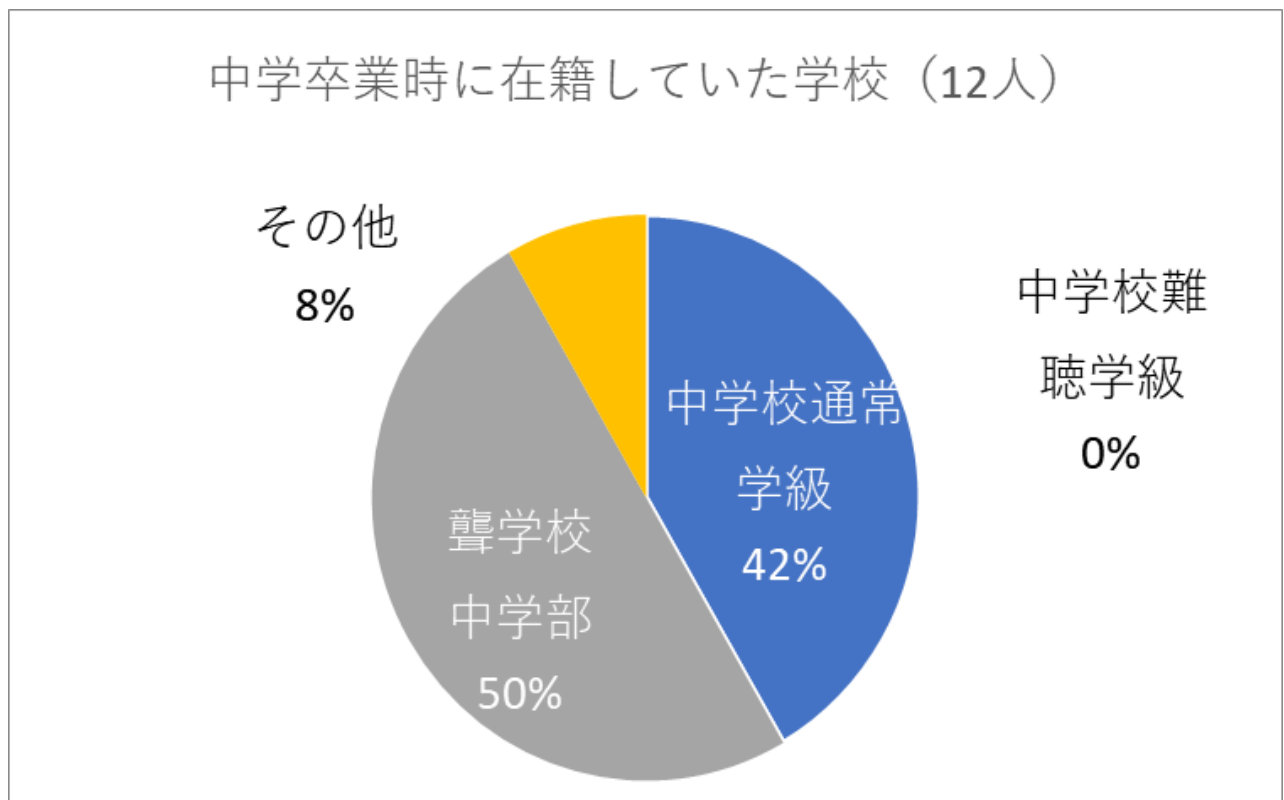


Q8. フェイスシート項目

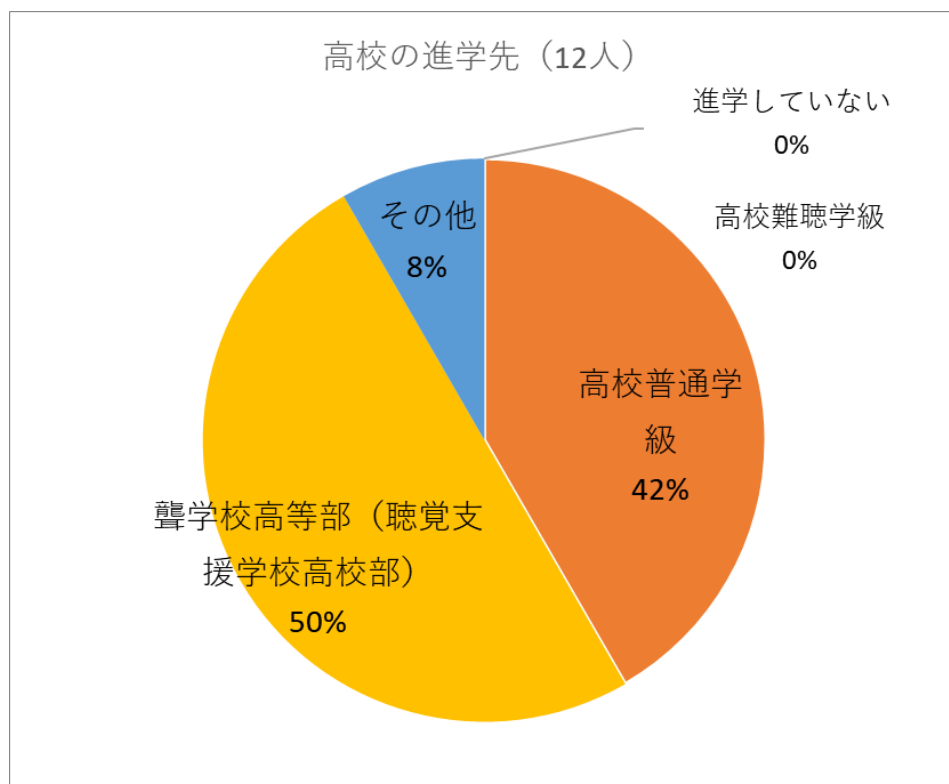
Q8-1. 小学校卒業時に在籍していた学校は？



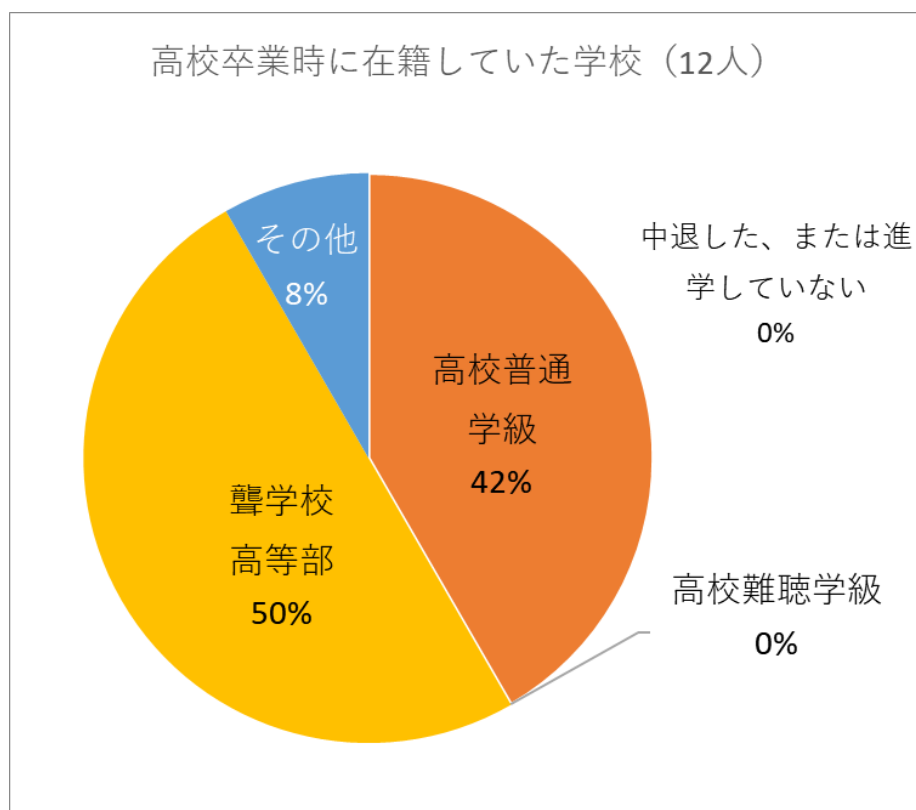
Q8-2. 中学校卒業時に在籍していた学校は？



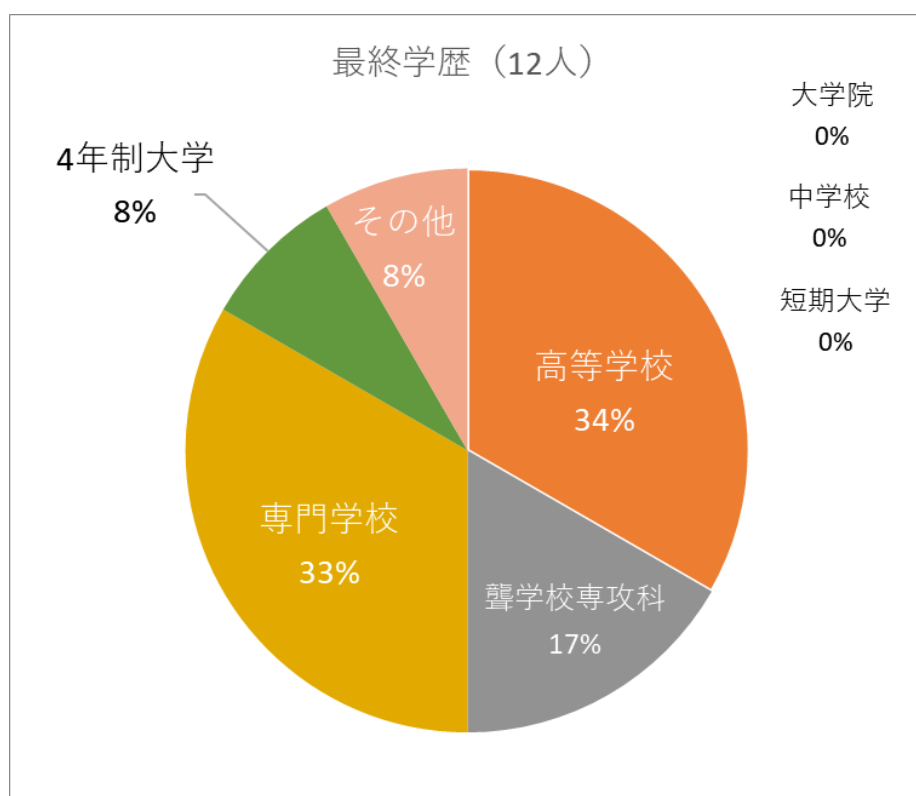
Q8-3. 高校の進学先



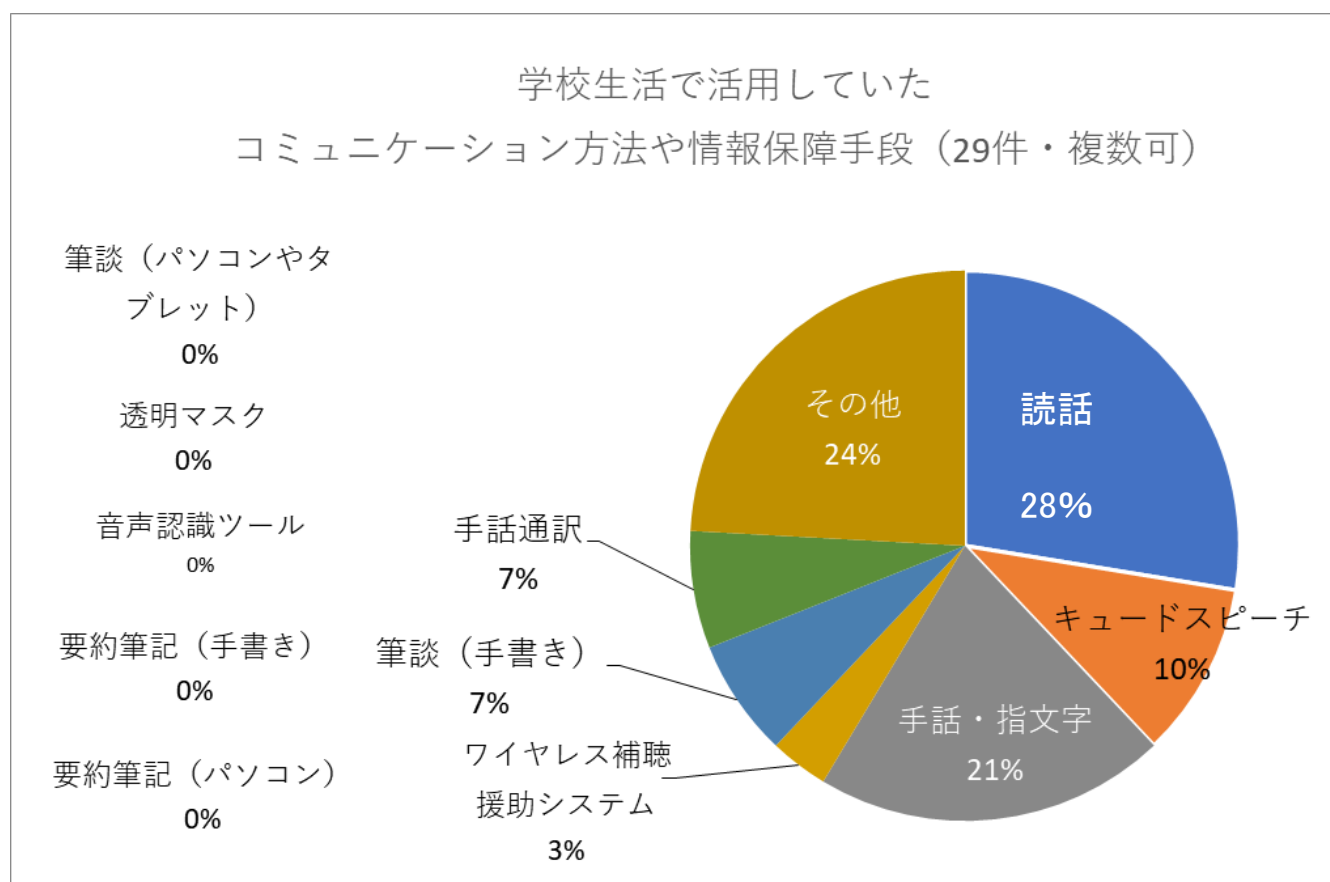
Q8-4. 高校卒業時に在籍していた学校



Q8-5. 最終学歴

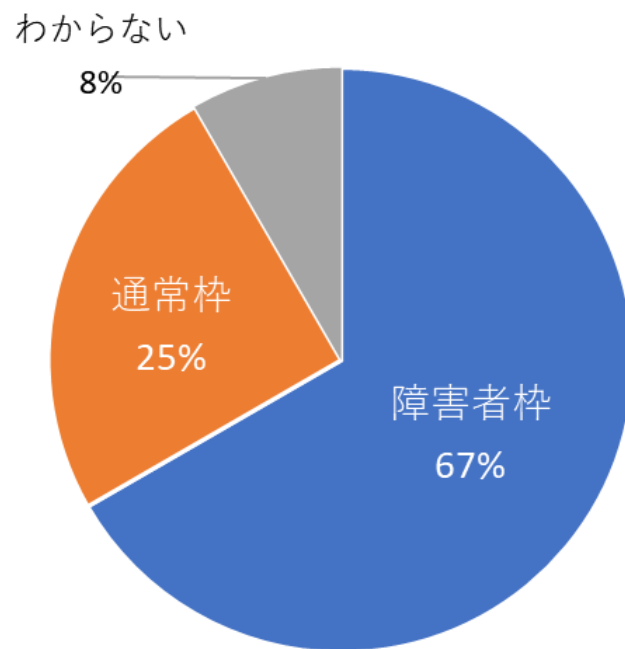


Q8-6. の学校生活で活用していたコミュニケーション方法や情報保障手段



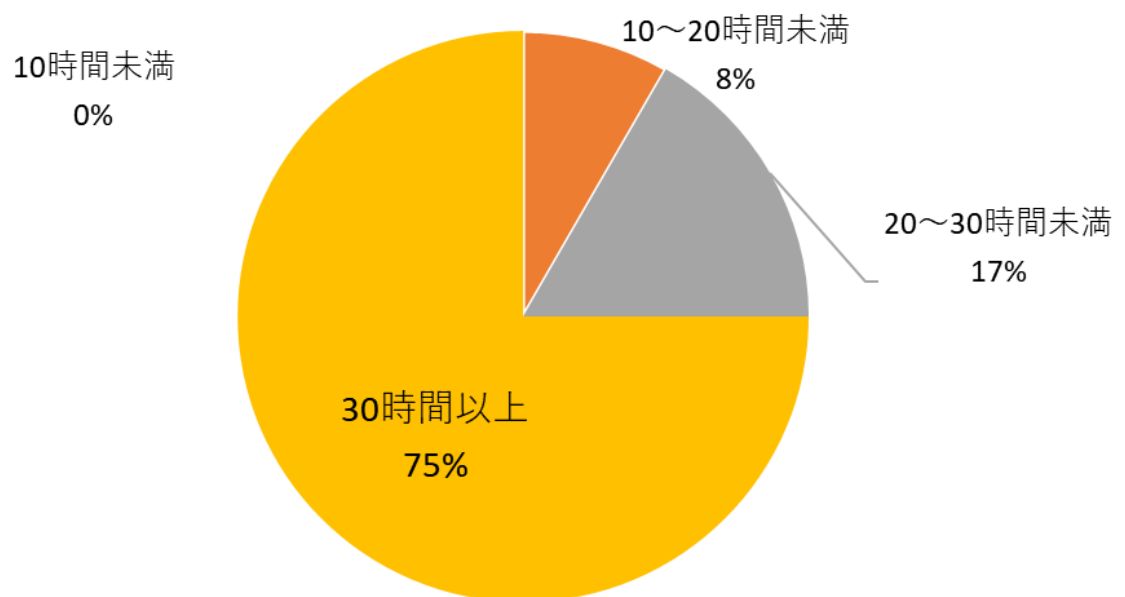
Q8-7. 現在の仕事の就職枠

現在の仕事の就職枠（12人）

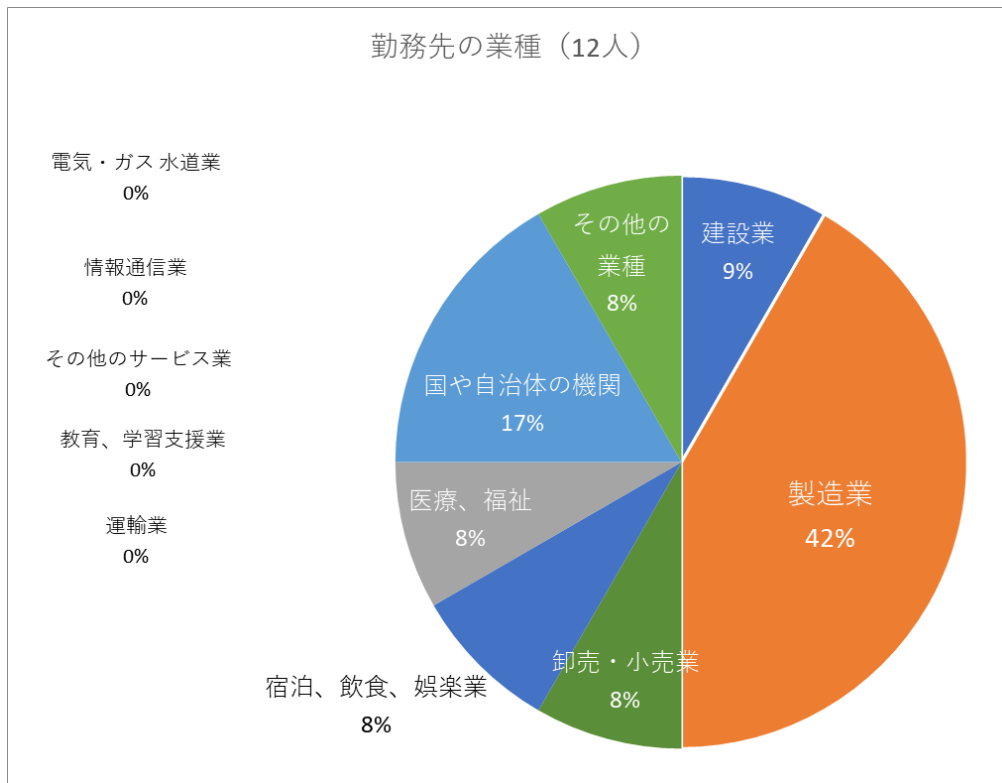


Q8-8. 現在の仕事の1週間の平均労働時間

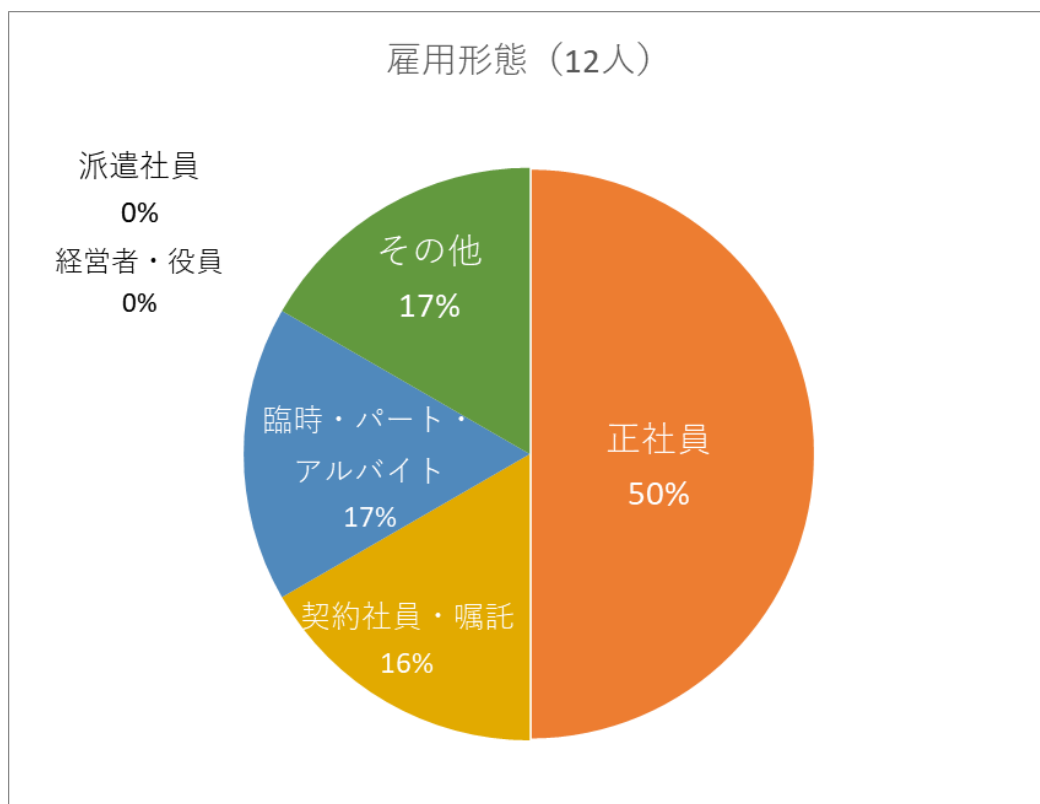
現在の仕事の1週間の平均労働時間（12人）



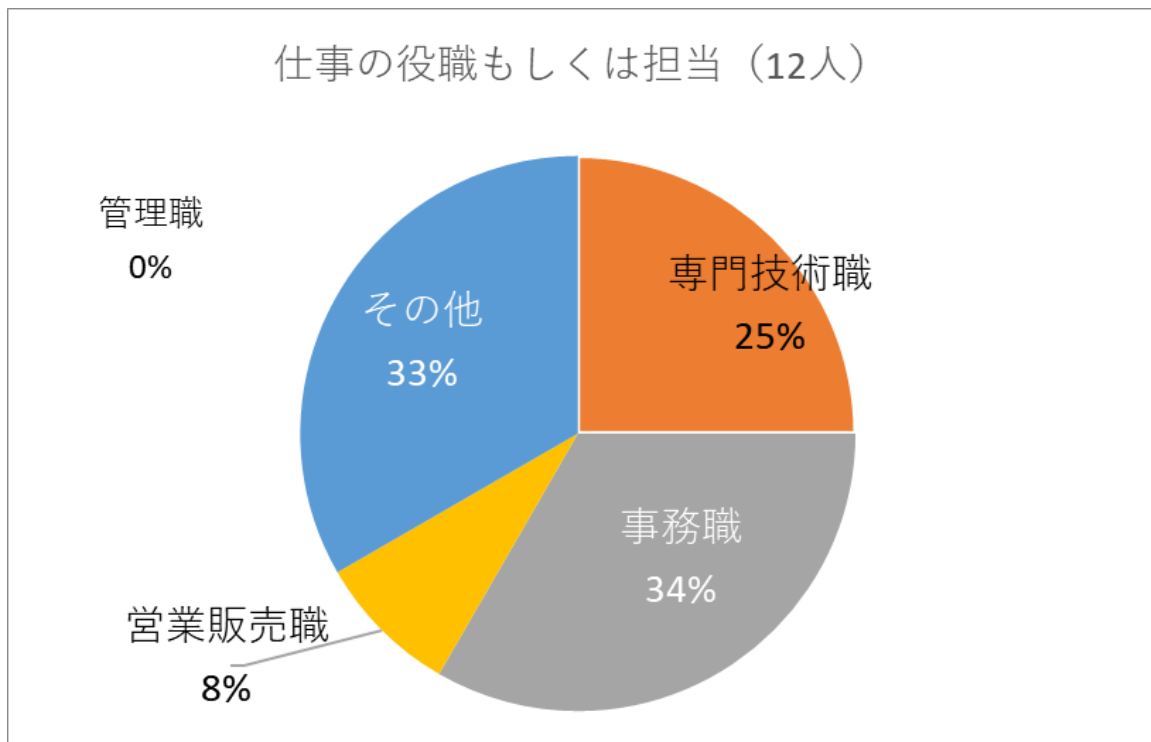
Q8-9. 勤務先の業種



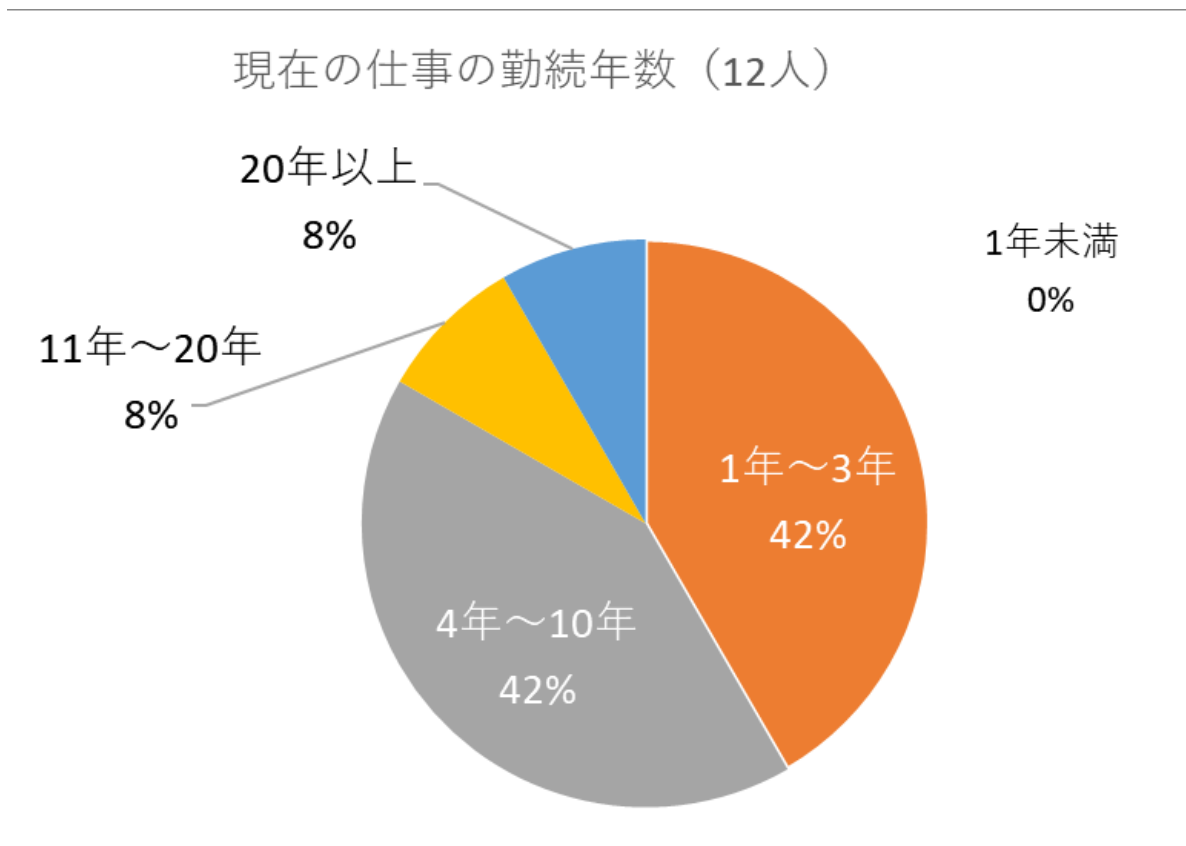
Q8-10. 雇用形態



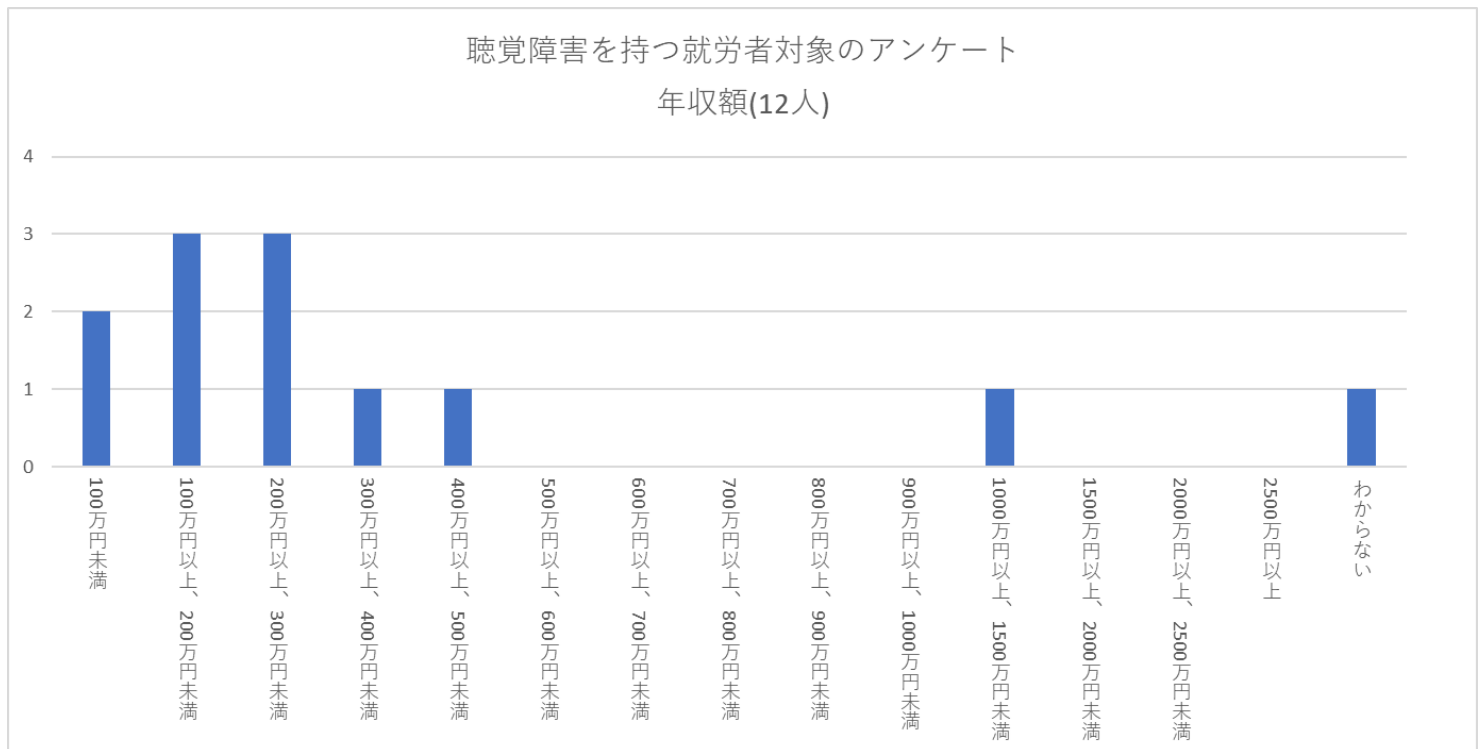
Q8-11. 仕事の役職もしくは担当



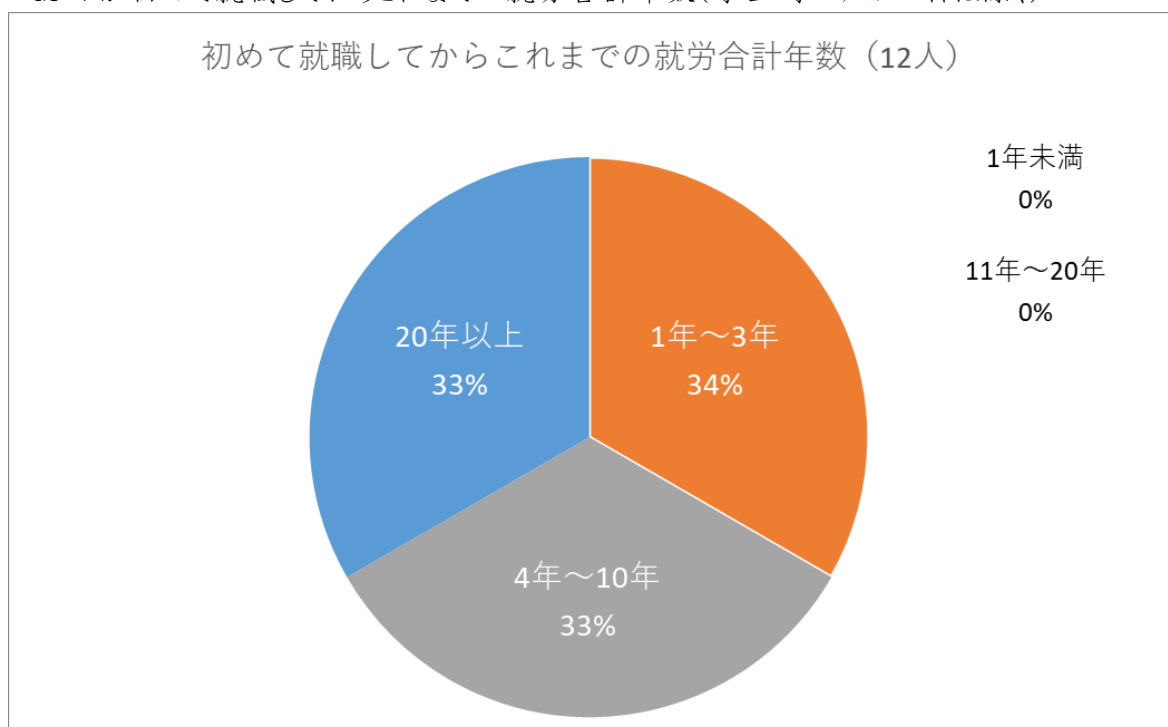
Q8-12. 勤続年数



Q8-13. 現在の年収額



Q8-14. 初めて就職してからこれまでの就労合計年数(学生時のアルバイトは除く)



Q8-15. 転職がある場合の回数

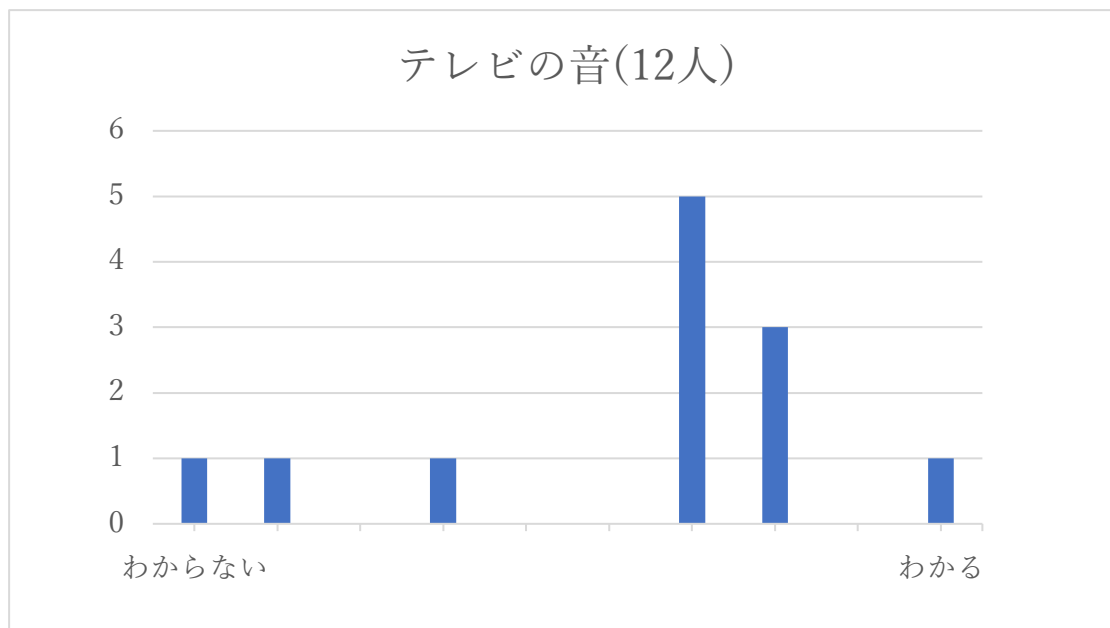
1回	2人
2回	2人
3回	1人
8回	1人

Q8-16. 職場でのマスクの着用について

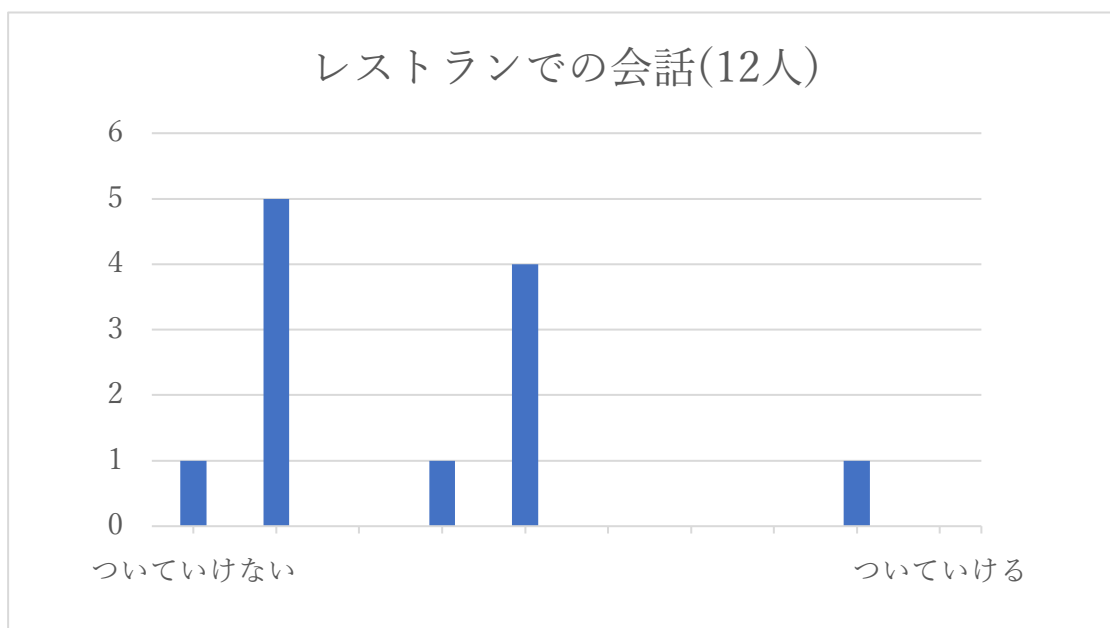
職場でのマスクの着用(12人)



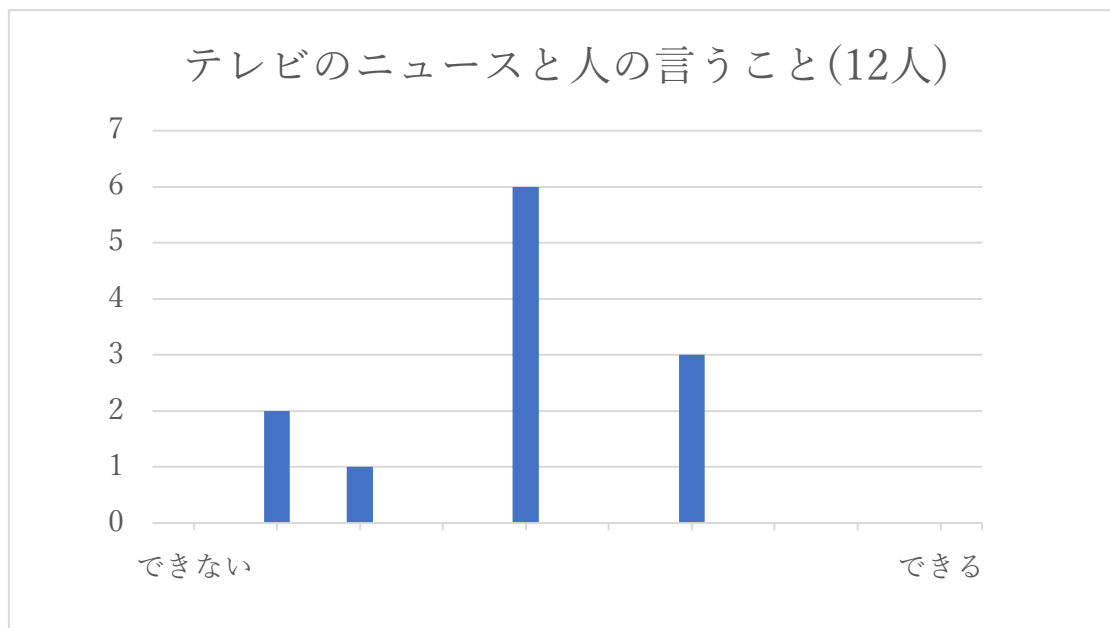
Q9. あなたはテレビのついている部屋で1対1の会話をしています。テレビの音を小さくしなくても相手の言うことがわかりますか。



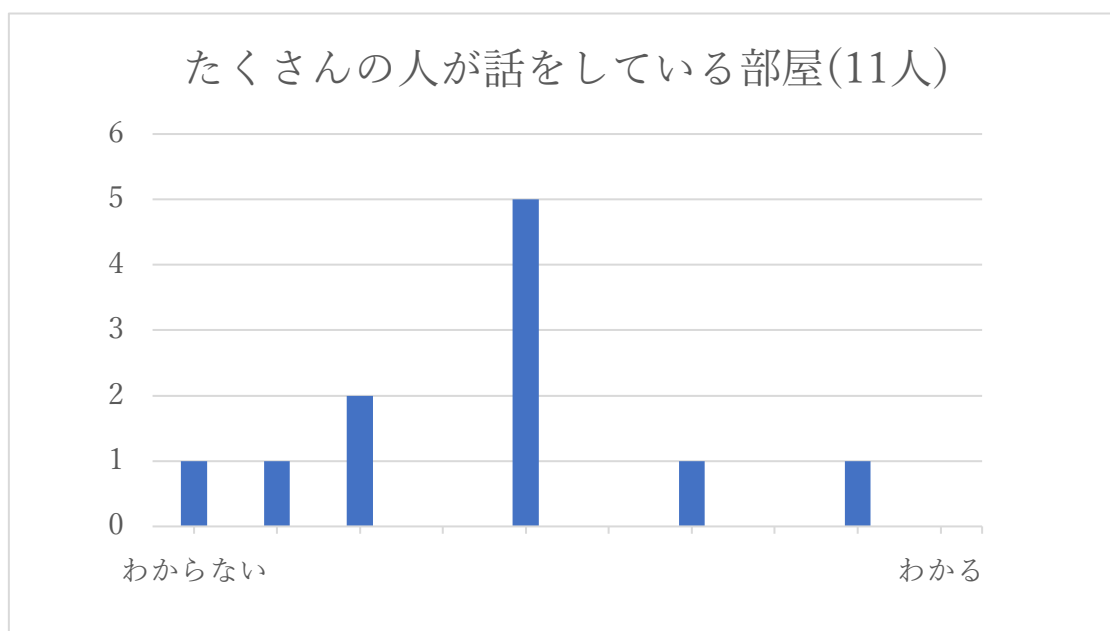
Q10. あなたは混雑したレストランで5人くらいでテーブルを囲んで会話をしています。あなたから全員の顔が見えます。会話についていけますか。



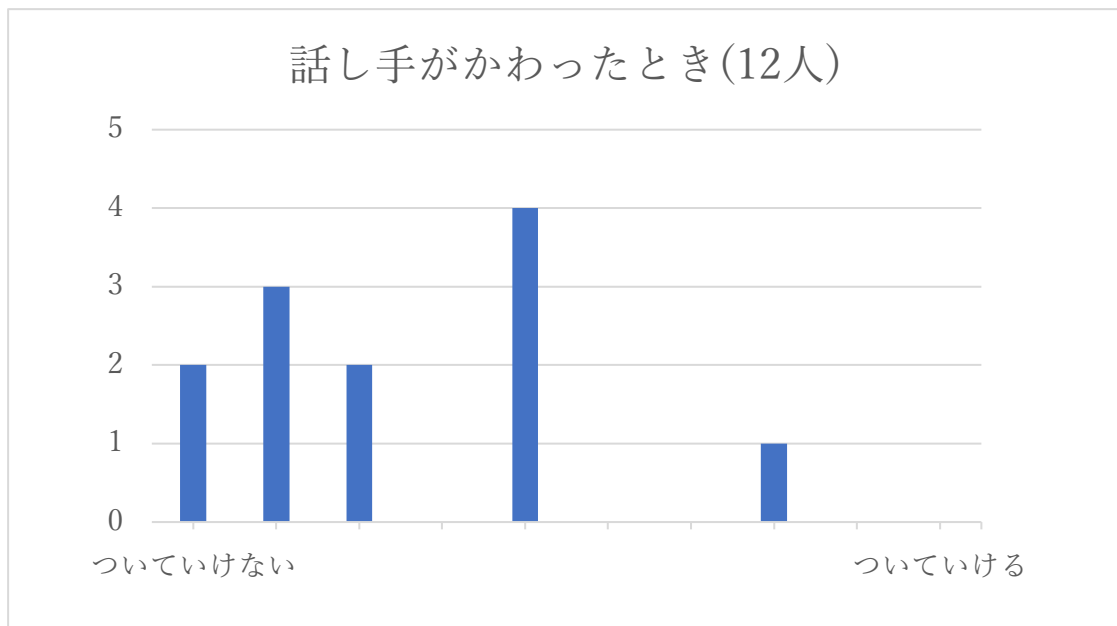
Q11. あなたがテレビのニュースを見ているときに人が話しかけてきました。テレビのニュースと人の言うことの両方がわかりますか。



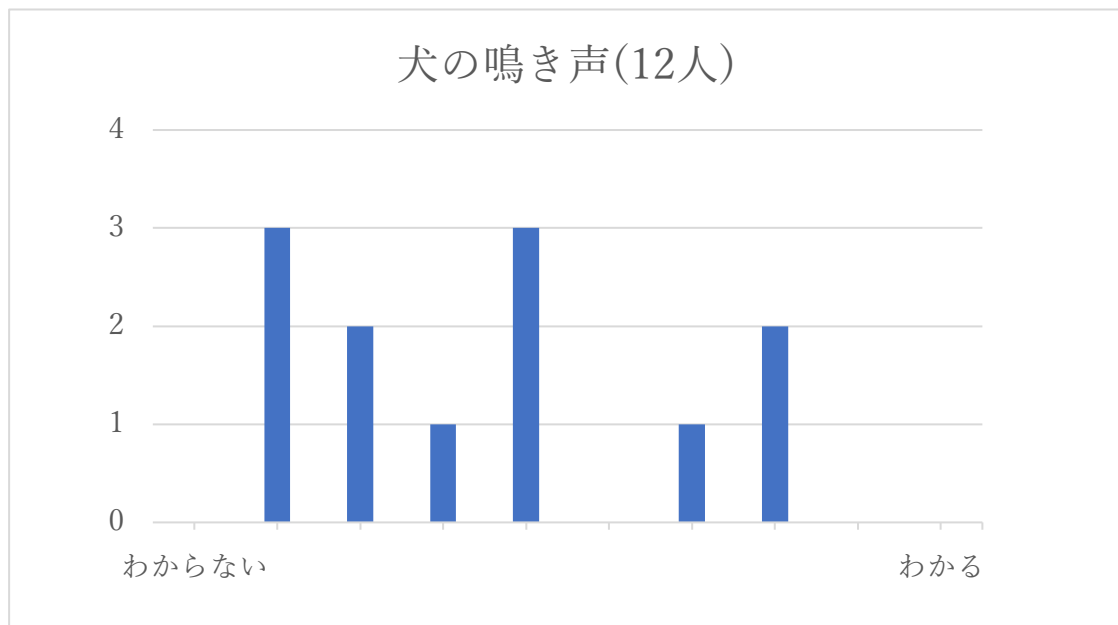
Q12. あなたは周りでたくさんの人が話をしている部屋で、1対1の会話をしています。相手の言うことがどれくらいわかりますか。



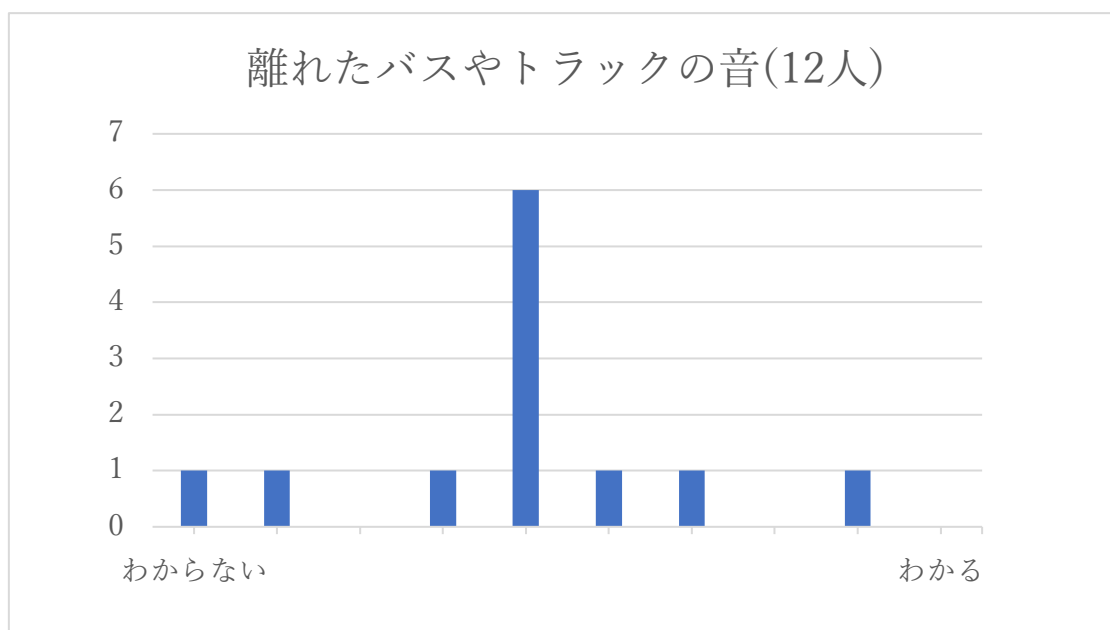
Q13. あなたは5人くらいで会話をしています。話し手がかわったとき、その人がいうことを最初から聴き逃すことなく会話についていけますか。



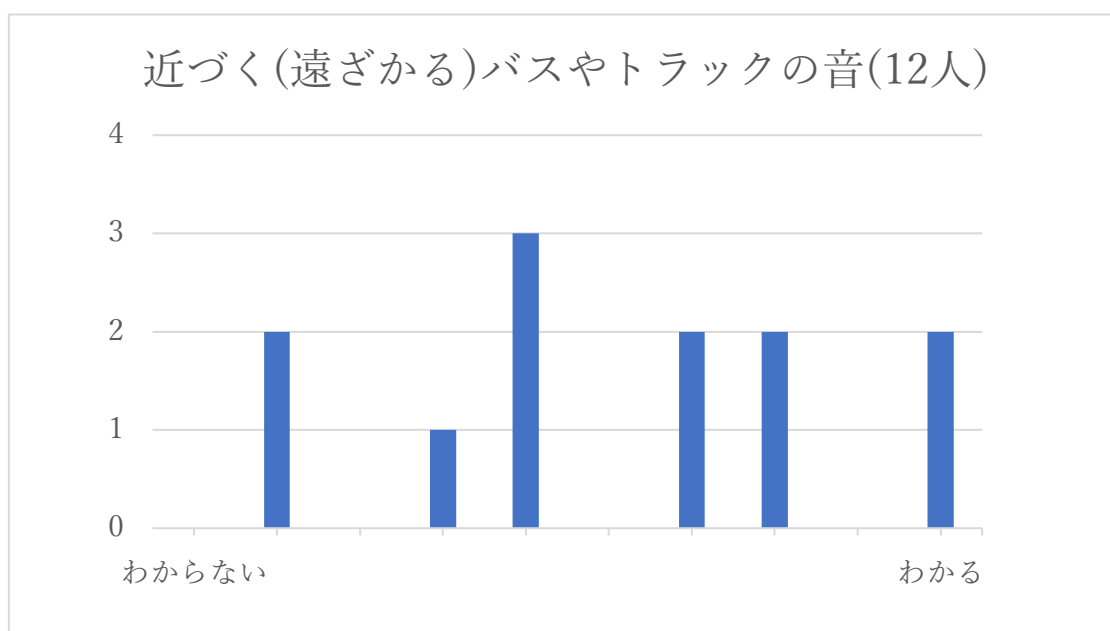
Q14. あなたは屋外にいます。犬が大きな声で吠えました。犬がどこにいるか見なくてもすぐにわかりますか。



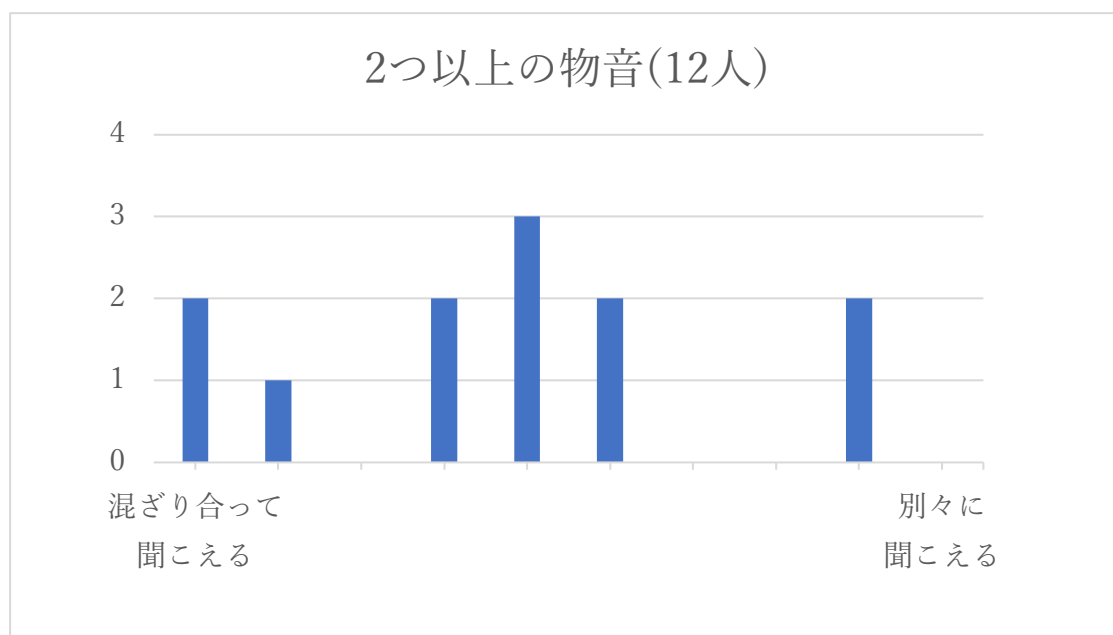
Q15. バスやトラックの音を聴いて、それらがどのくらい離れたところにいるか、わかりますか。



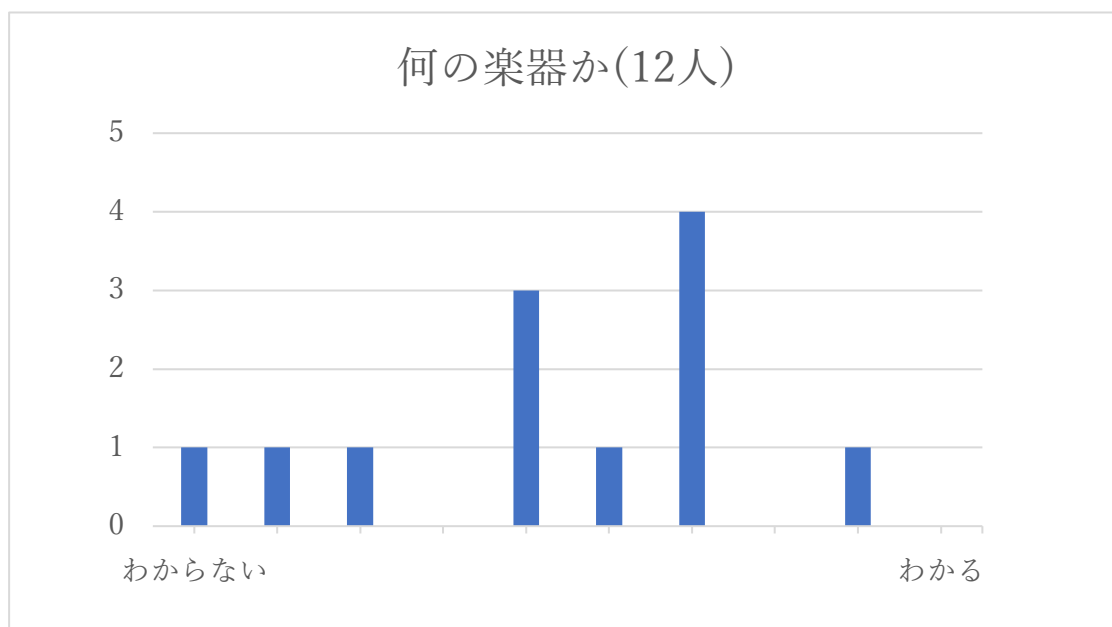
Q16. バスやトラックの音を聴いて、それらが近づいてくるのか、遠ざかっているのか、わかりますか。



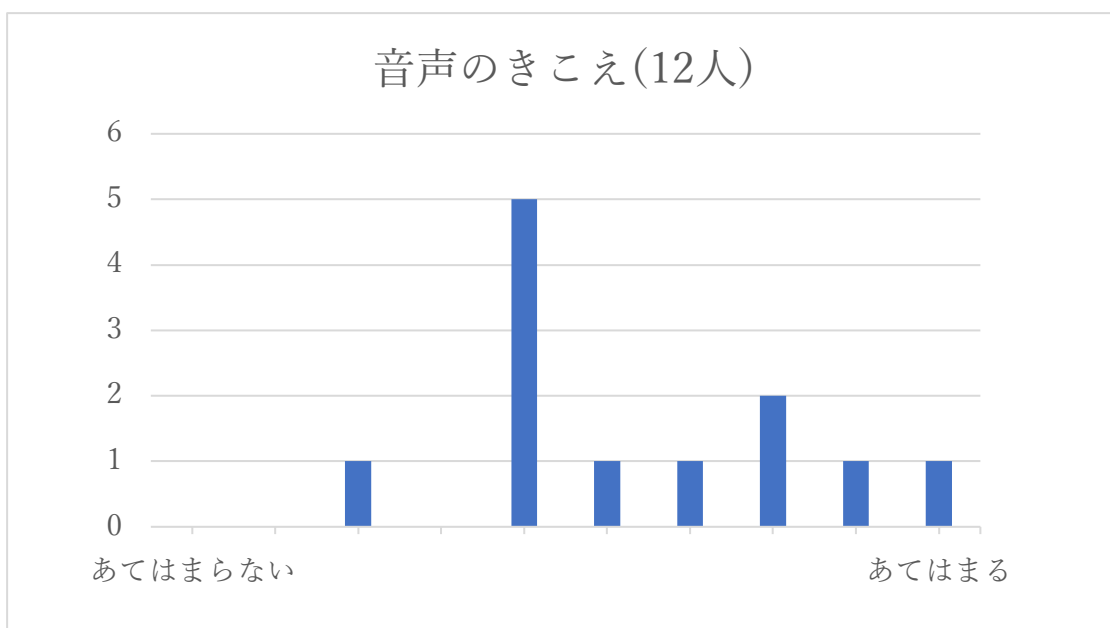
Q17. 2 つ以上の物音が同時に聞こえるとき、物音がごちゃごちゃと 1 つに混ざり合って聞こえる感じがしますか。



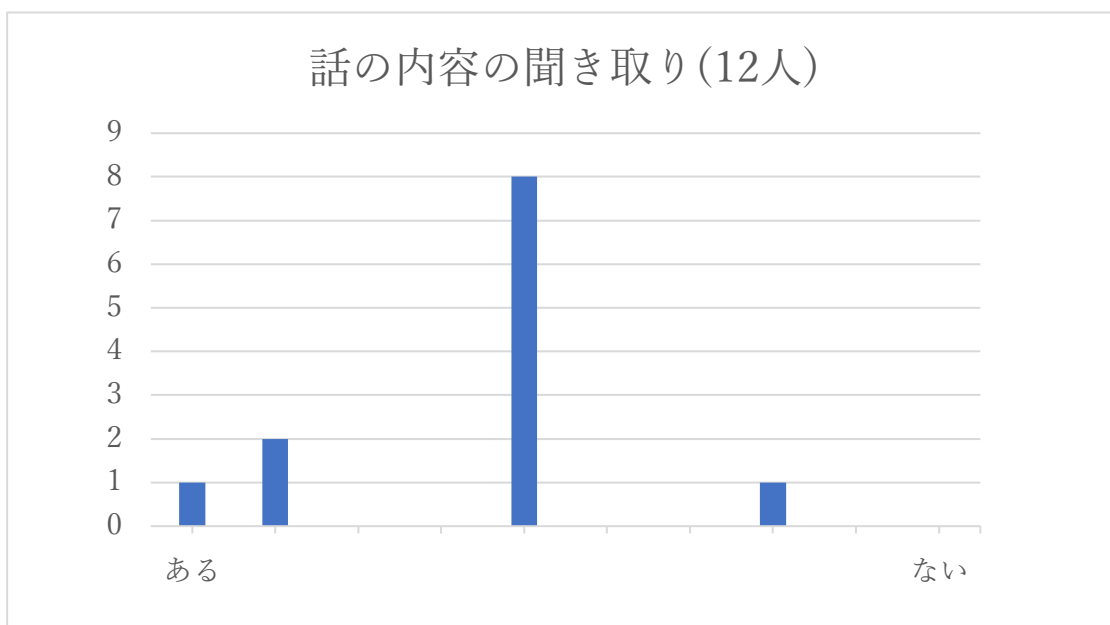
Q18. 音楽を聴いて、演奏に使われている楽器がわかりますか。



Q19. 日常生活で聞きやすい音声はぼんやりせずに、はっきり聞こえますか。

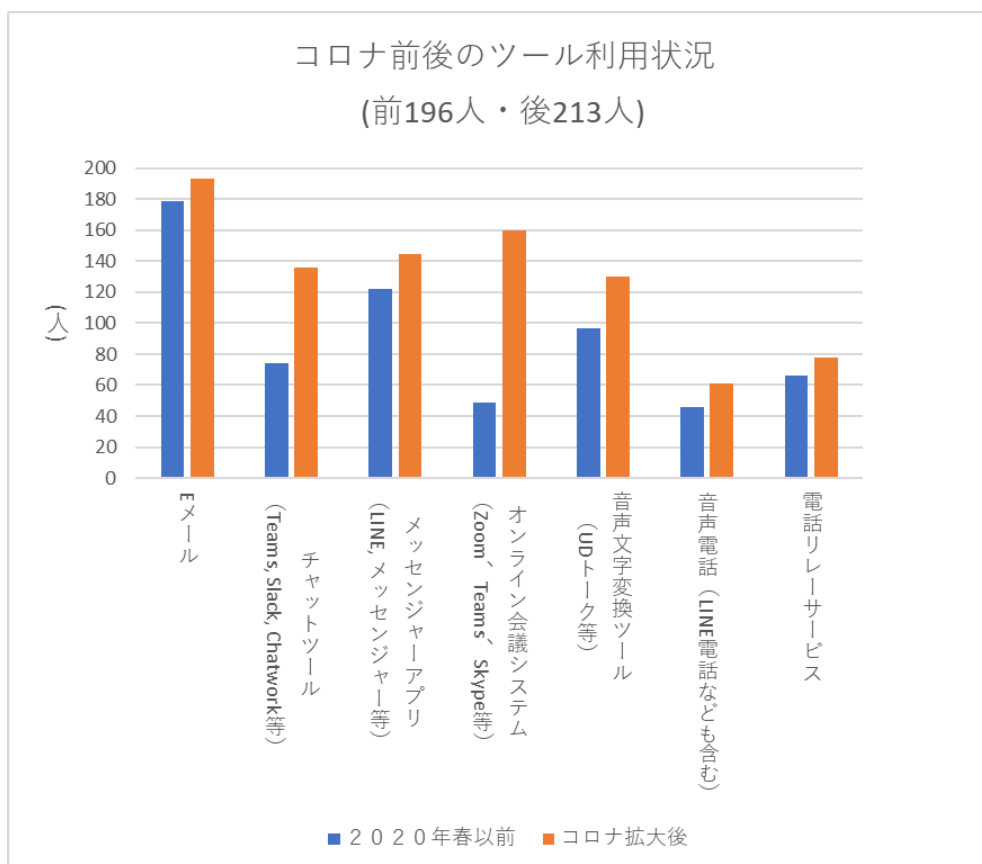


Q20. 人と会話するとき、話の内容をききとるために努力する必要がありますか。

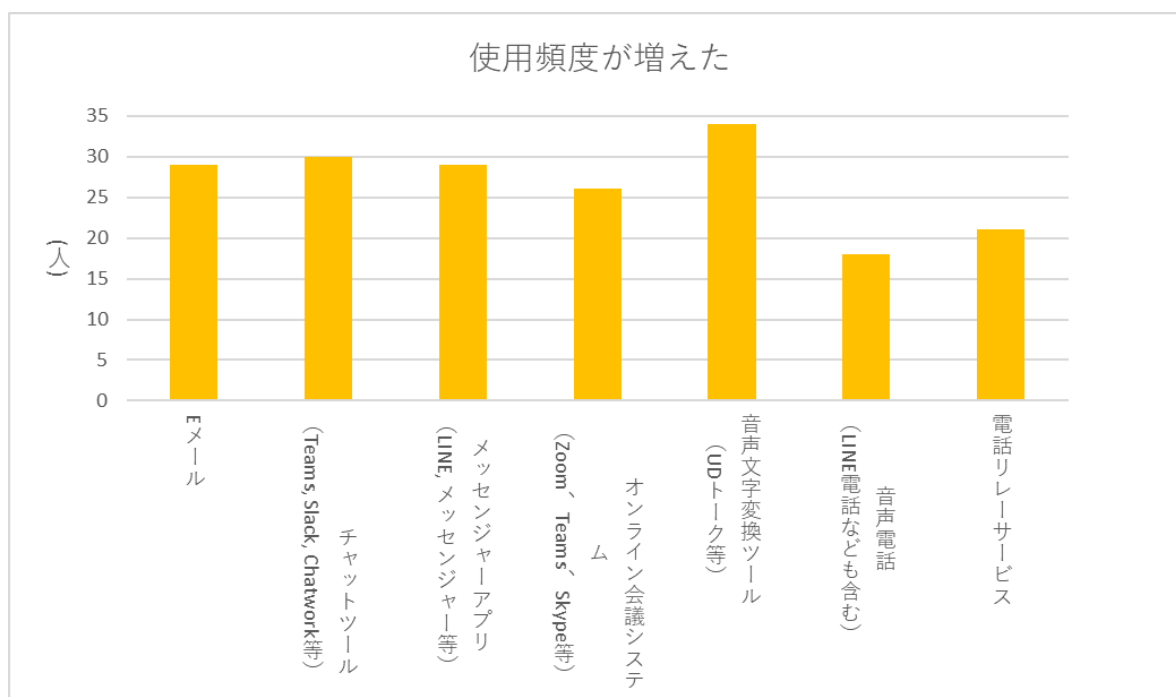


4. 聴覚障害を持つ就労者

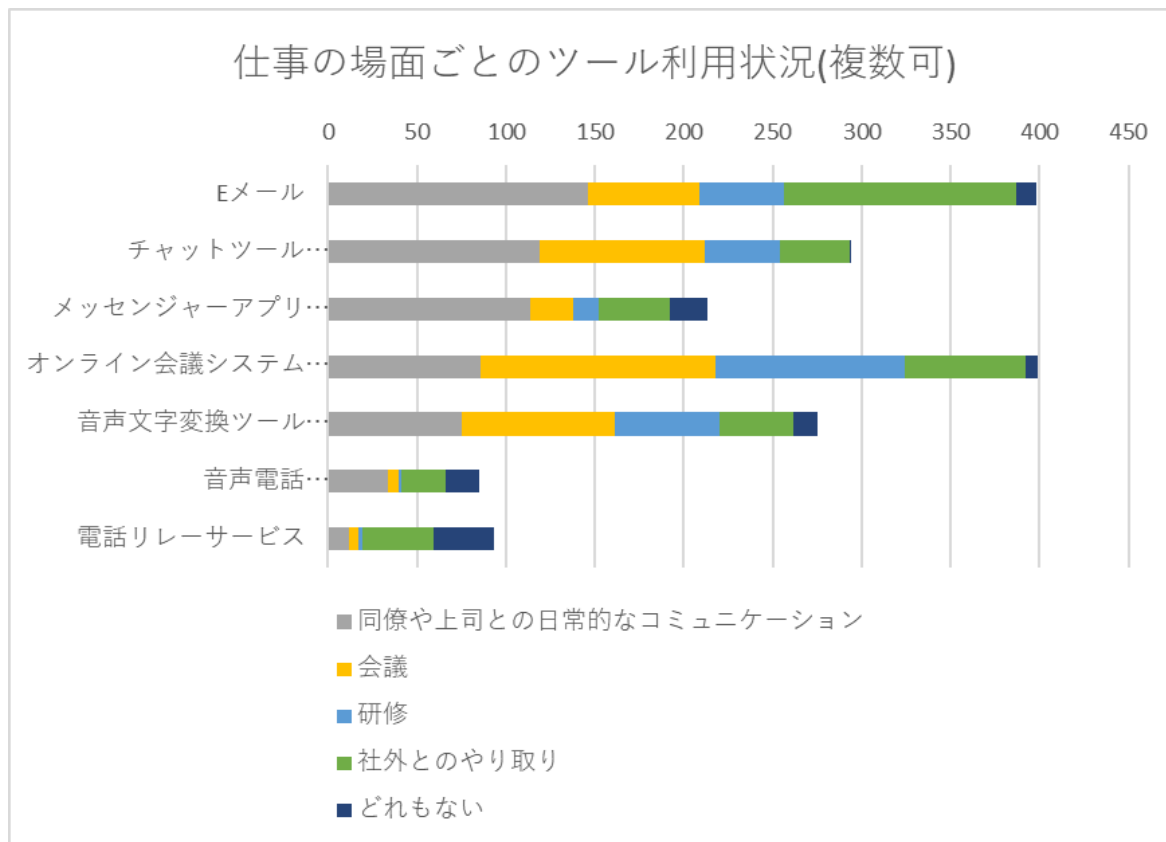
Q1. コロナ拡大前（2020年春以前）・コロナ拡大後のコミュニケーション方法の仕事での使用状況。



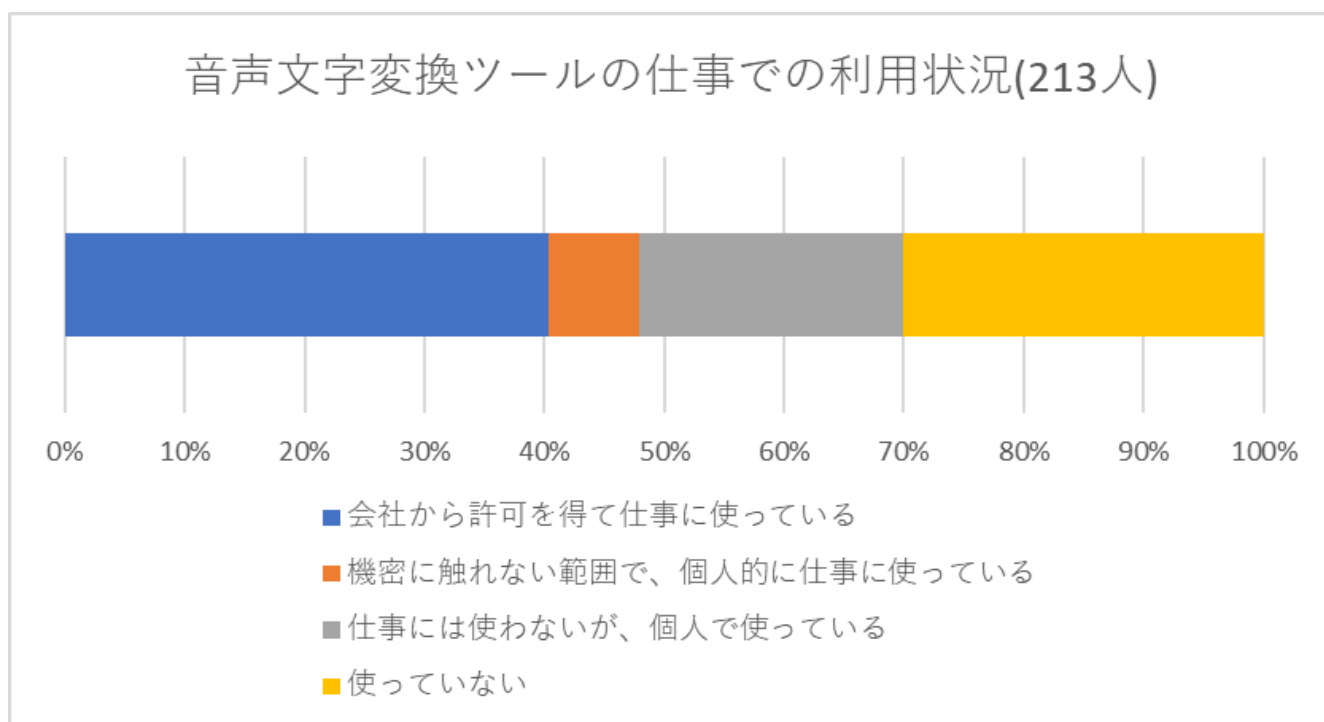
Q2. 仕事で次のコミュニケーション方法の頻度に変化はありましたか。



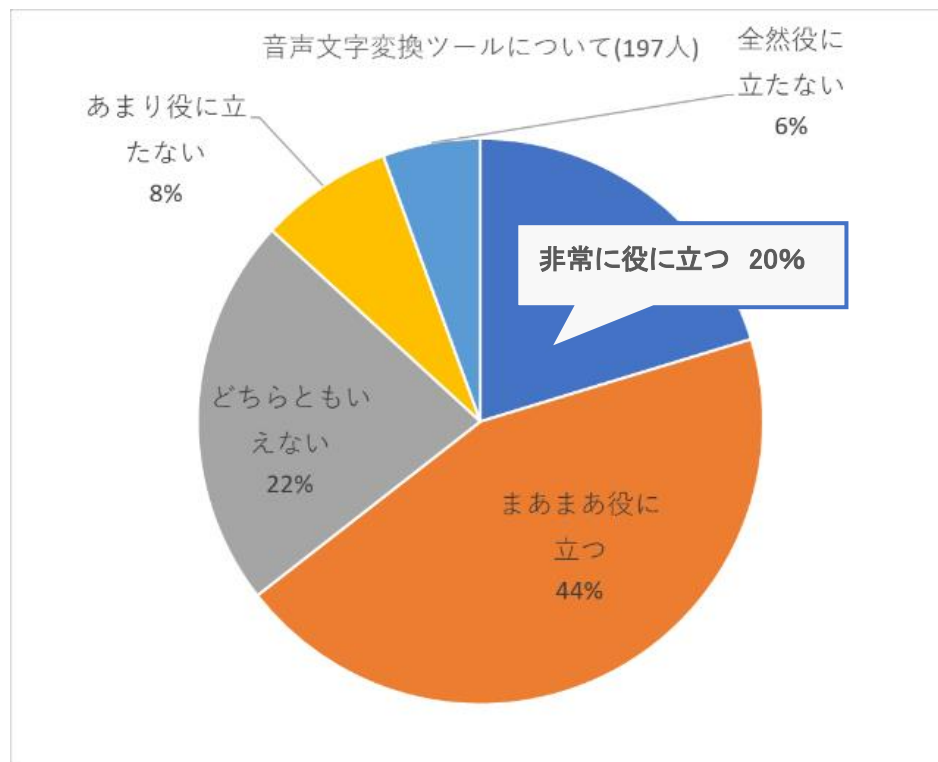
Q3. コロナ拡大後、次のコミュニケーション方法を仕事上のどのような場面で使っていますか。



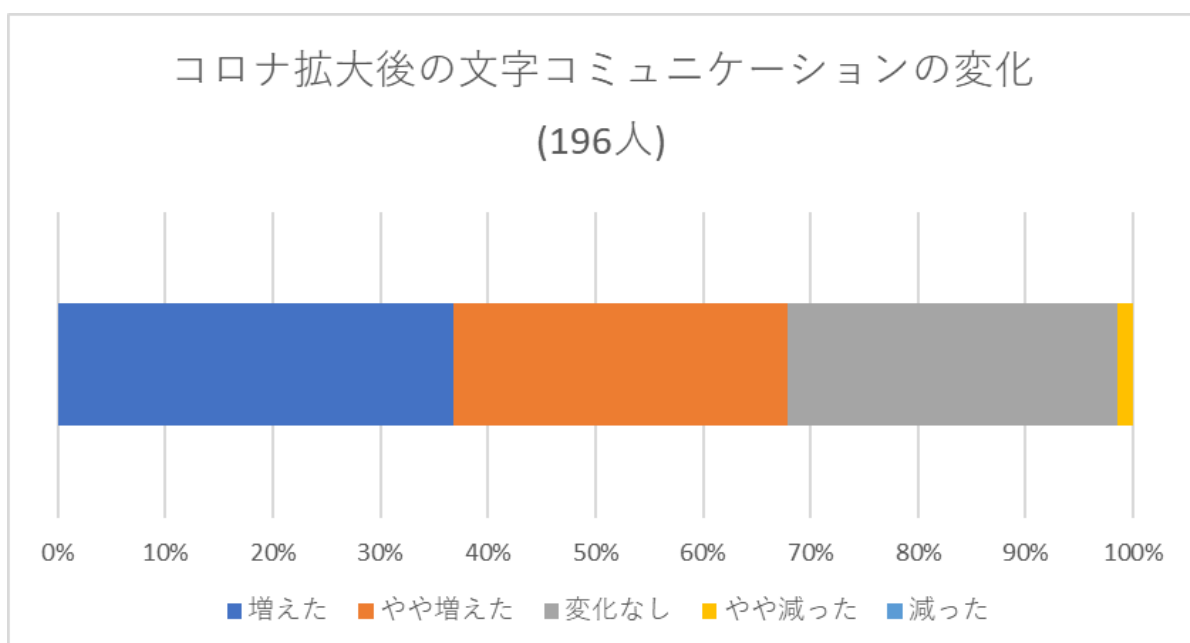
Q4-1.音声文字変換ツールを仕事で使っていますか



Q4-2.音声文字変換ツールについての考えは

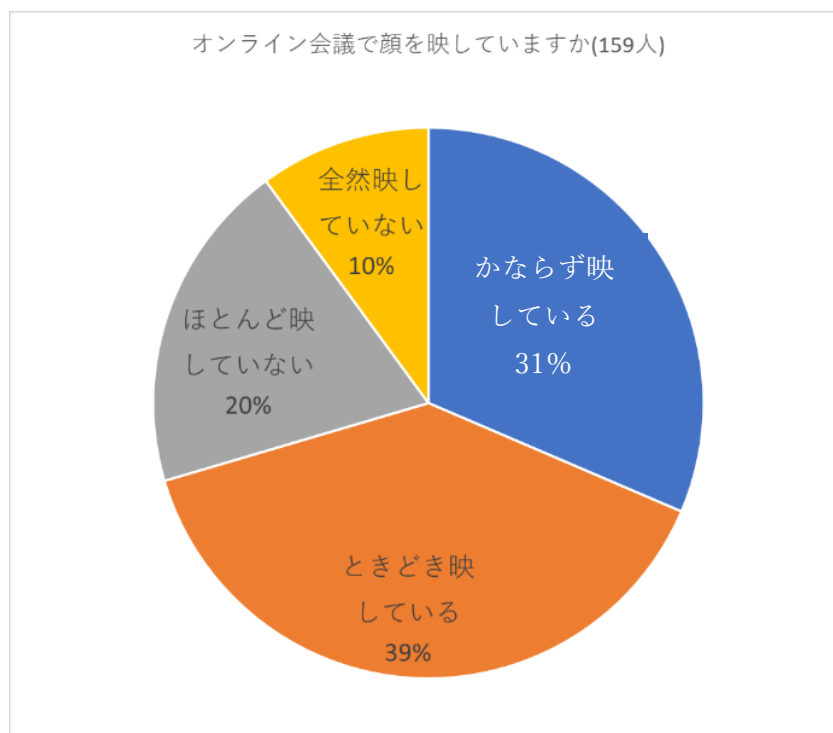


Q5. コロナ拡大後、仕事上、筆談やメール、チャットツールなどによる、文字でのコミュニケーションは増えましたか。

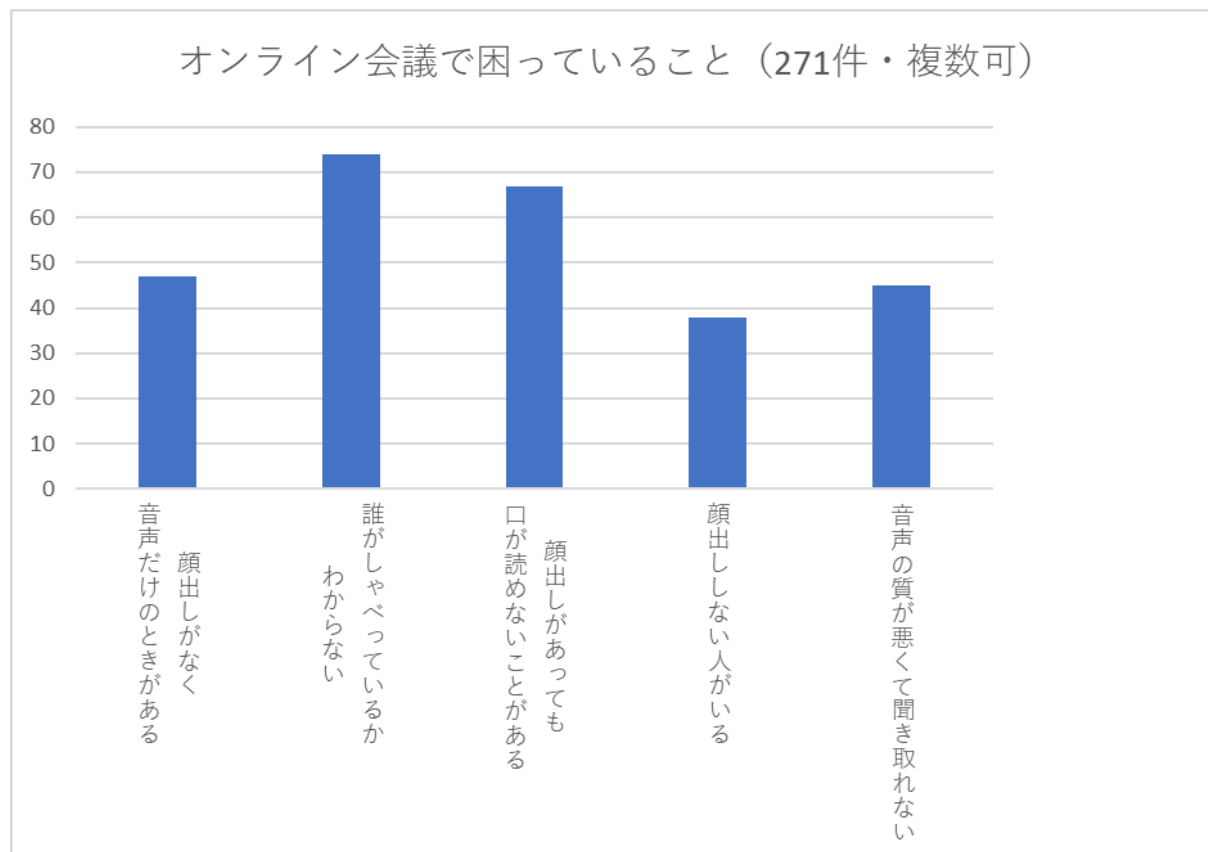


Q6. オンライン会議について

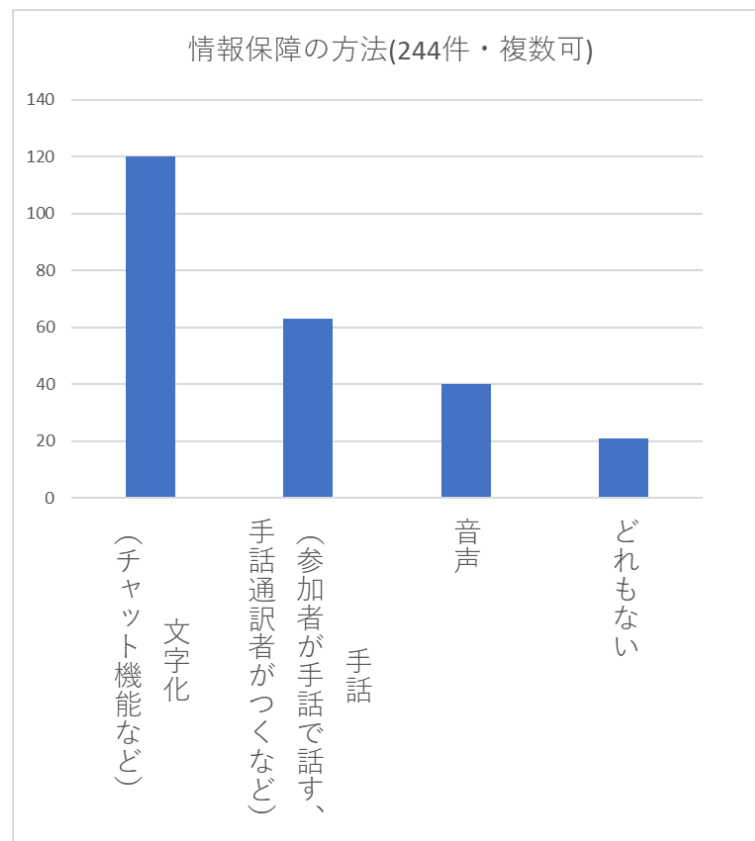
Q6-1. オンライン会議であなたや他の参加者は顔を出して(カメラオンにして)いますか



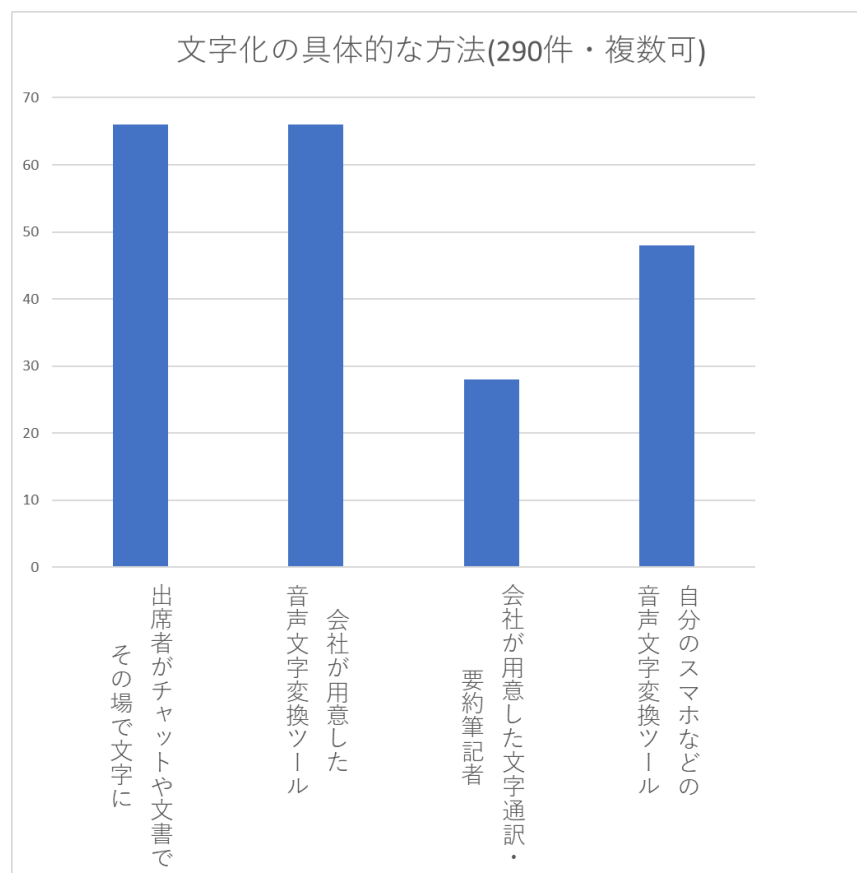
Q6-2. オンライン会議で困っていることを全て選んでください。



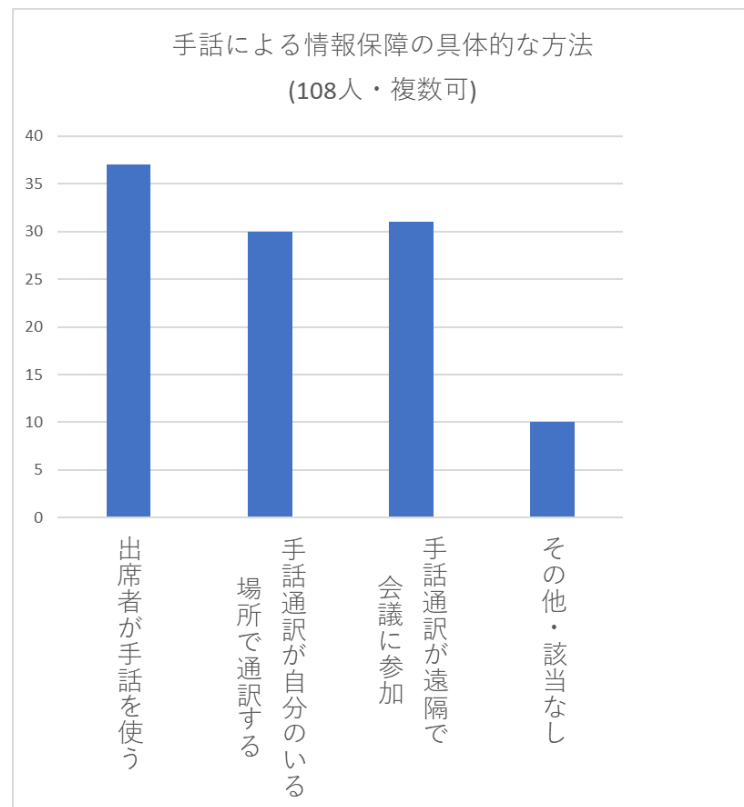
Q6-3. オンライン会議での情報保障の方法についてこの1年間で仕事で経験したもの



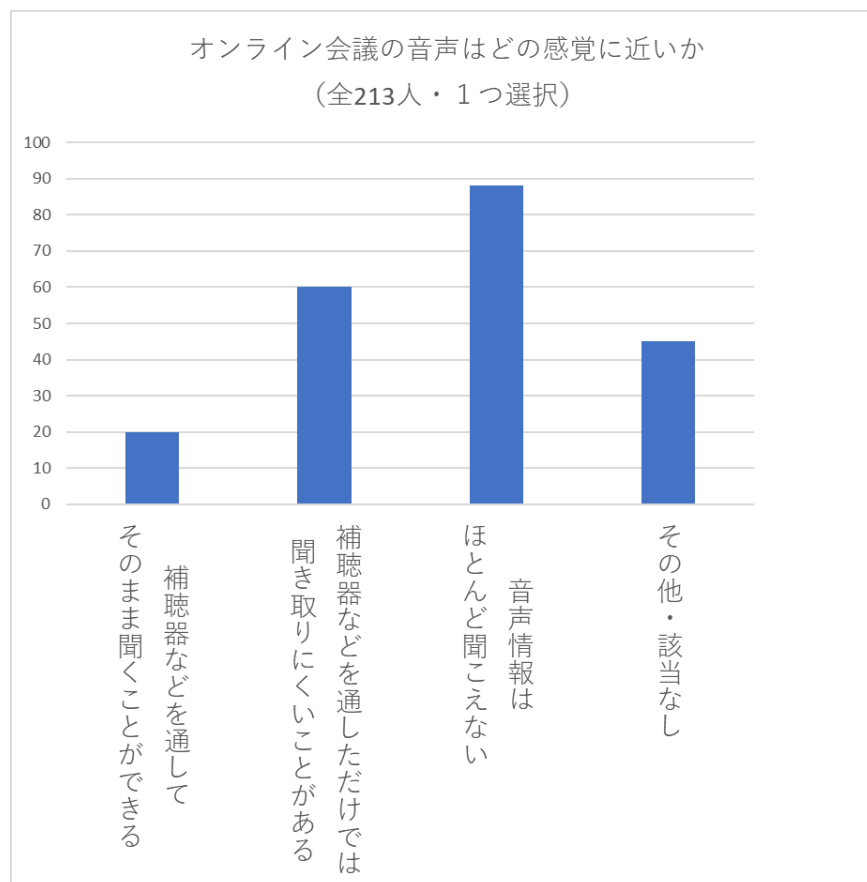
Q6-4. 文字化の具体的な方法について、この1年間で仕事で経験したもの



Q6-5. 手話による情報保障の具体的な方法について、この1年間で経験したもの

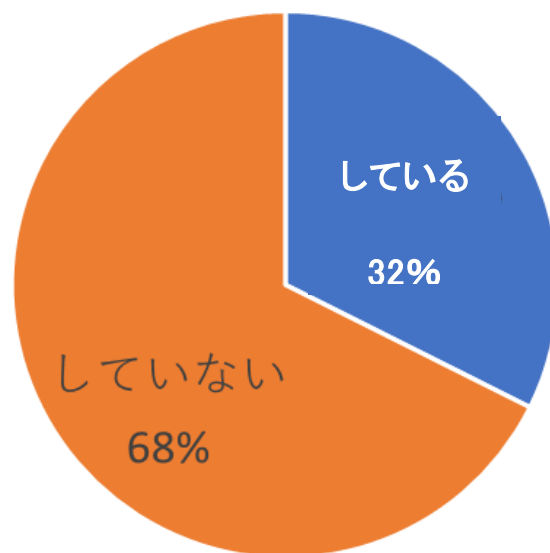


Q6-6. オンライン会議の音声についてあなたの感覚はどれに近いですか



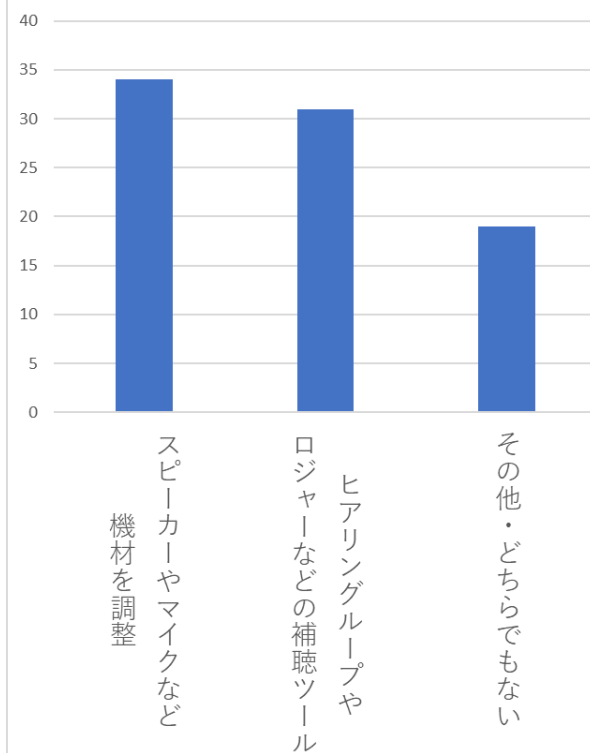
Q6-7. オンライン会議を聞き取るための工夫はされていますか

聞き取るための工夫をしているか(213人)

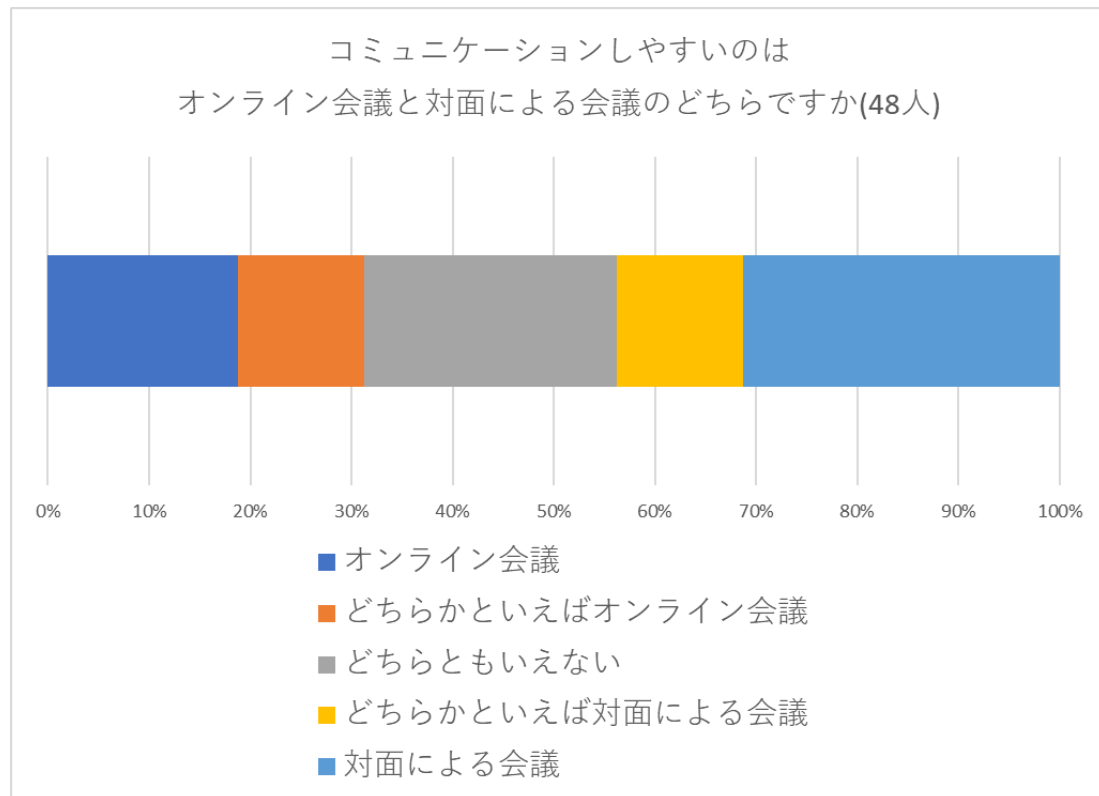


Q6-8. オンライン会議を聞き取るための工夫。

聞き取るための工夫(84件・複数可)

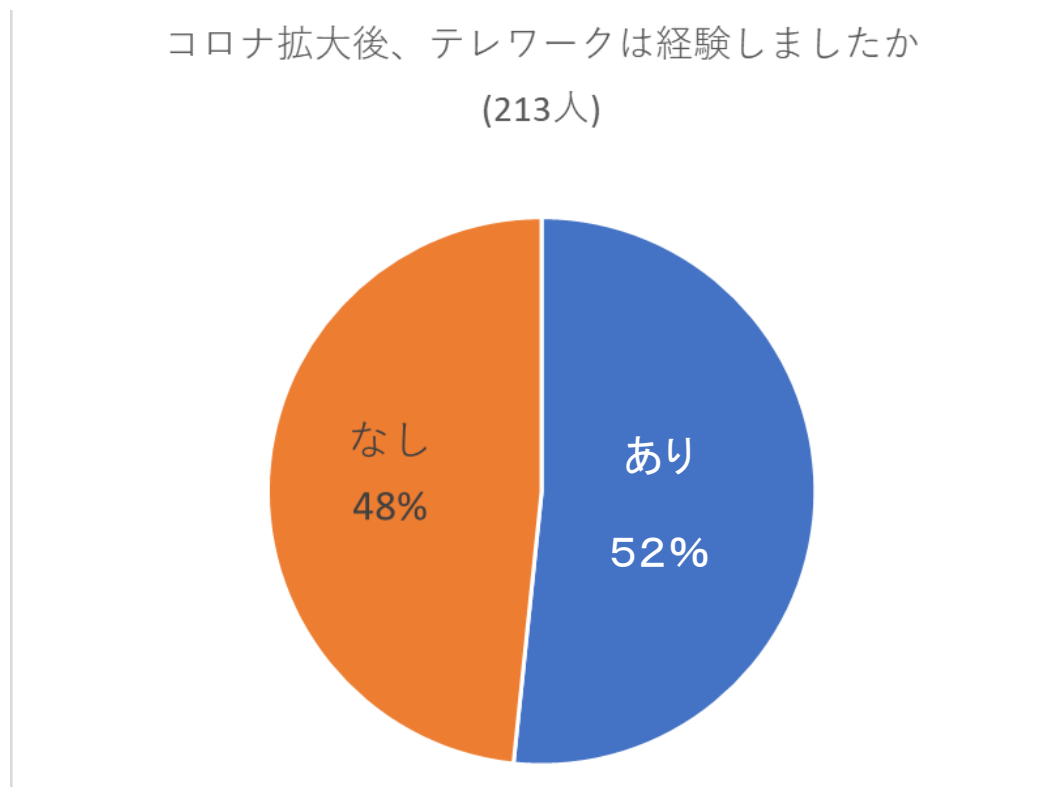


Q6-9. コミュニケーションしやすいのは、オンライン会議と対面による会議のどちらですか。

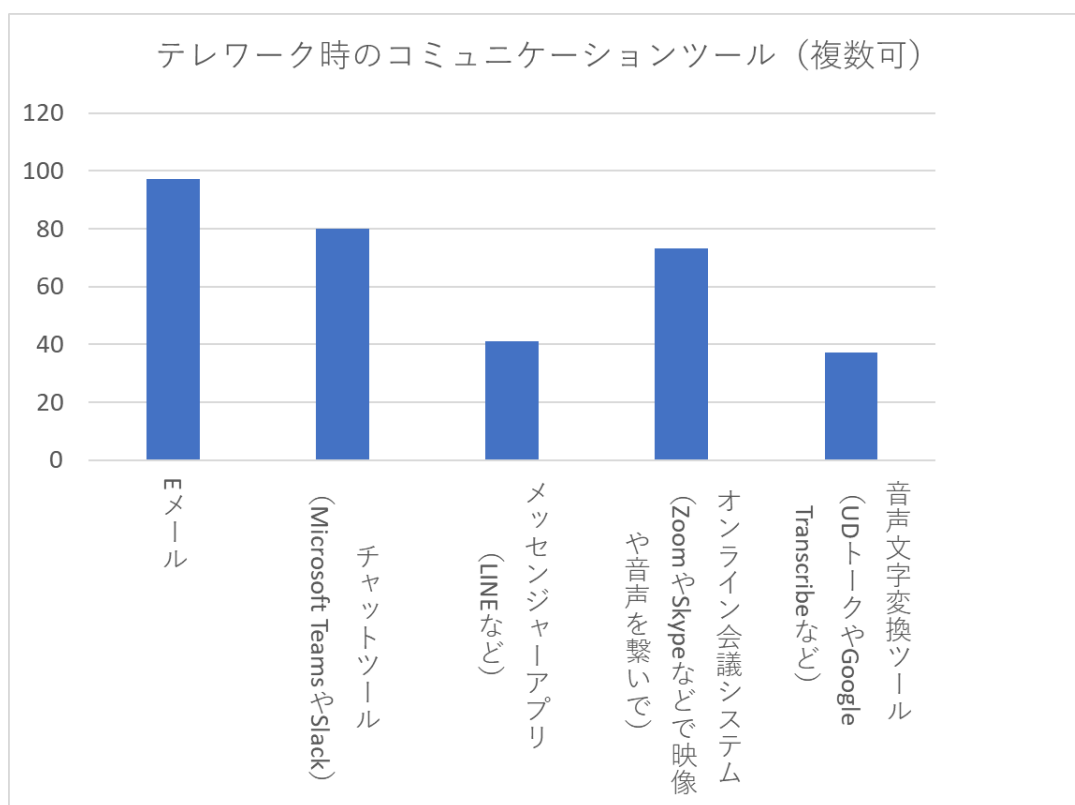


Q7. テレワークについて

Q7-1. 2020 年 4 月から現在まで、コロナ拡大後、テレワークは経験しましたか。

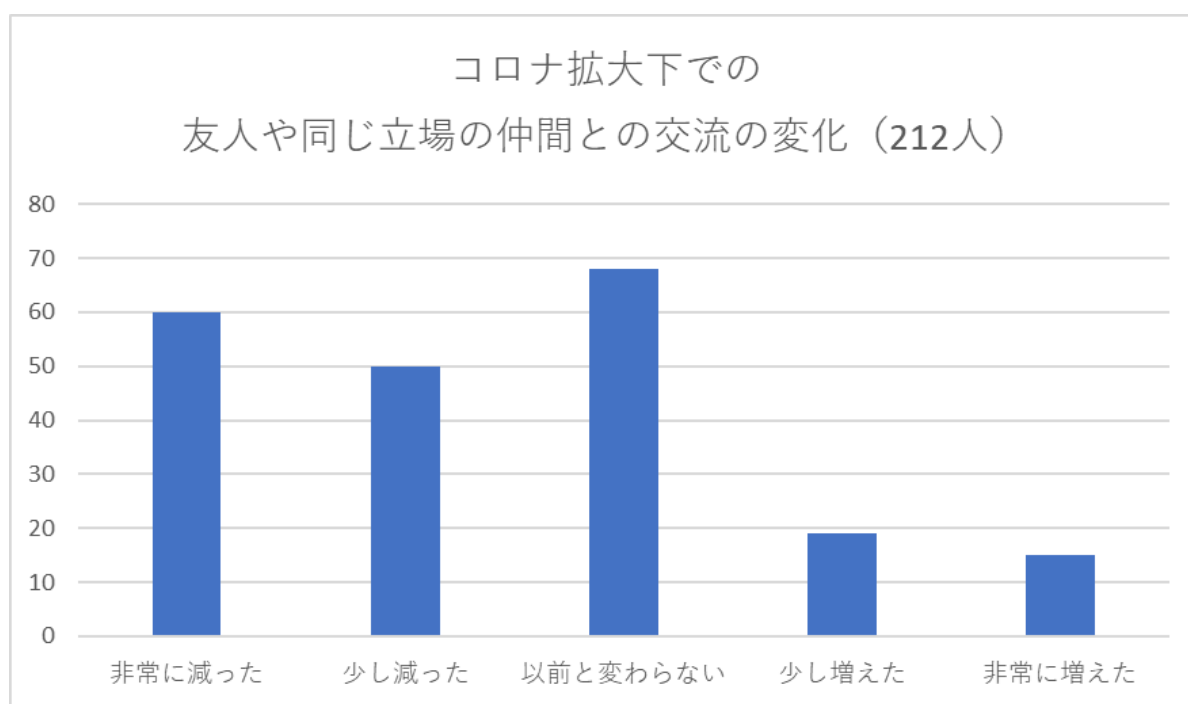


Q7-2.テレワーク時のコミュニケーションツール



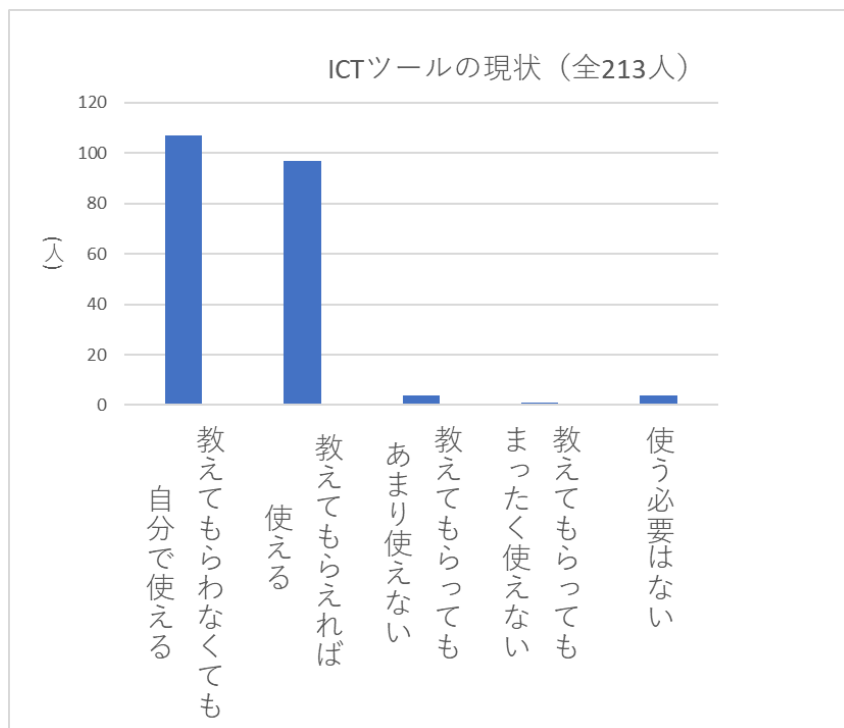
Q8. 人との交流と情報交換について

Q8-1.コロナ拡大下における友人や同じ立場の仲間との交流や情報交換は以前と比べて変化がありましたか。

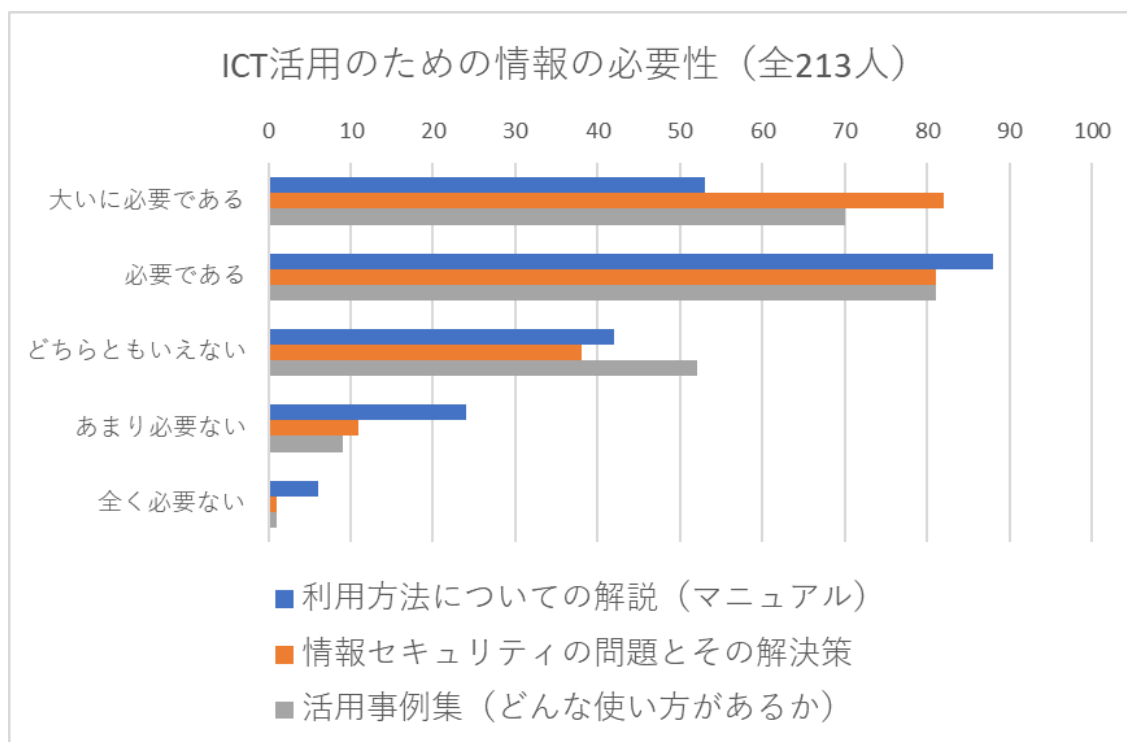


Q9. ICT 利用の可能性について

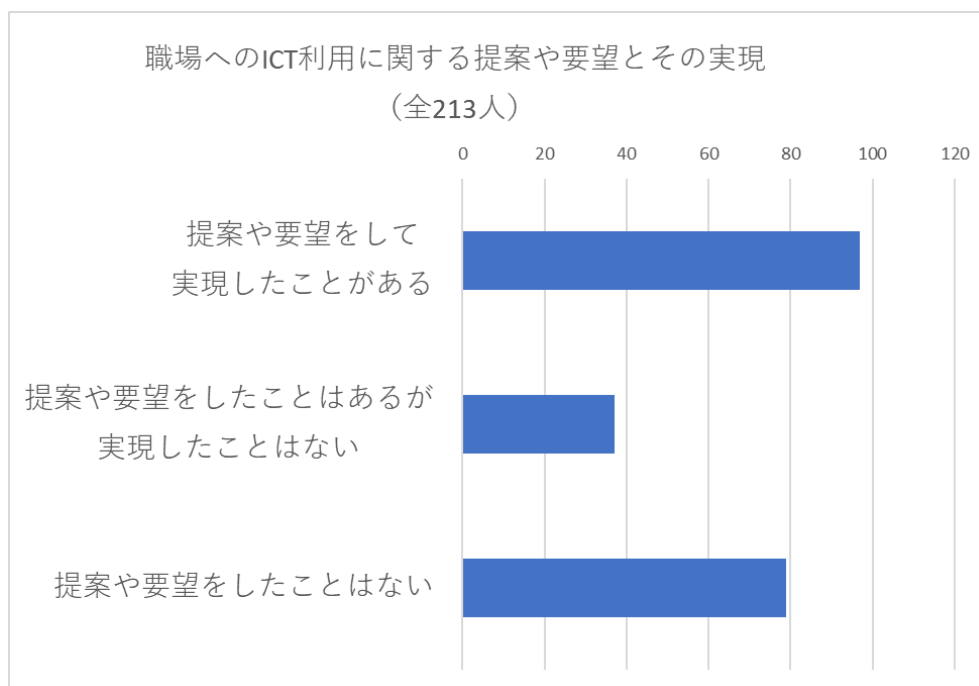
Q9-1.スマホやパソコンを通して人とやりとりする技術(ICT)について、あなたの現状に近いものをひとつ選んで下さい。



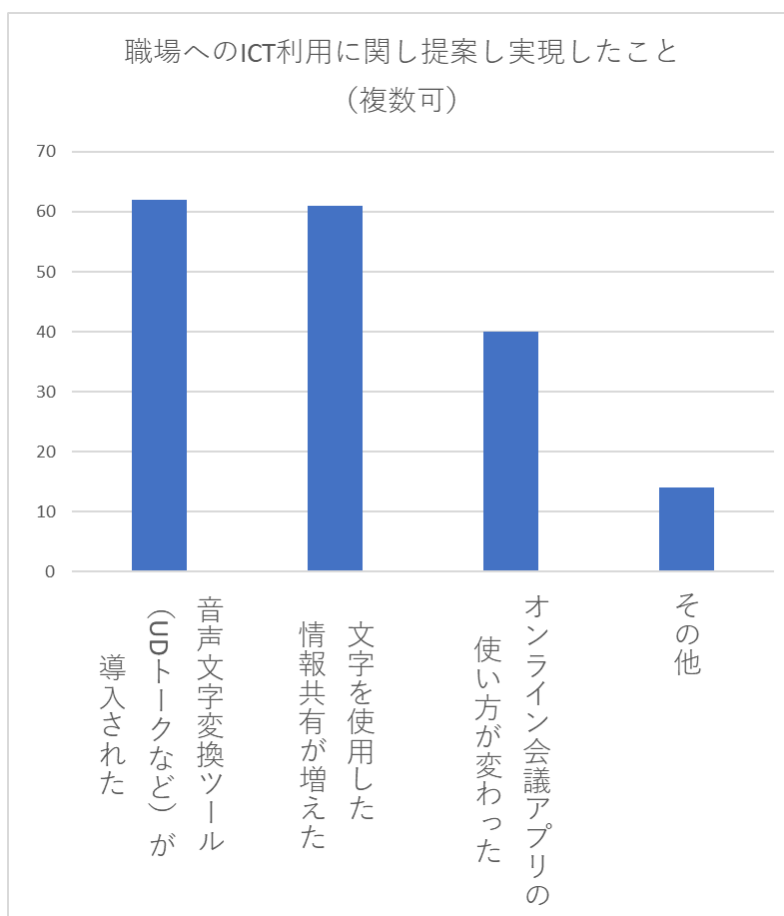
Q9-2. マホやパソコンを通して人とやりとりする技術(ICT)を活用できるようにするため、下記の情報についてどの程度必要性を感じるかもっともあてはまるものを選んで下さい。



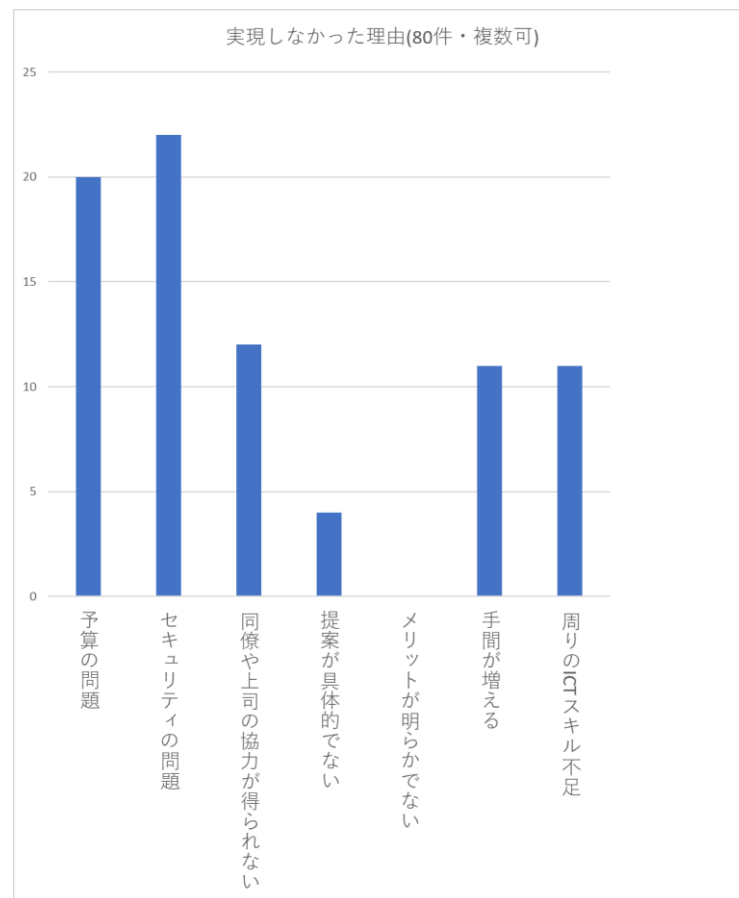
Q9-3. ICT 利用に関して、職場の同僚や上司、会社などに提案や要望をし、それが実現したことはありますか。



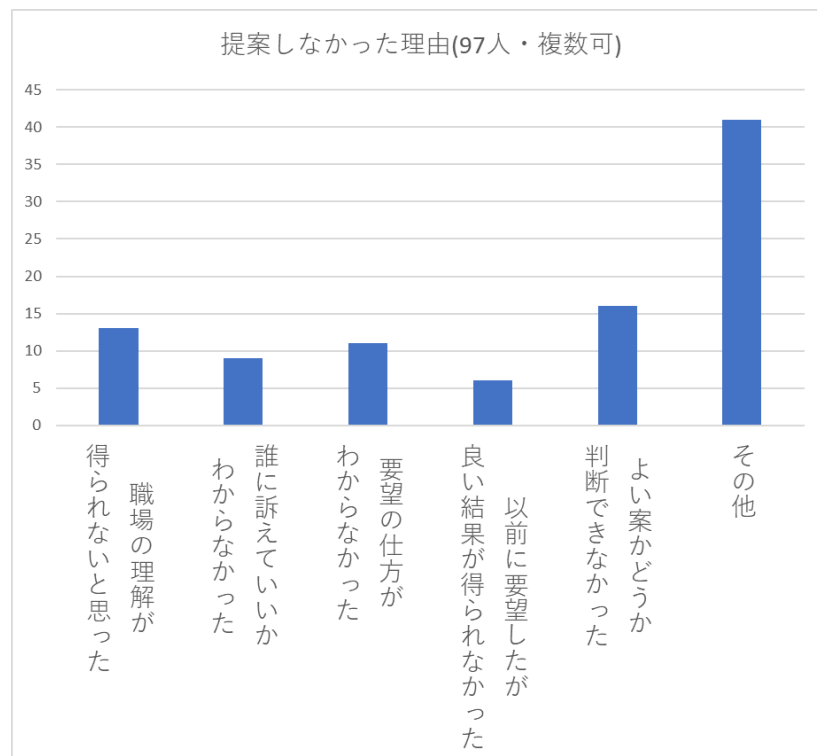
Q9-4.職場への ICT 利用に関し提案し実現したこと。



Q9-5.実現しなかった理由。

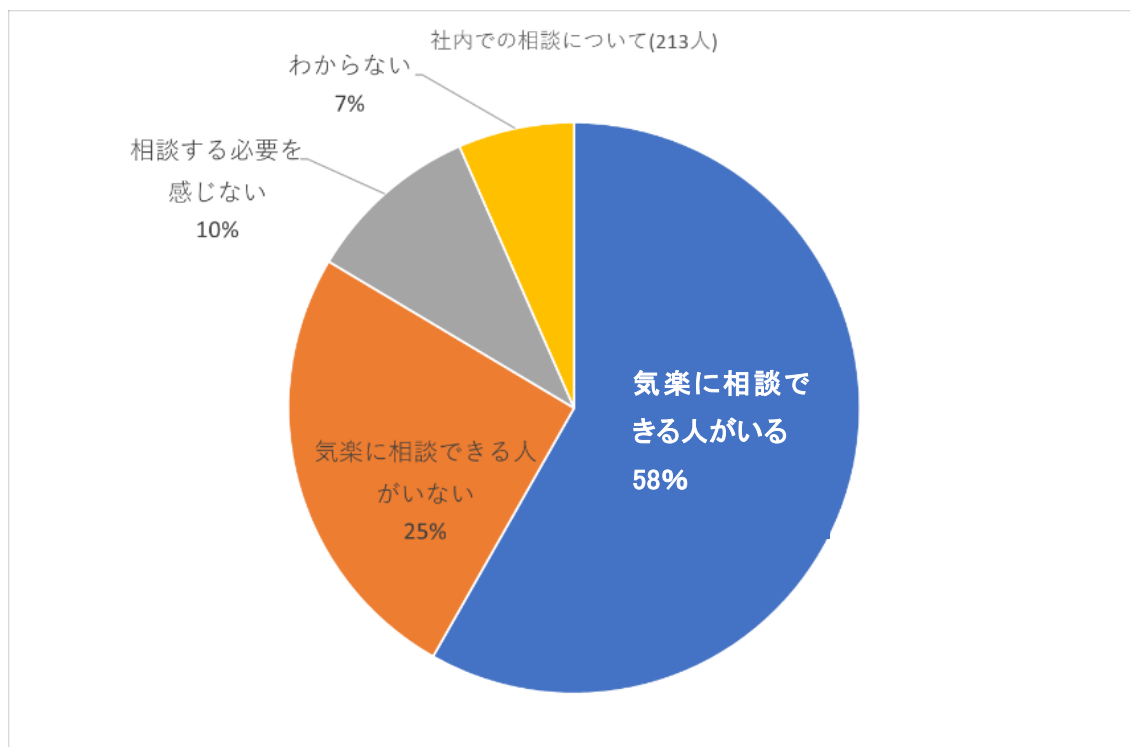


Q9-6.提案しなかった理由。

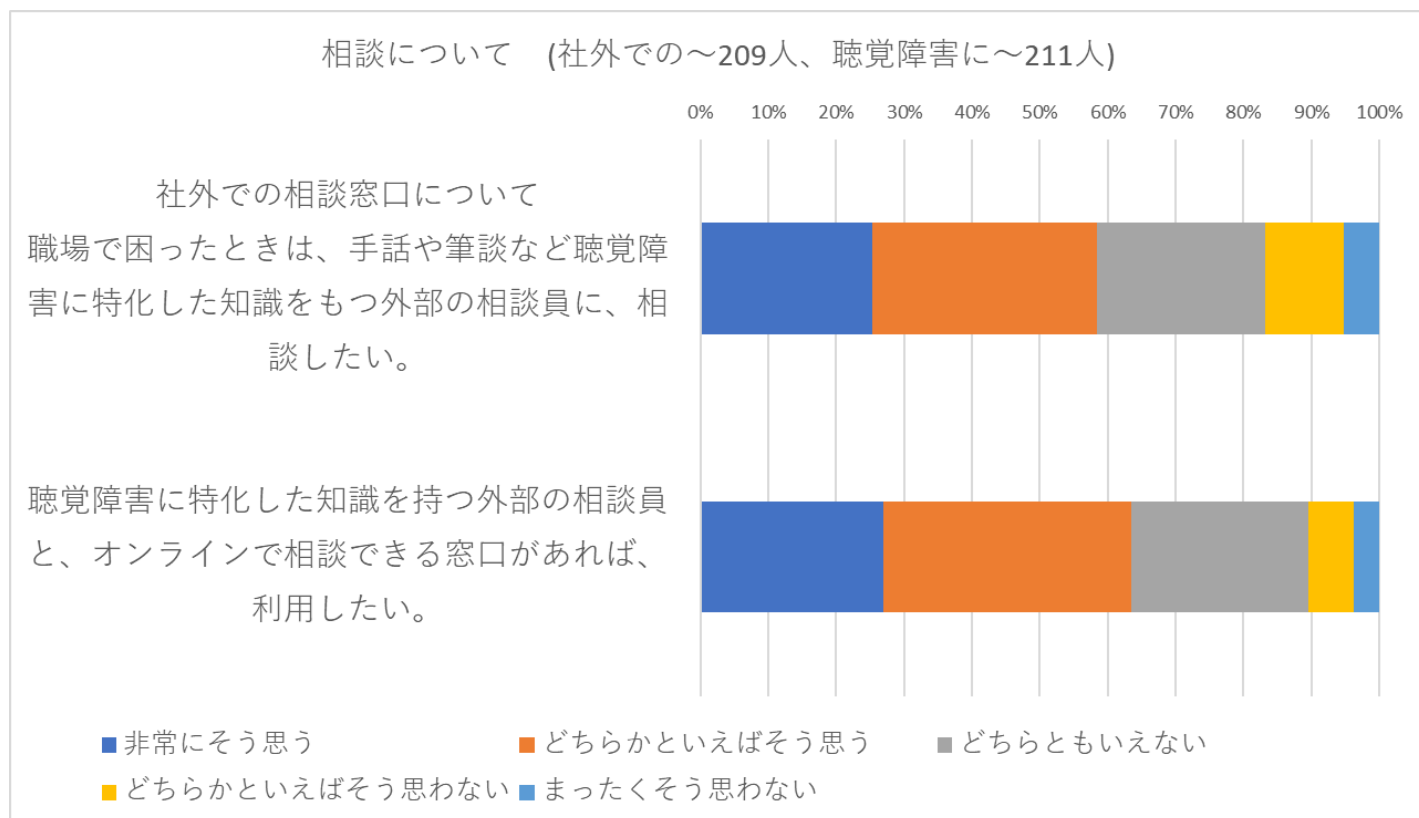


Q10. 労働相談について

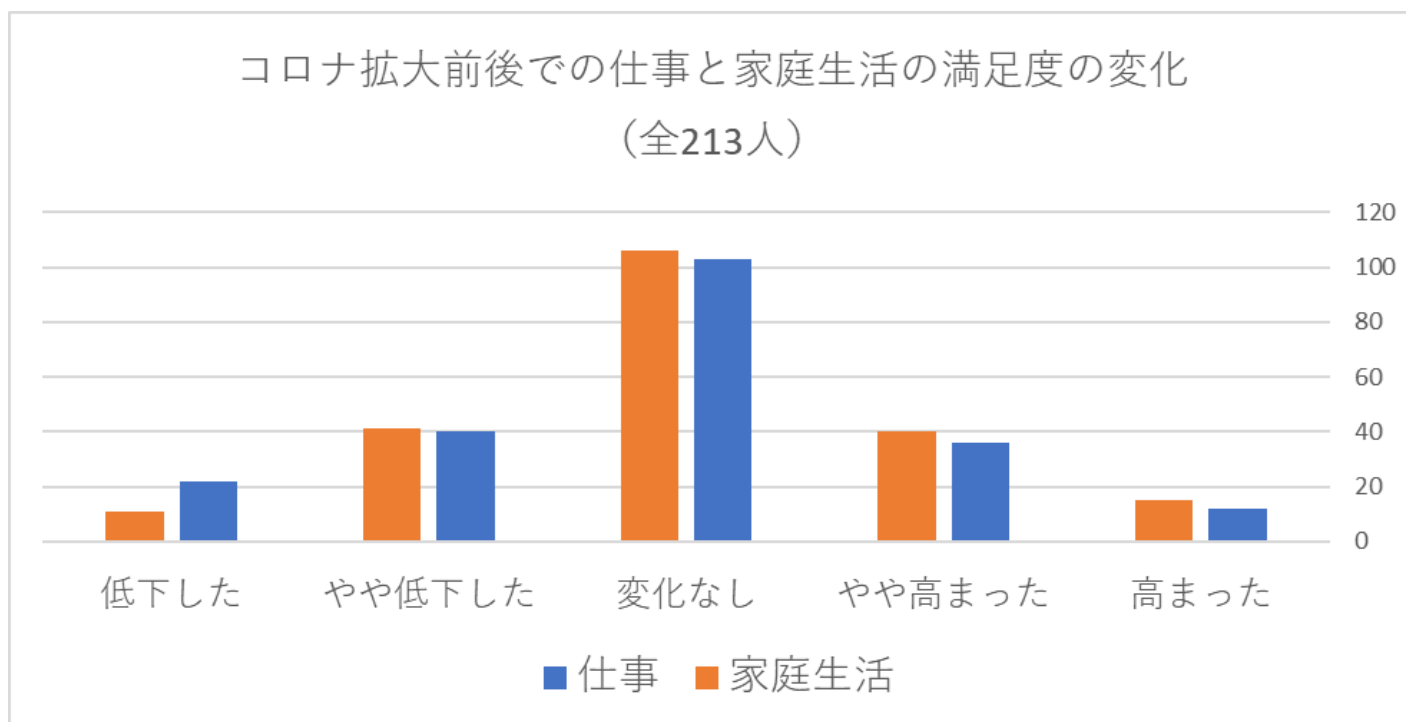
Q10-1.職場の問題(職場環境、人間関係、労働条件など)で困ったときの相談について。



Q10-2.相談について。

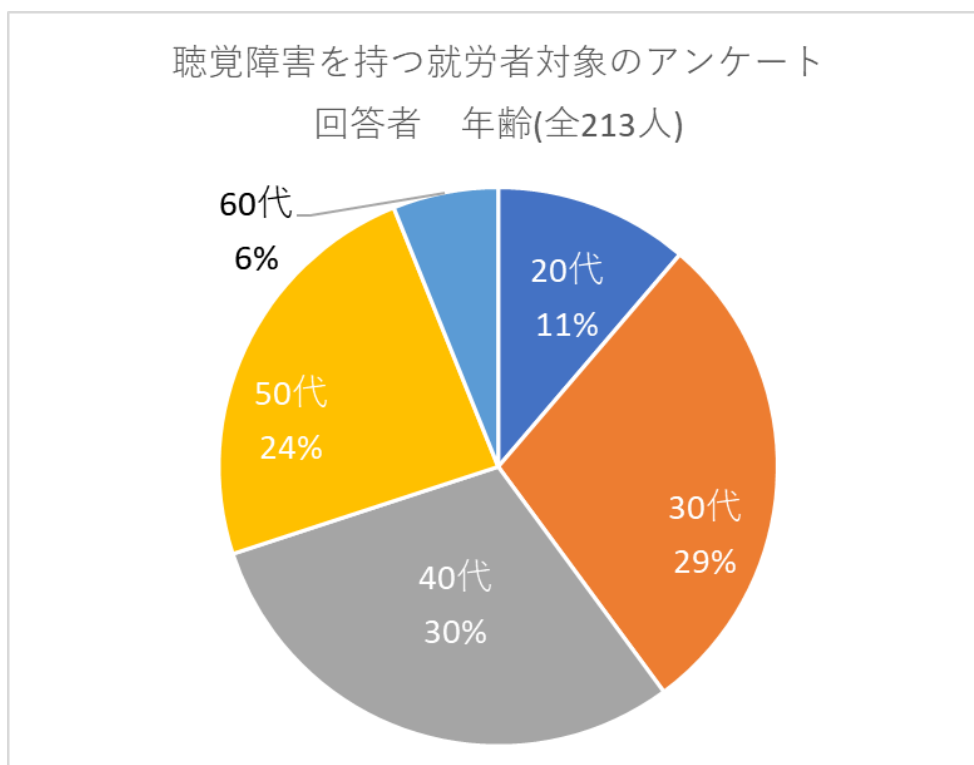


Q11. コロナ拡大前と拡大後における仕事と家庭生活の満足度の変化

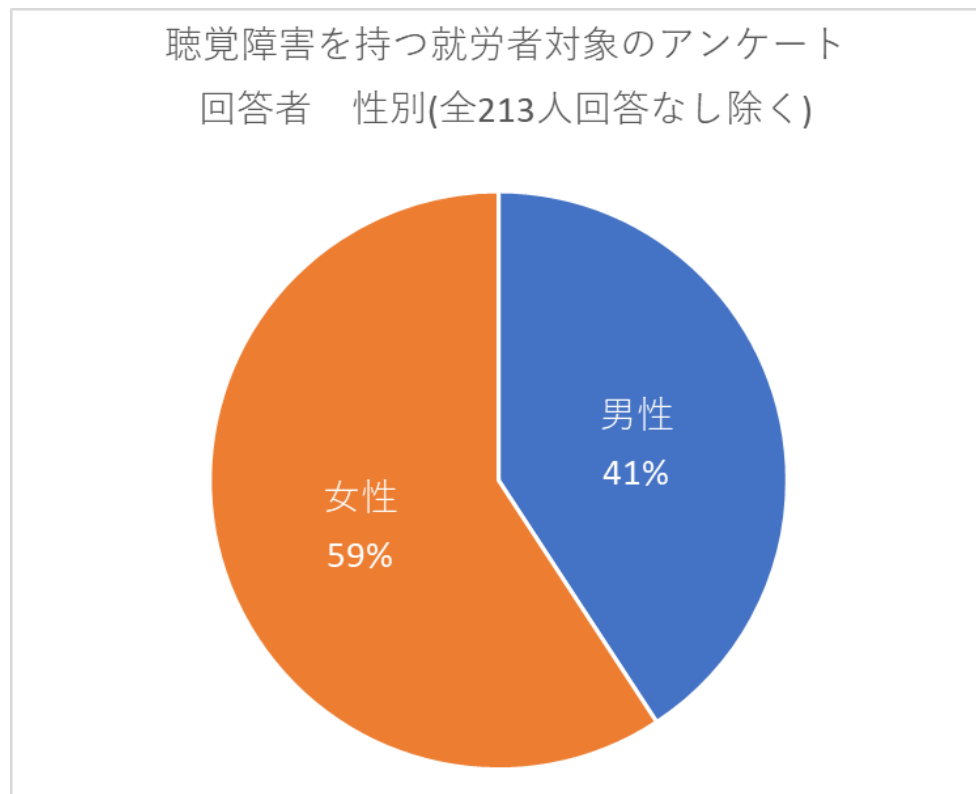


Q12. フェイスシート項目

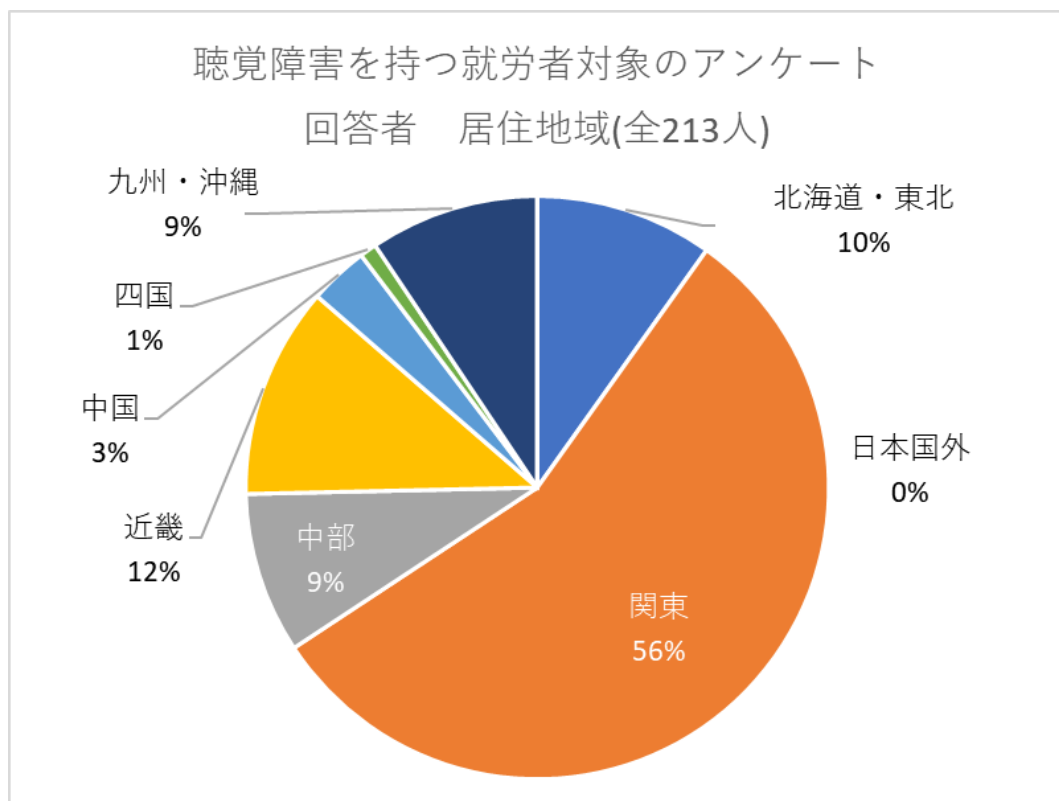
Q12-1.回答者の年齢



Q12-2.回答者の性別

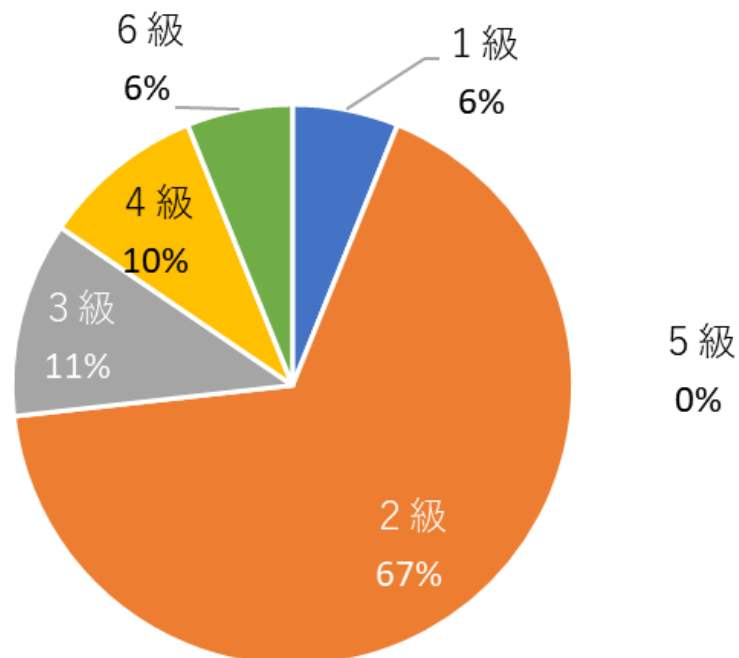


Q12-3. 居住地域

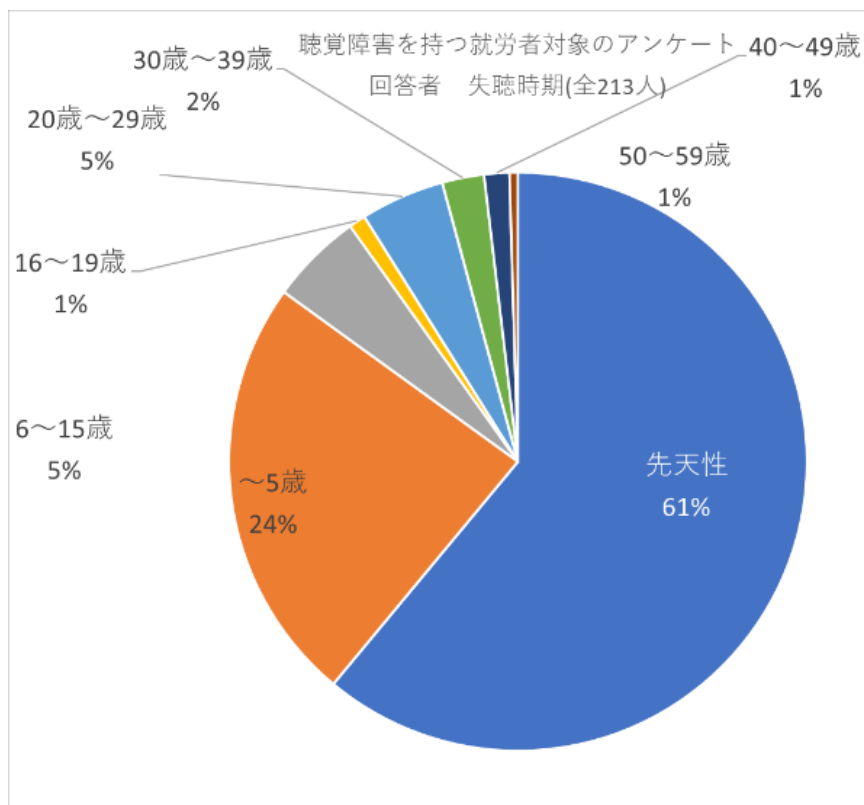


Q12-4. 身体障害者手帳(聴覚障害)の級

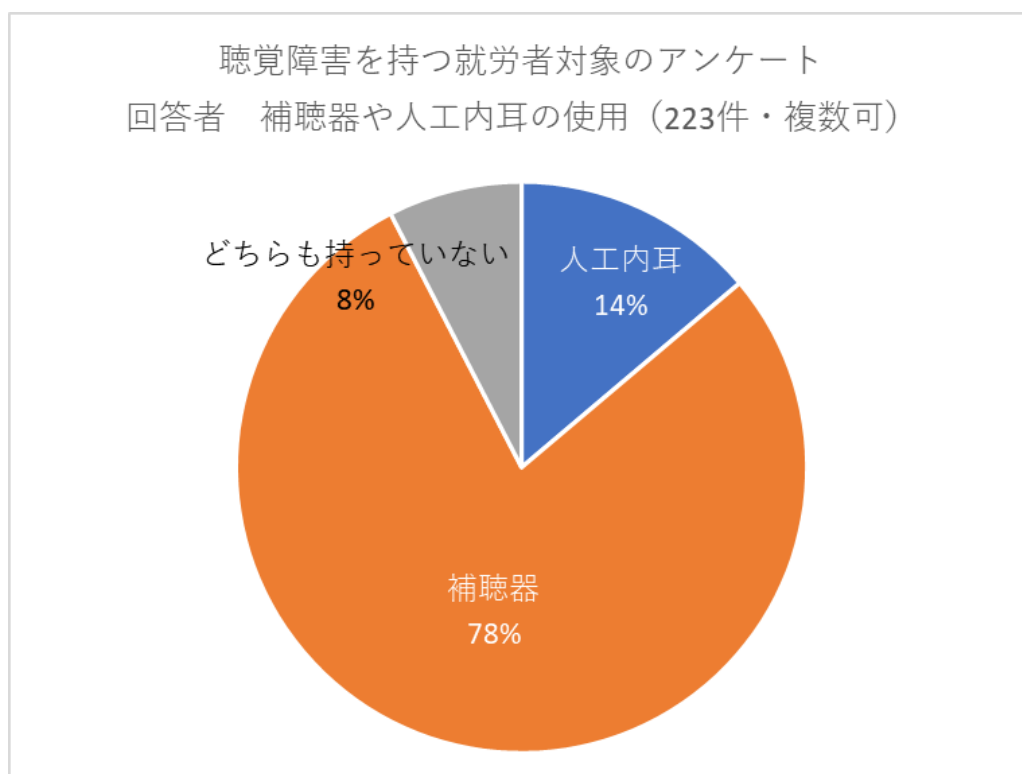
聴覚障害を持つ就労者対象のアンケート
回答者身体障害者手帳（聴覚障害）の級(全213人)



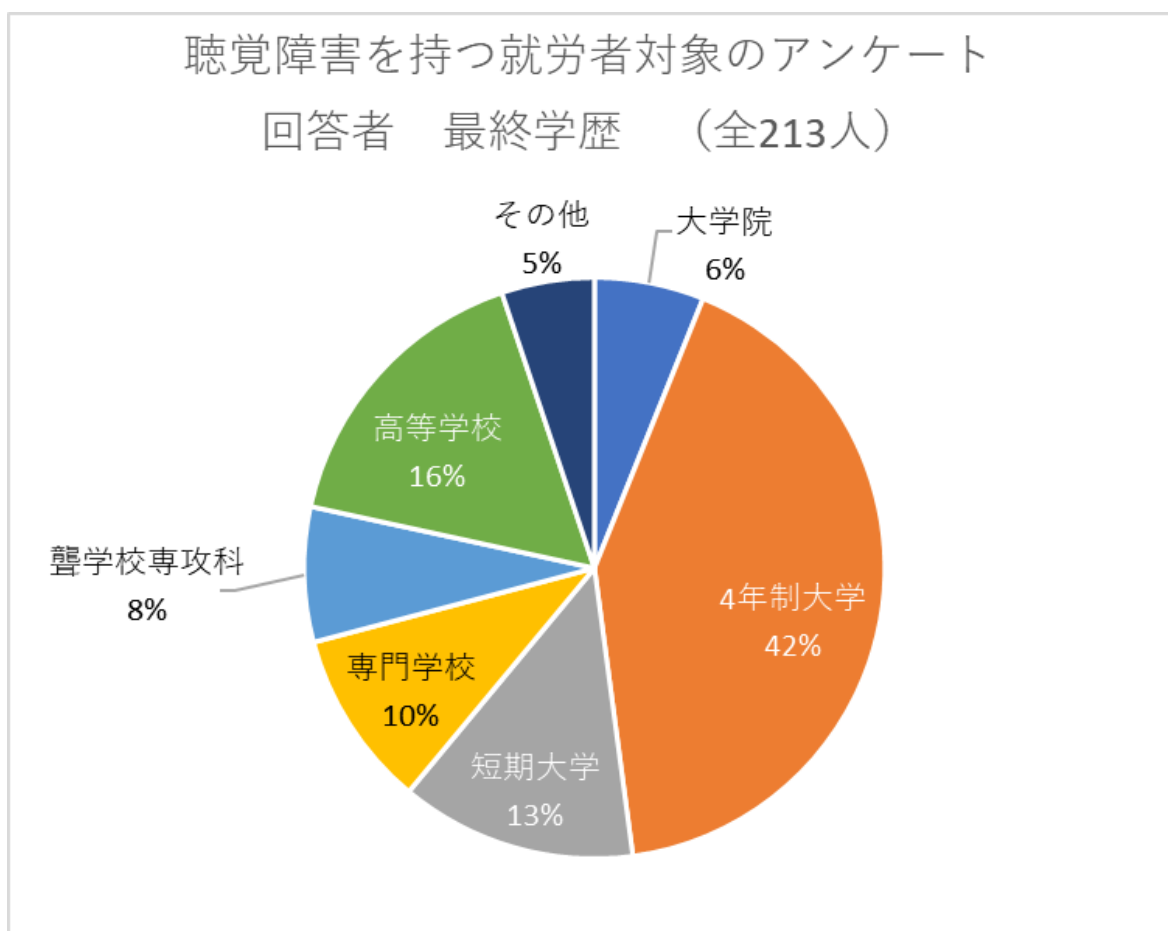
Q12-5. 失聴時期



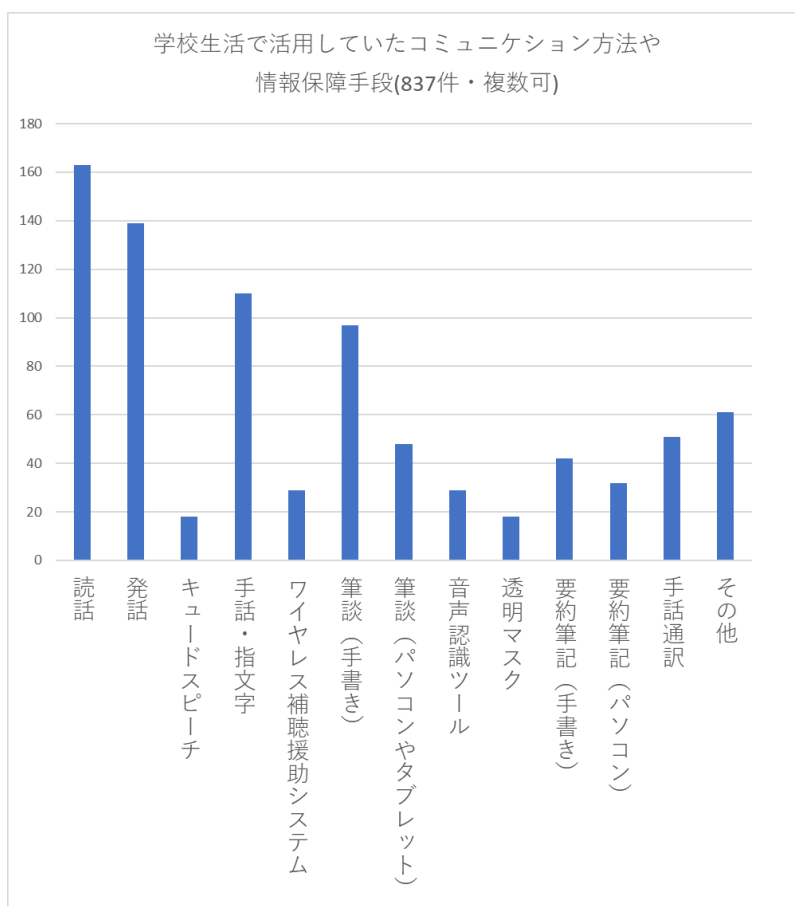
Q12-6. 補聴器や人工内耳の使用



Q12-7. 最終学歴



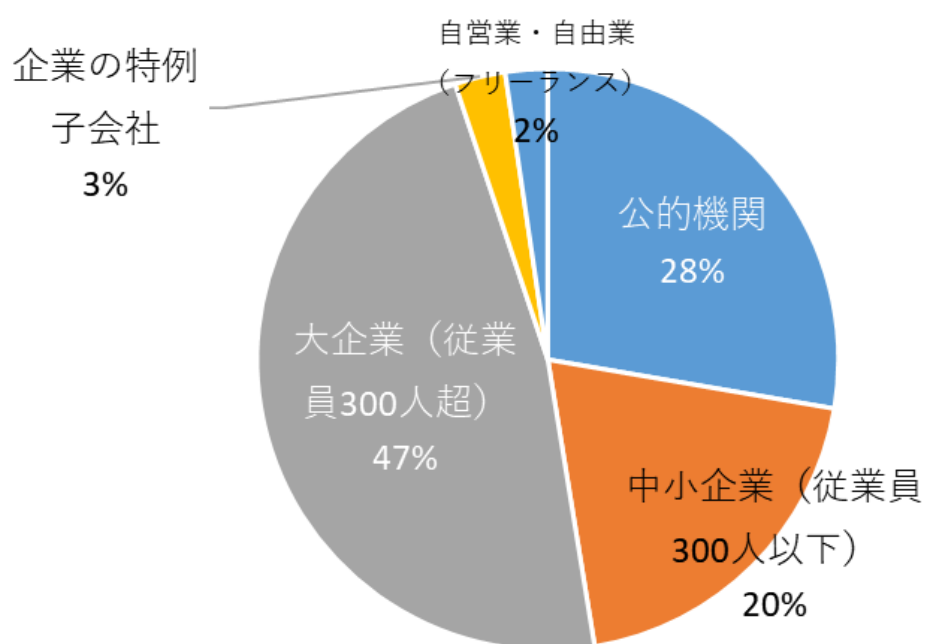
Q12-8. 学校生活時のコミュニケーション方法や情報保障手段



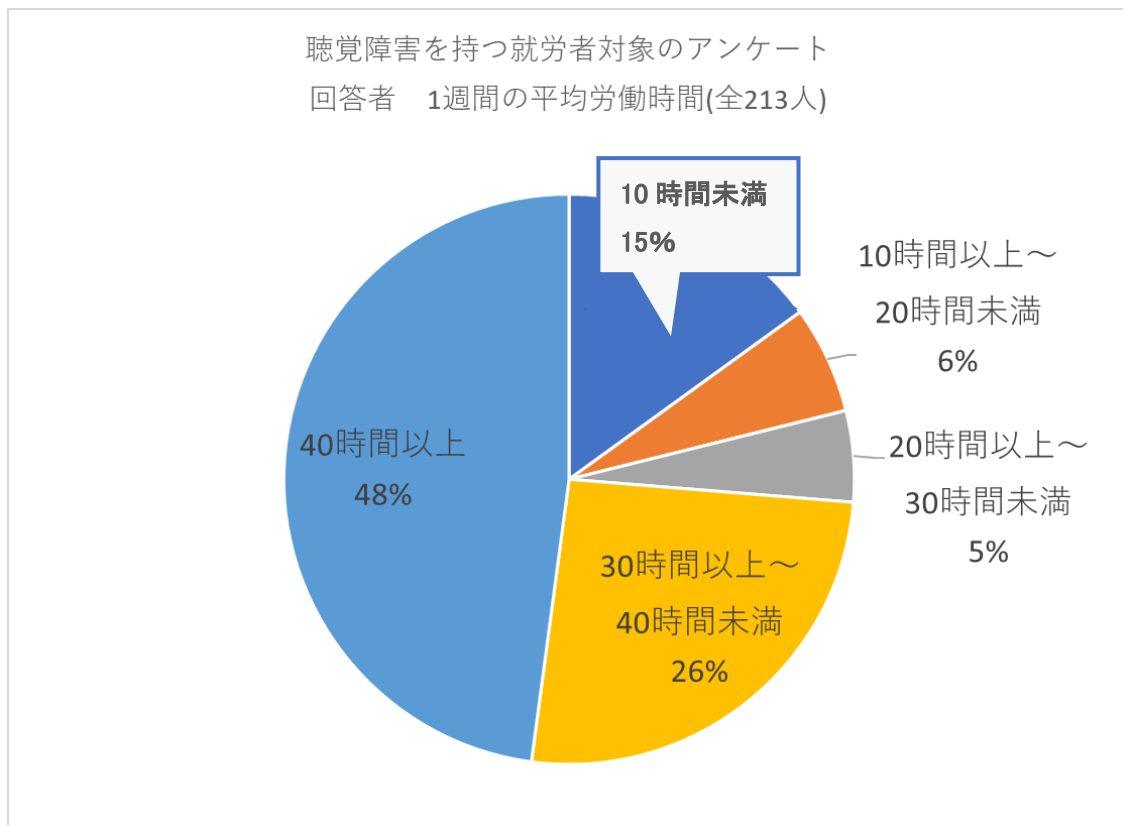
Q12-9. 現在の勤務先

聴覚障害を持つ就労者対象のアンケート

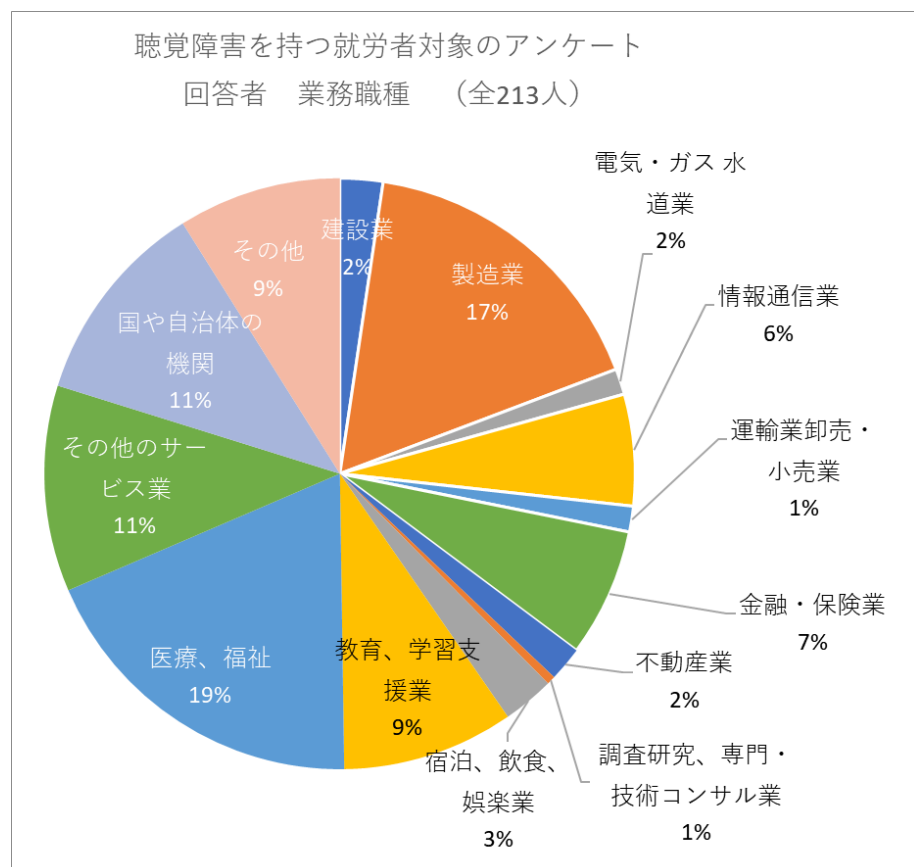
回答者 現在の勤務先 (全213人)



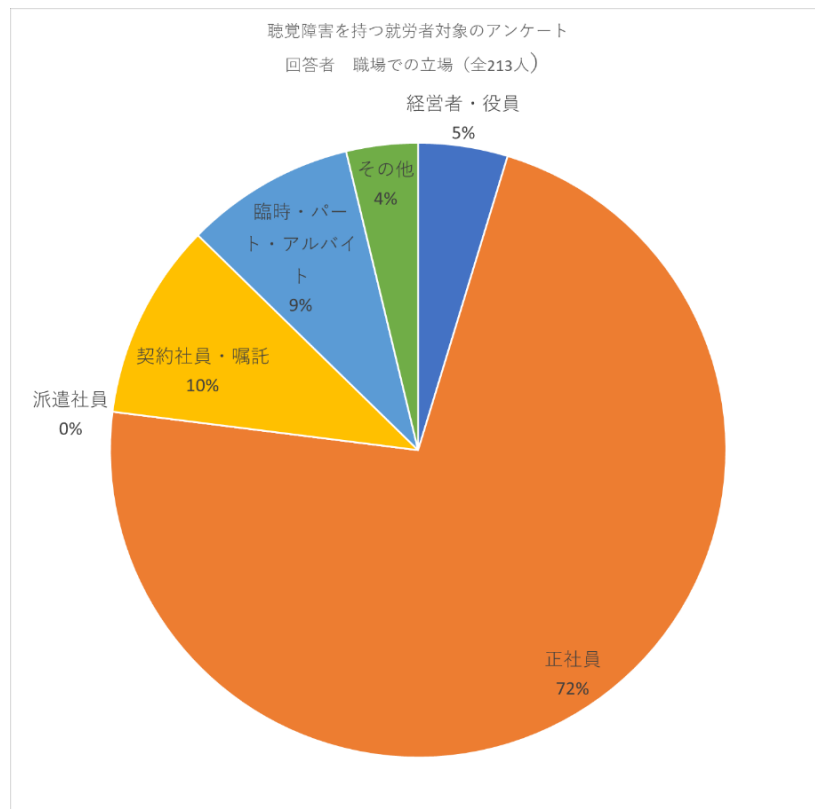
Q12-10. 1 週間の平均労働時間



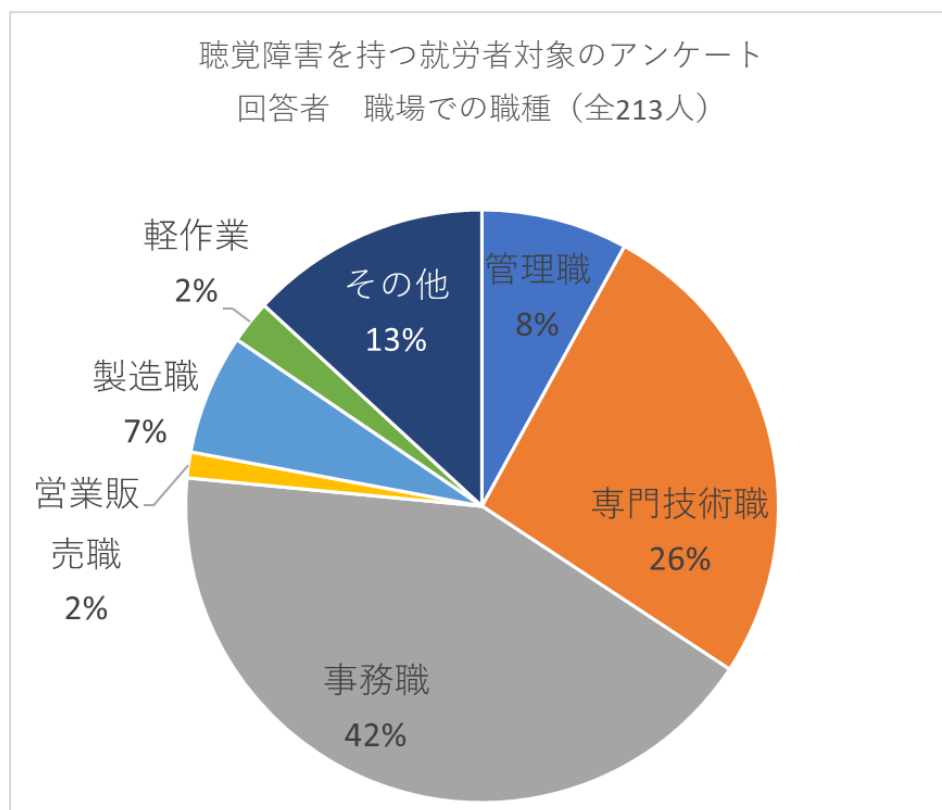
Q12-11. 業務種類



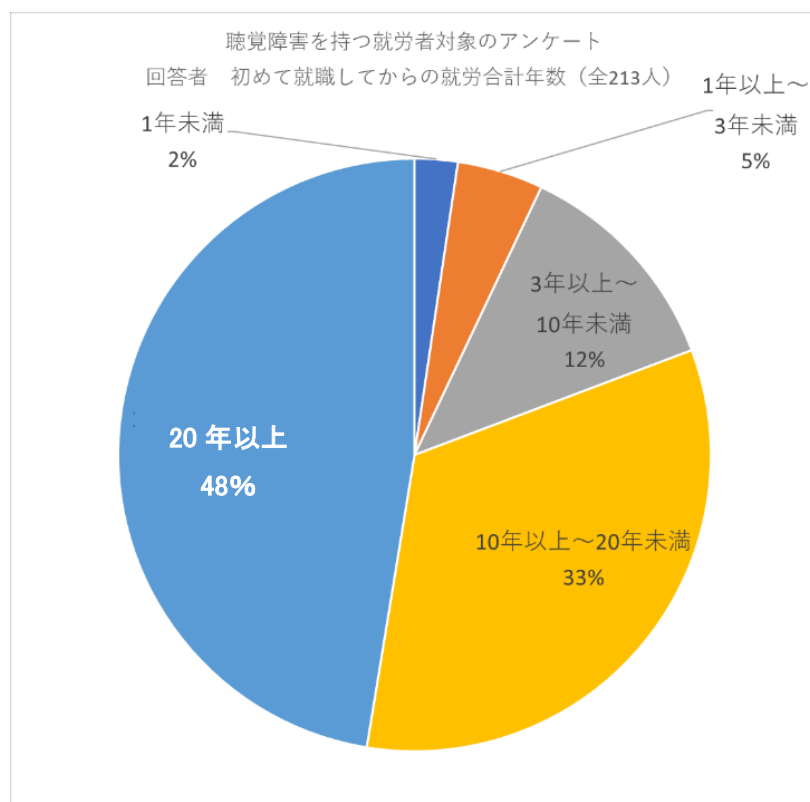
Q12-12. 職場での立場



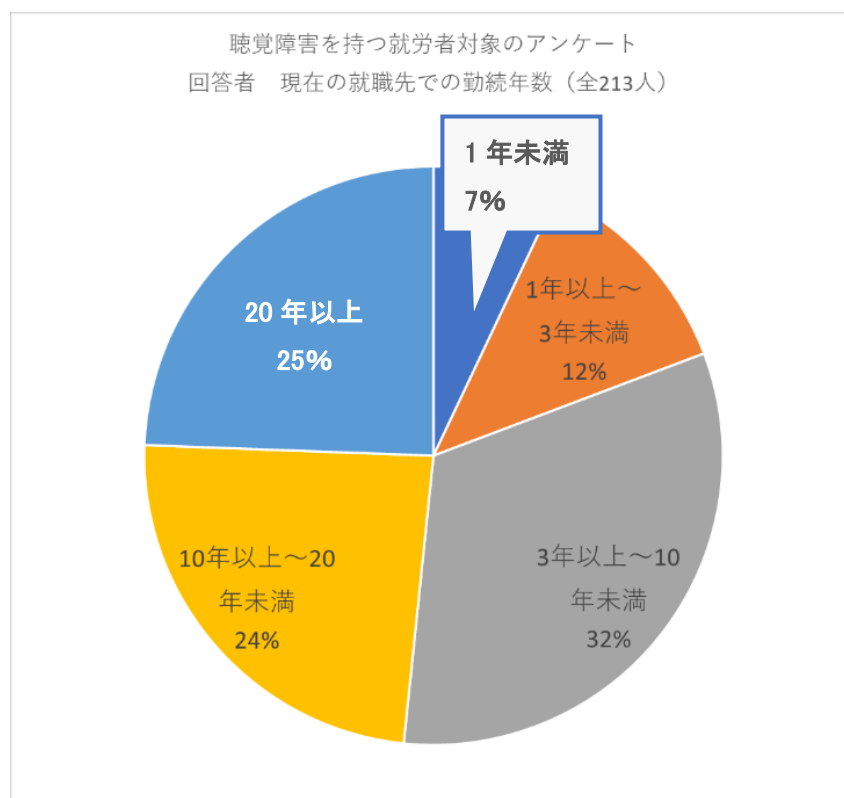
Q12-13. 職場での職種



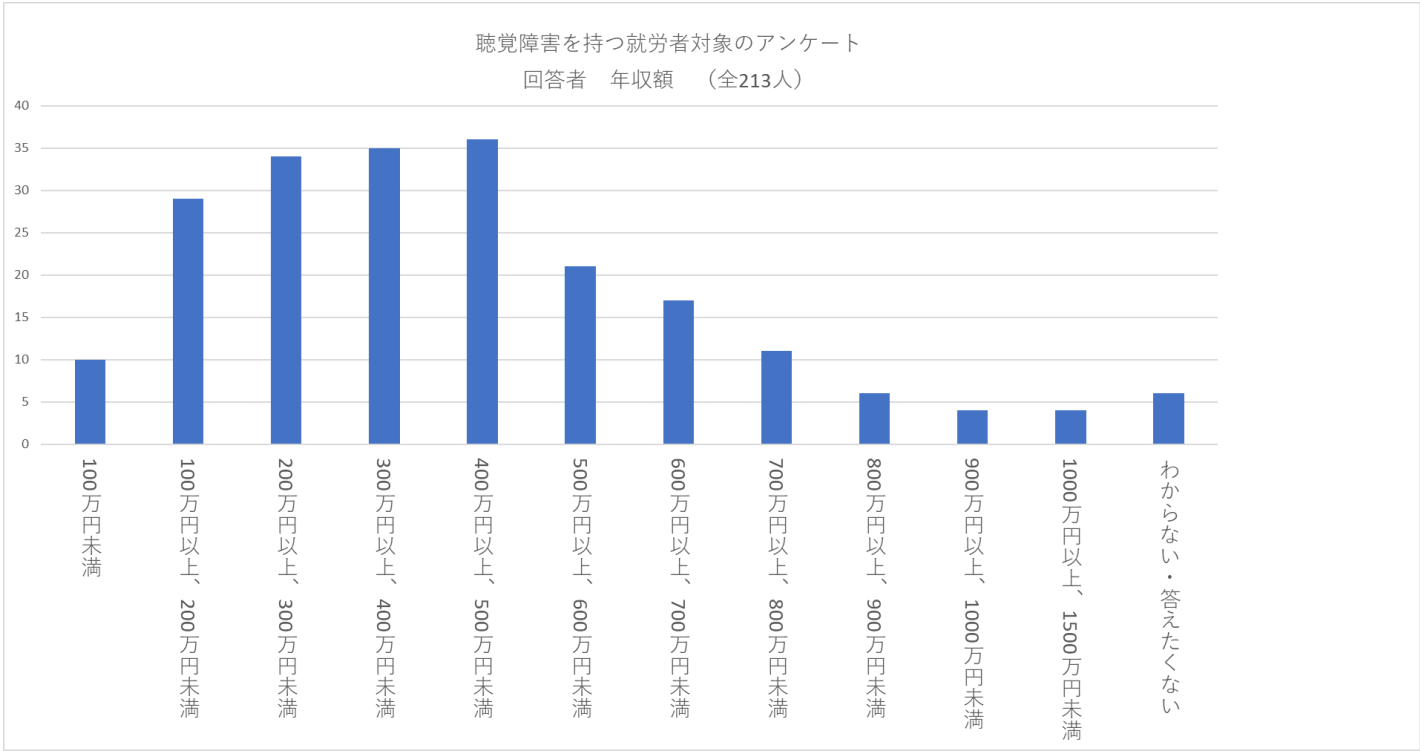
Q12-15. 初めて就職してからこれまでの就労合計年数(学生時のアルバイトは除く)



Q12-14. 現在の就職先での勤続年数



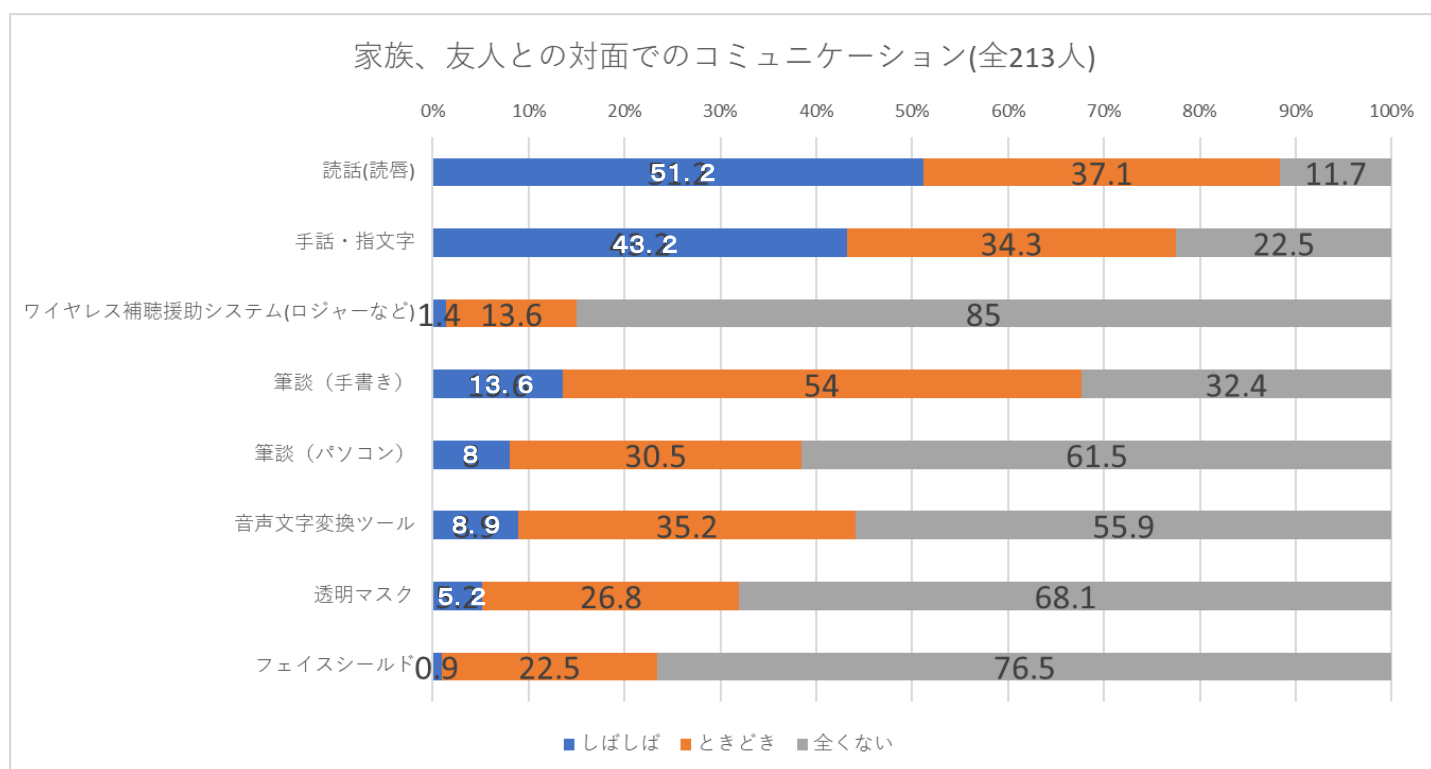
Q12-16. 現在のお仕事で得ている年収額(障害年金や不労所得は含まない、就労先から得ている給与)。



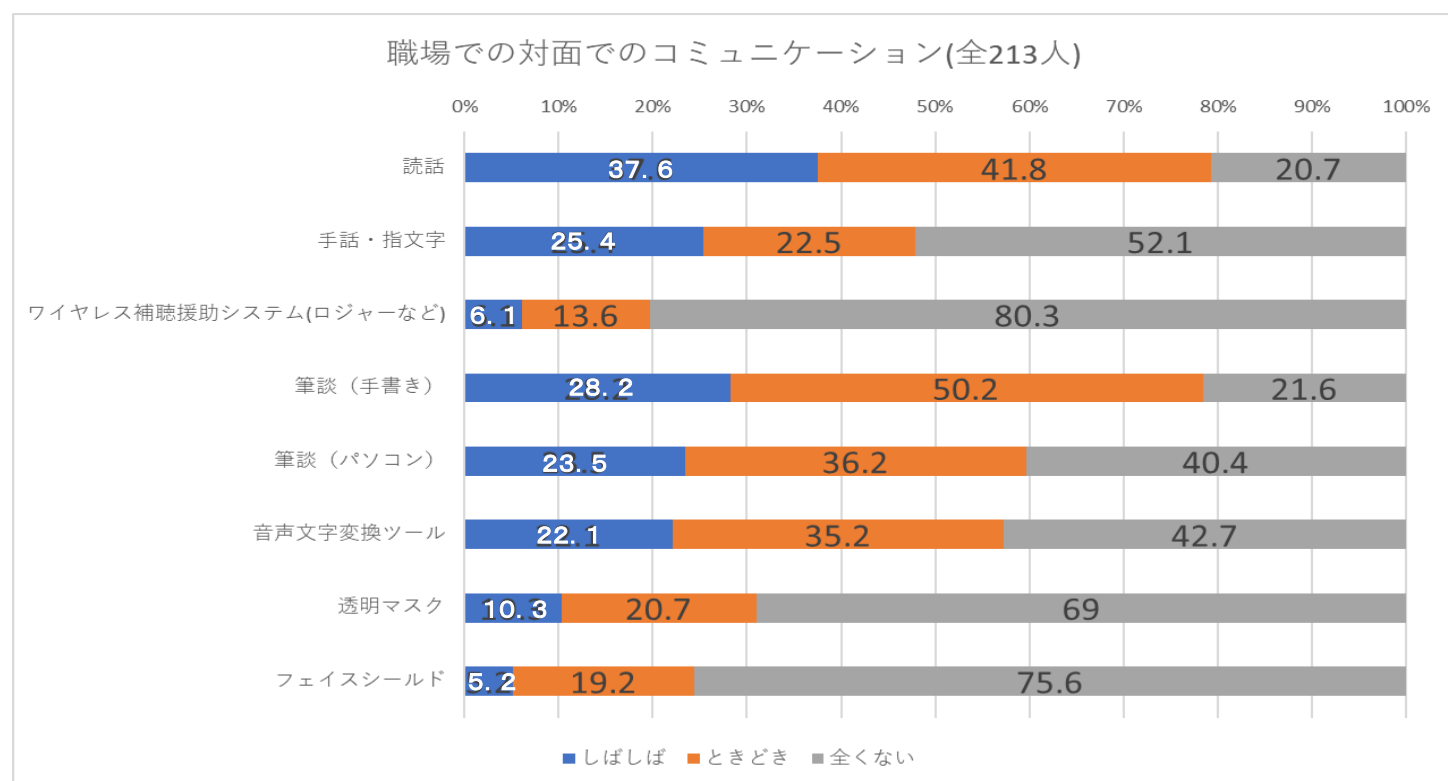
Q12-17. 転職されたことはありますか？（ない場合は0, ある場合は回数）

0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
213人	44人	21人	19人	12人	12人	3人	1人	2人

Q12-18. 家族、友人との対面でのコミュニケーションで、以下の活用をどのくらいしていますか。



Q12-19. 職場での対面でのコミュニケーションで以下の方法を活用していますか



Q12-19. 職場での対面でのコミュニケーションで以下の方法を活用していますか

あなたがろう・難聴であることを 職場内に知らせることについて(全213人)

